

平成25年度

佐賀県在住外国人アンケート実態調査報告書

-多文化共生社会基盤整備事業-

佐賀県国際交流課

公益財団法人佐賀県国際交流協会

目次

I.	佐賀県における在住外国人の概要	5
1.	本県における在留外国人数の状況	5
2.	国籍別在留外国人数	6
3.	在留資格別在留外国人	7
II.	在住外国人アンケート調査の概要	8
1.	調査目的	8
2.	調査機関	8
3.	調査対象	8
4.	調査方法	8
(1)	調査対象者の選定	8
(2)	調査対象者の抽出	8
(3)	調査資料の送付	8
(4)	回答調査票の回収	8
5.	調査内容	9
(1)	基本情報	9
(2)	日常生活に関すること	9
(3)	日本語能力に関すること	9
(4)	日本語教室に関すること	9
(5)	医療に関すること	9
(6)	子育て・教育に関すること	9
(7)	災害・防災・救急に関すること	9
(8)	佐賀県国際交流協会に関すること	9
(9)	その他	9
6.	調査票の取扱い	9
7.	調査期間	9
8.	回収結果	9
(1)	調査票配布数	9
(2)	有効配布数	9
(3)	回収数	9
(4)	有効回収数	9
9.	報告書の見方	8
III.	調査結果	10
1.	基本情報	10
(1)	国籍	10
(2)	言語	11

(3) 性別	13
(4) 年齢	14
(5) 居住市町	15
(6) 在留資格	17
(7) 就業	18
(8) 世帯構成	20
(9)	
2. 日常生活に関すること	22
(1) 日常生活で困ったこと	22
(2) 住宅について困ったこと	24
(3) 仕事について困ったこと	26
(4) 交通について困ったこと	28
(5) 日本人の友人	30
(6) 情報の入手方法	31
(7) 情報交換の場	32
3. 日本語能力に関すること	33
(1) 日本語の素養<話す>	33
(2) 日本語の素養<読む>	36
(3) 日本語の素養<書く>	39
4. 日本語教室に関すること	42
(1) 認知の有無	42
(2) 経験の有無	43
(3) 行かない理由	46
(4) 時間帯	50
(5) 回数	53
(6) パソコンでの学習	56
(7) 学習内容	57
5. 医療に関すること	58
(1) 日本の病院	58
(2) 病院で困ったこと	59
(3) 医療通訳	61
6. 子育て・教育に関すること	63
(1) 子どもの言語	63
(2) 出産・子育てで困っていること	65
(3) 子どもの教育で困っていること	67
7. 災害・防災・救急に関すること	68
(1) 緊急時の電話番号<警察・消防・救急>	68
(2) 災害時の避難場所	70

(3) 災害情報の入手方法	71
8. 佐賀県国際交流協会に関すること	72
(1) 認知の有無	72
(2) 来訪の有無	73
(3) 相談に来ない理由	74
9. その他	75
(1) 佐賀県への要望	75
(2) 佐賀県に住み続ける意思と理由	76
(3) 佐賀県に思うこと	81

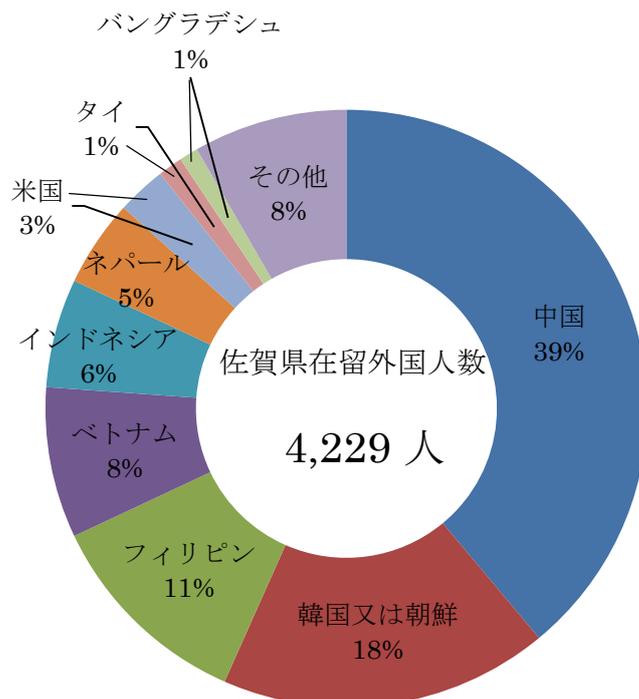
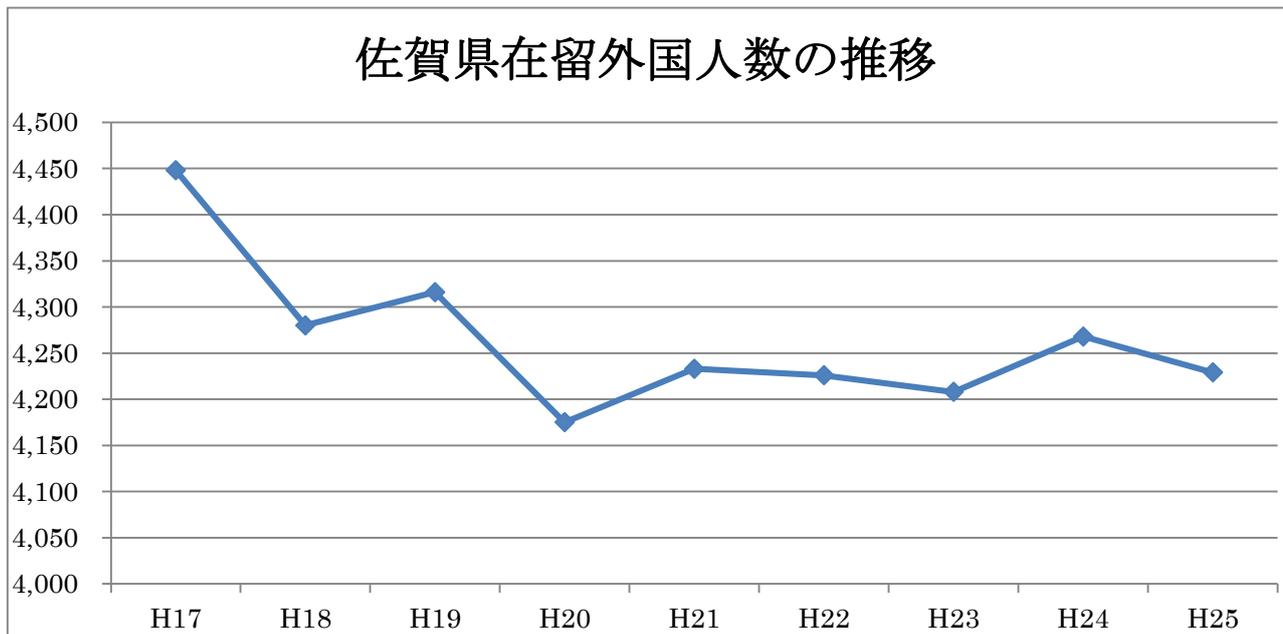
I. 佐賀県における在住外国人の概要（佐賀県庁ホームページ「佐賀県内の在留外国人数」より）

1. 本県における在留外国人数の状況

年次別在留外国人数の推移

各年12月末現在

年次	17	18	19	20	21	22	23	24	25
佐賀県	4,448	4,280	4,316	4,175	4,233	4,226	4,208	4,268	4,229
全国	2,011,555	2,084,919	2,152,973	2,217,426	2,186,121	2,134,151	2,078,508	2,033,656	



※『その他』は、出生による経過滞在者で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている者。

3. 在留資格別在留外国人

平成 25 年 12 月末現在

区 分	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	神埼市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	計	区 分
総 計	1,294	521	839	69	341	132	116	121	136	61	88	65	28	117	4	78	21	49	113	36	4,229	総 計
教 授	22	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	教 授
芸 術	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	芸 術
宗 教	1	1	0	0	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	宗 教
投資・経営	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	9	投資・経営
医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	医 療
研 究	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	研 究
教 育	24	14	6	2	1	5	4	0	1	0	1	0	0	2	1	1	1	1	2	0	66	教 育
技 術	10	0	1	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	18	技 術
人文知識・国際業務	53	8	29	1	6	2	0	3	6	0	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	113	人文知識・国際業務
企 業 内 転 勤	5	2	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	企 業 内 転 勤
興 行	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	興 行
技 能	30	3	23	1	0	2	4	1	0	0	6	0	0	7	0	0	0	0	1	0	78	技 能
文 化 活 動	14	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	文 化 活 動
留 学	272	1	294	0	1	1	1	1	0	1	0	17	0	1	0	3	0	0	0	0	593	留 学
就 学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	就 学
研 修	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	研 修
家 族 滞 在	146	14	57	8	4	5	6	6	4	0	8	2	0	1	0	1	1	2	1	0	266	家 族 滞 在
特 定 活 動	3	3	2	2	0	0	11	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	特 定 活 動
永 住 者	309	104	142	18	41	38	15	41	25	32	23	12	16	39	2	15	6	4	20	6	908	永 住 者
日本人の配偶者等	76	24	29	4	13	10	8	15	11	8	3	4	1	10	0	9	2	1	10	0	238	日本人の配偶者等
永住者の配偶者等	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0		0	0	0	0	8	永住者の配偶者等
定 住 者	40	3	14	1	14	5	4	9	0	0	2	5	0	1	0	1	0	0	2	0	101	定 住 者
特 別 永 住 者	190	61	81	13	49	15	9	22	37	4	8	11	4	10	1	18	7	3	12	2	557	特 別 永 住 者
技能実習1号イ	0	6	37	0	0	13	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	技能実習1号イ
技能実習1号ロ	36	103	48	8	51	19	13	10	22	6	6	5	6	17	0	15	3	14	31	8	421	技能実習1号ロ
技能実習2号イ	0	16	5	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	31	技能実習2号イ
技能実習2号ロ	55	156	58	9	149	9	39	10	30	6	23	3	0	25	0	12	0	24	34	20	662	技能実習2号ロ
その他（未取得等）	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	その他（未取得等）

※『その他』は、出生による経過滞在者で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている者。

※平成 24 年 7 月に出入国管理及び難民認定法等が改正されて、新しい在留管理制度が導入されたことに伴い、「外国人登録法」が廃止されました。これにより、外国人も住民基本台帳法の対象となったことから、住民基本台帳上の外国人数を集計しています。住民基本台帳上の外国人数は従来の「外国人登録者数」と制度上対象が一部異なりますので、平成 23 年以前のデータと単純に比較することはできません。

II. 在住外国人アンケート調査の概要

1. 調査目的：グローバル化が進む中、県内の多文化共生社会づくりをより一層推進していくため、県内の在住外国人へのアンケート調査を行う。実態調査を通じて生活上の問題点や日本語教室等のニーズを把握し、今後の市町及び県の在住外国人支援事業の実施につなげる。
2. 調査機関：佐賀県国際交流課、公益財団法人佐賀県国際交流協会
調査協力：県内各市町
3. 調査対象：平成 25 年度の在留外国人登録数の状況（出所：各市町からの提供）をもとに、次の通り県内 10 市及び 10 町に在住する在留資格のある 18 歳未満の特別永住者を除く在留外国人を調査対象とした。

（単位：人）

佐賀市	997	唐津市	433	鳥栖市	736	多久市	55	伊万里市	279
武雄市	103	鹿島市	95	小城市	67	嬉野市	97	神崎市	58
吉野ヶ里町	63	基山町	47	上峰町	22	みやき町	103	玄海町	2
有田町	64	大町町	13	江北町	48	白石町	87	太良町	36
								計 3,405	

4. 調査方法：

(1) 調査対象者の選定

上記 3 の調査対象者から 1,500 件を按分の上、抽出率 44%に基づき、次のとおり市町村毎の調査件数を設定した。（設定後の総調査件数 1,502 件）

（単位：人）

佐賀市	438	唐津市	191	鳥栖市	324	多久市	24	伊万里市	123
武雄市	45	鹿島市	42	小城市	29	嬉野市	46	神崎市	26
吉野ヶ里町	28	基山町	21	上峰町	10	みやき町	45	玄海町	1
有田町	28	大町町	6	江北町	21	白石町	38	太良町	16
								計 1,502	

(2) 調査対象者の抽出

それぞれの抽出依頼件数（調査件数）分の対象者を無作為に抽出した。

玄海町においては、玄海町及び調査対象者に了承を得た上で実施した。

有田町においては、町の判断により、町役場に来訪する在住外国人に配布した。

(3) 調査資料の送付

調査票は郵送にて配布した。

有田町、玄海町においては、町の判断により、手渡し配布を行った。

(4) 回答調査票の回収

回答用紙は郵送にて回収した。

5. 調査内容：調査票には次の項目を設定し、調査対象者の生活上の問題点や日本語教室等のニーズなどを調査した。

- (1) 基本情報
- (2) 日常生活に関すること
- (3) 日本語能力に関すること
- (4) 日本語教室に関すること
- (5) 医療に関すること
- (6) 子育て・教育に関すること
- (7) 災害・防災・救急に関すること
- (8) 佐賀県国際交流協会に関すること
- (9) その他

6. 調査票の取扱い：調査票はルビ付きやさしい日本語版と英語、中国語、韓国語に翻訳した外国語版を作成した。

7. 調査期間：調査資料郵送後、約1か月間（平成25年11月～平成26年1月）

8. 回収結果

- (1) 調査票配布数 1,502件
- (2) 有効配布数 1,443件
- (3) 回収数 217件（14.4%）
- (4) 有効回収数 215件（14.3%）

9. 報告書の見方

- 回答比率は回答者数215人を基数（N=215）としている。（※NはNumber of caseの略）
- 「1. 基本情報（1）国籍、（7）就業」の回答において伊万里市は、別途設問を設けたため、伊万里市を除いて集計を行っている。そのため上記設問箇所の回答比率は回答者数182件を基数（N=182）としている。また、伊万里市の調査においては、記述回答を実施しなかった。
- 集計結果は全て、小数点第二位を四捨五入しており、比率の合計が必ずしも100%にならないことがある。
- 2つ以上の回答（複数回答）がある場合、その回答比率の合計は100%を超えることがある。
- 百分率は原則として、小数点第1位までの表記とする。
- 「1. 基本情報」から「8. 佐賀県国際交流協会に関すること」までの記述回答においては、回答数の多かった国籍の順で昇順に並べ替えた。なお、表記が明らかに誤字・脱字と思われるものは適宜訂正し、日本語は原文を外国語は日本語に翻訳し掲載した。
- 「9. その他（37）（38）」の記述回答においては、回答数の多かった国籍の順で昇順に並べ替えた。なお、表記が明らかに誤字・脱字と思われるものは適宜訂正し、日本語は原文を外国語は日本語に翻訳し掲載した。

III. 調査結果

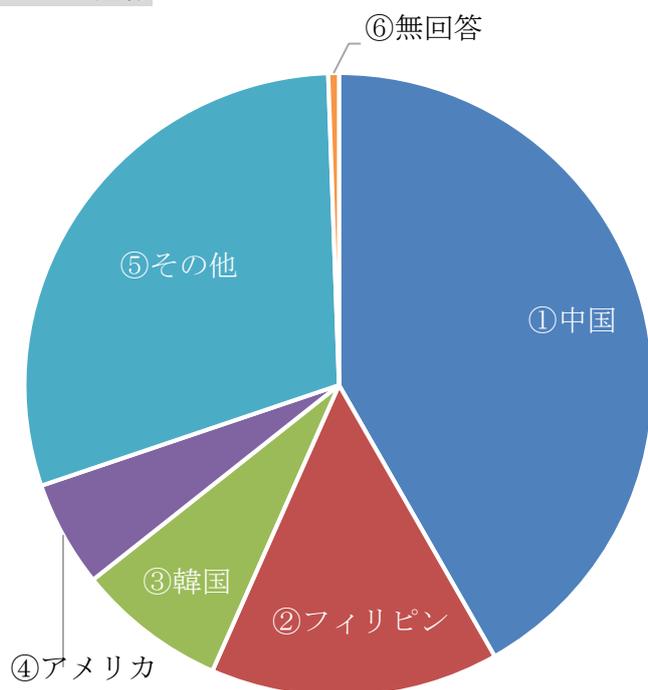
1. 基本情報

(1) 国籍

問 1：あなたの国籍は何ですか。

国籍においては、中国 76 件（41.8%）が最も多く、以下、フィリピン 27 件（14.8%）、韓国 14 件（7.7%）と続く。（図表 1）

図表 1：国籍



区分	件数	割合
①中国	76	41.8%
②フィリピン	27	14.8%
③韓国	14	7.7%
④アメリカ	10	5.5%
⑤その他	54	29.7%
⑥無回答	1	0.5%
総計	182	100%

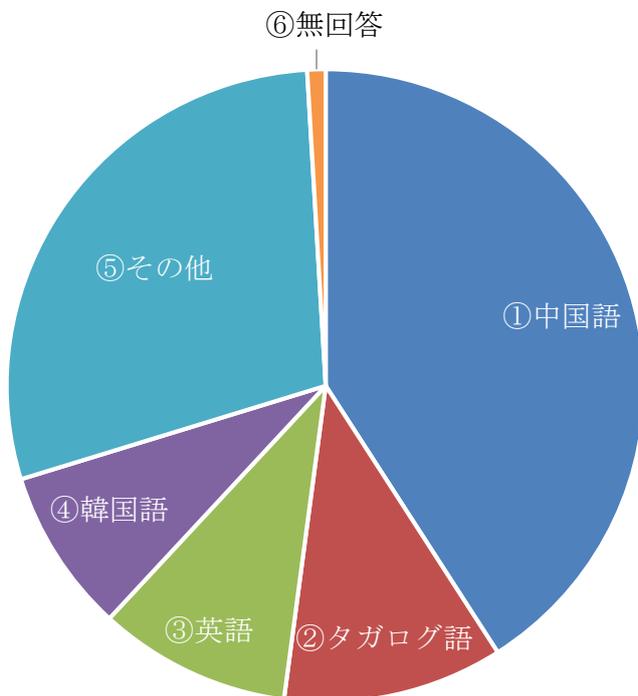
(2) 言語

問 2：あなたは何語を話しますか。

母語においては、出身国籍の母語を話す回答が多い。フィリピンではタガログ語以外に韓国語を母語とする回答もあった。(図表 2-1)

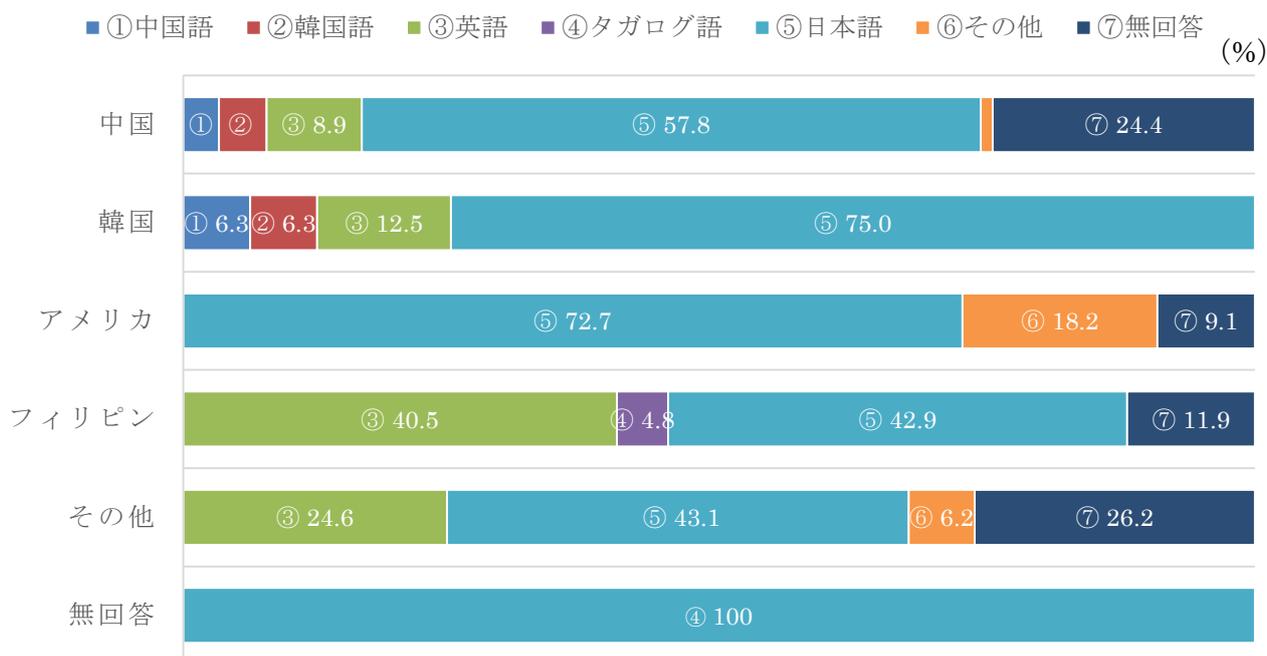
母語以外で話せる言語では、それぞれの国籍で「日本語」が最も多かった。特に中国では「日本語」が 52 件 (57.8%) で最も多かった。(図表 2-2)

図表 2-1：母語



区分	件数	割合
①中国語	88	40.9%
②タガログ語	24	11.2%
③英語	21	9.8%
④韓国語	18	8.4%
⑤その他	62	28.8%
⑥無回答	2	0.9%
総計	215	100%

図表 2-2：国籍×母語以外で話せる言語



区分	①中国語	②韓国語	③英語	④タガログ語	⑤日本語	⑥その他	⑦無回答	計
中国	3件	4件	8件	0件	52件	1件	22件	90件
韓国	1件	1件	2件	0件	12件	0件	0件	16件
アメリカ	0件	0件	0件	0件	8件	2件	1件	11件
フィリピン	0件	0件	17件	2件	18件	0件	5件	42件
その他	0件	0件	16件	0件	28件	4件	17件	65件
無回答	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	1件
計	4件	5件	43件	2件	119件	7件	45件	225件

※件数が最も多い区分に色づけ。

(3) 性別

問 3：あなたの性別は何ですか。

性別は、女性が 144 件（67.0%）と最も多い。国籍別では、中国、韓国、フィリピンにおいて女性の割合が高いことがわかる。（図表 3）

図 3：性別

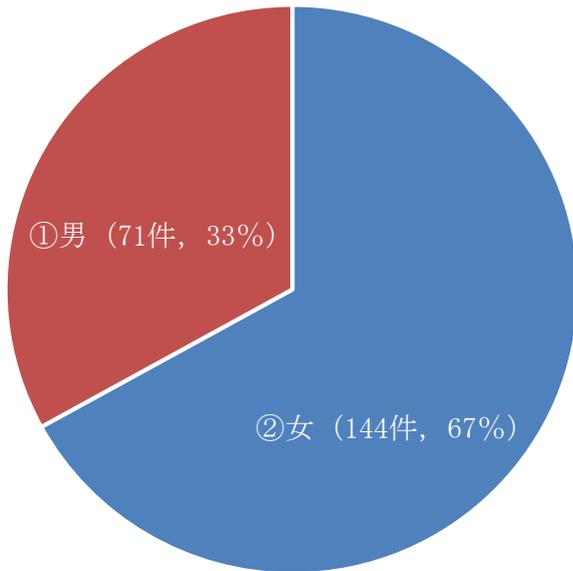


表 3：国籍×性別

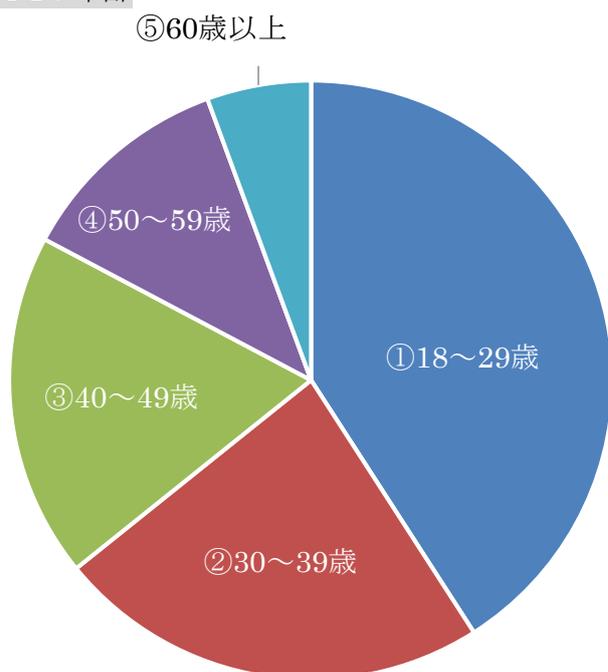
区分	①男性		②女性	
	件数	割合	件数	割合
中国	18	37.5%	58	43.3%
韓国	2	4.2%	12	9%
アメリカ	7	14.6%	3	2.2%
フィリピン	3	6.3%	24	17.9%
その他	18	37.5%	36	26.9%
無回答	0	0%	1	0.7%
総計	48	100%	134	100%

(4) 年齢

問4：あなたの年齢を教えてください。

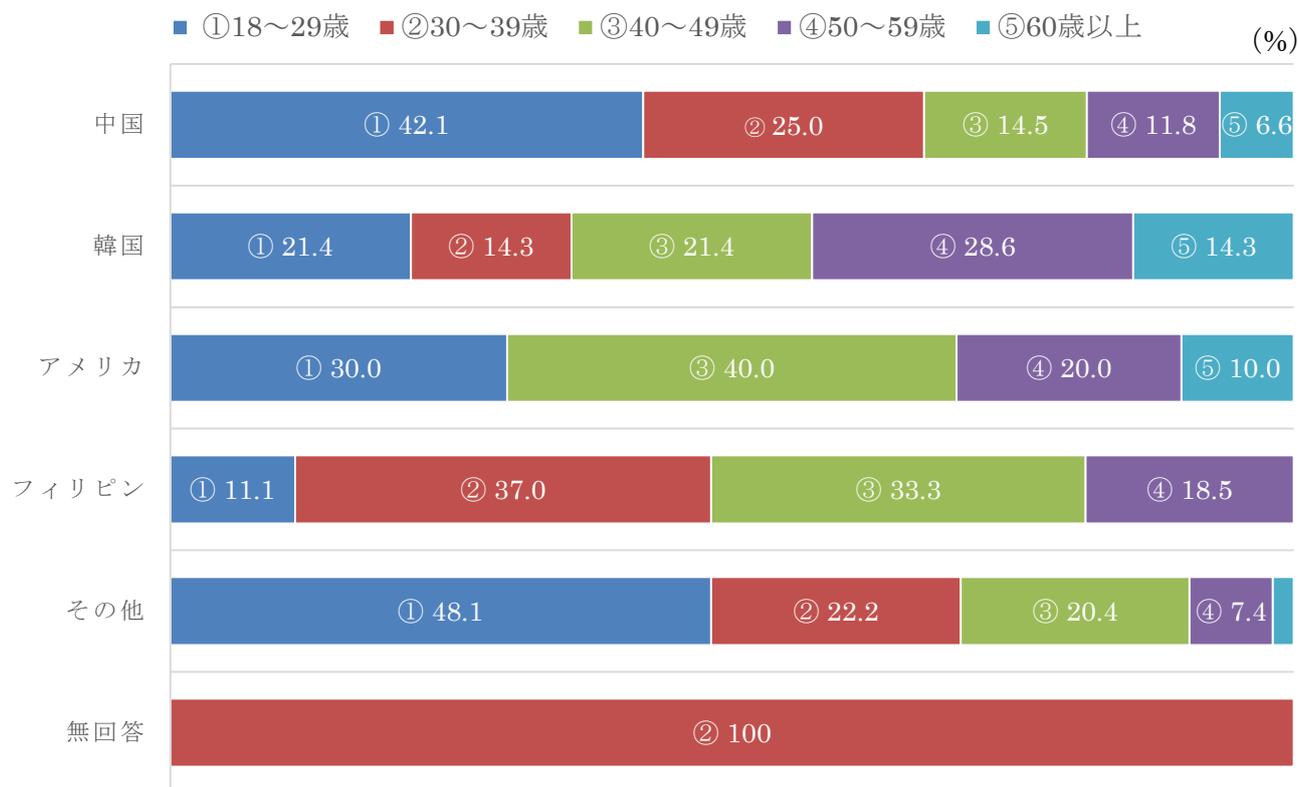
年齢層は、「18～29歳」が88件（40.9%）で最も多い。以下「30～39歳」が50件（23.3%）、「40～49歳」が40件（18.6%）となっている。（図表4-1）

図表4-1：年齢



区分	件数	割合
①18～29歳	88	40.9%
②30～39歳	50	23.3%
③40～49歳	40	18.6%
④50～59歳	25	11.6%
⑤60歳以上	12	5.6%
総計	215	100%

図表 4-2：国籍×年齢



区分	①18～29歳	②30～39歳	③40～49歳	④50～59歳	⑤60歳以上	計
中国	32件	19件	11件	9件	5件	76件
韓国	3件	2件	3件	4件	2件	14件
アメリカ	3件	0件	4件	2件	1件	10件
フィリピン	3件	10件	9件	5件	0件	27件
その他	26件	12件	11件	4件	1件	54件
無回答	0件	1件	0件	0件	0件	1件
計	67件	44件	38件	24件	9件	182件

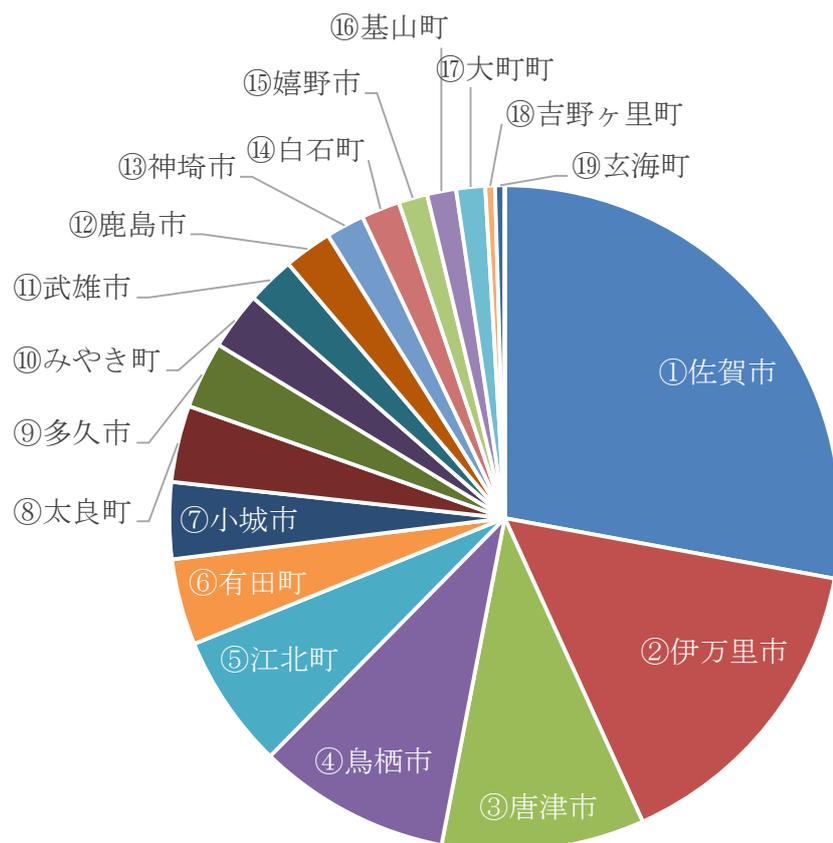
※件数が最も多い区分に色づけ。

(5) 居住市町

問 5：あなたは佐賀県のどこに住んでいますか。

居住市町は、10市の中で「佐賀市」60件（27.9%）が最も多い。以下、「伊万里市」、「唐津市」、「鳥栖市」と続く。10町の中では、「江北町」が14件（6.5%）で最も多かった。（図表5）

図表 5：居住市町



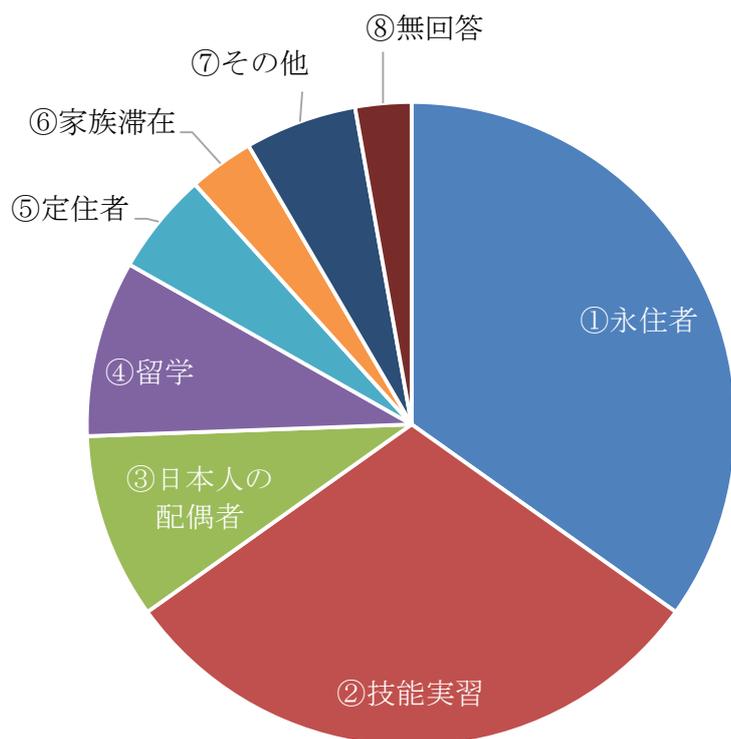
区分	件数	割合
①佐賀市	60	27.9%
②伊万里市	33	15.3%
③唐津市	21	9.8%
④鳥栖市	20	9.3%
⑤江北町	14	6.5%
⑥有田町	9	4.2%
⑦小城市	8	3.7%
⑧太良町	8	3.7%
⑨多久市	7	3.3%
⑩みやき町	6	2.8%
⑪武雄市	5	2.3%
⑫鹿島市	5	2.3%
⑬神埼市	4	1.9%
⑭白石町	4	1.9%
⑮嬉野市	3	1.4%
⑯基山町	3	1.4%
⑰大町町	3	1.4%
⑱吉野ヶ里町	1	0.5%
⑲玄海町	1	0.5%
⑳上峰町	0	0%
総計	215	100%

(6) 在留資格

問 6：あなたの在留資格は何ですか。

在留資格では、「永住者」が 75 件（34.9%）で最も多い。以下、「技能実習」が 65 件（30.2%）、「日本人の配偶者」が 20 件（9.3%）と続く。（図表 6）

図表 6：在留資格



区分	件数	割合
①永住者	75	34.9%
②技能実習	65	30.2%
③日本人の配偶者	20	9.3%
④留学	19	8.8%
⑤定住者	11	5.1%
⑥家族滞在	7	3.3%
⑦その他	12	5.6%
⑧無回答	6	2.8%
総計	215	100%

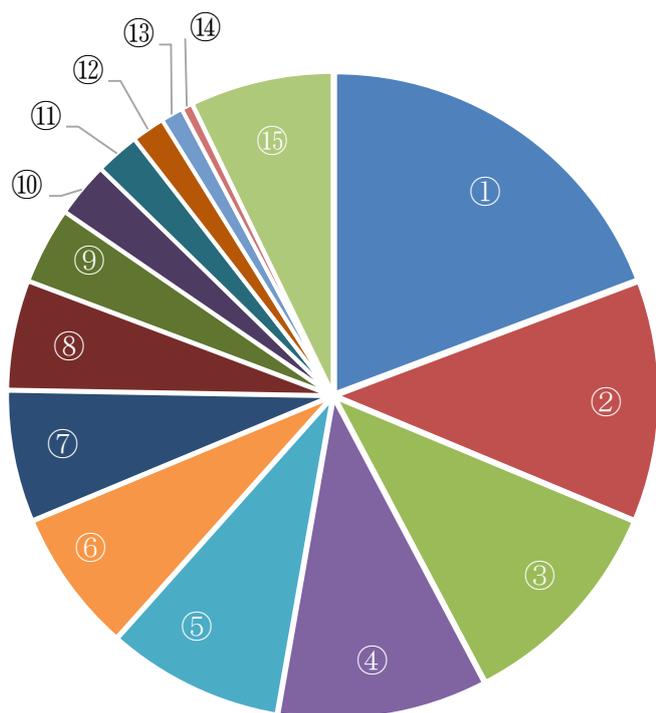
(7) 就業

問7：あなたの仕事を教えてください。

仕事では、「研修員・技能実習生」が35件（19.1%）で最も多い。以下、「学生」22件（12.1%）、
「主婦または主夫」20件（11.0%）、「工場で働いている」19件（10.4%）、となっている。

（図表7-1）

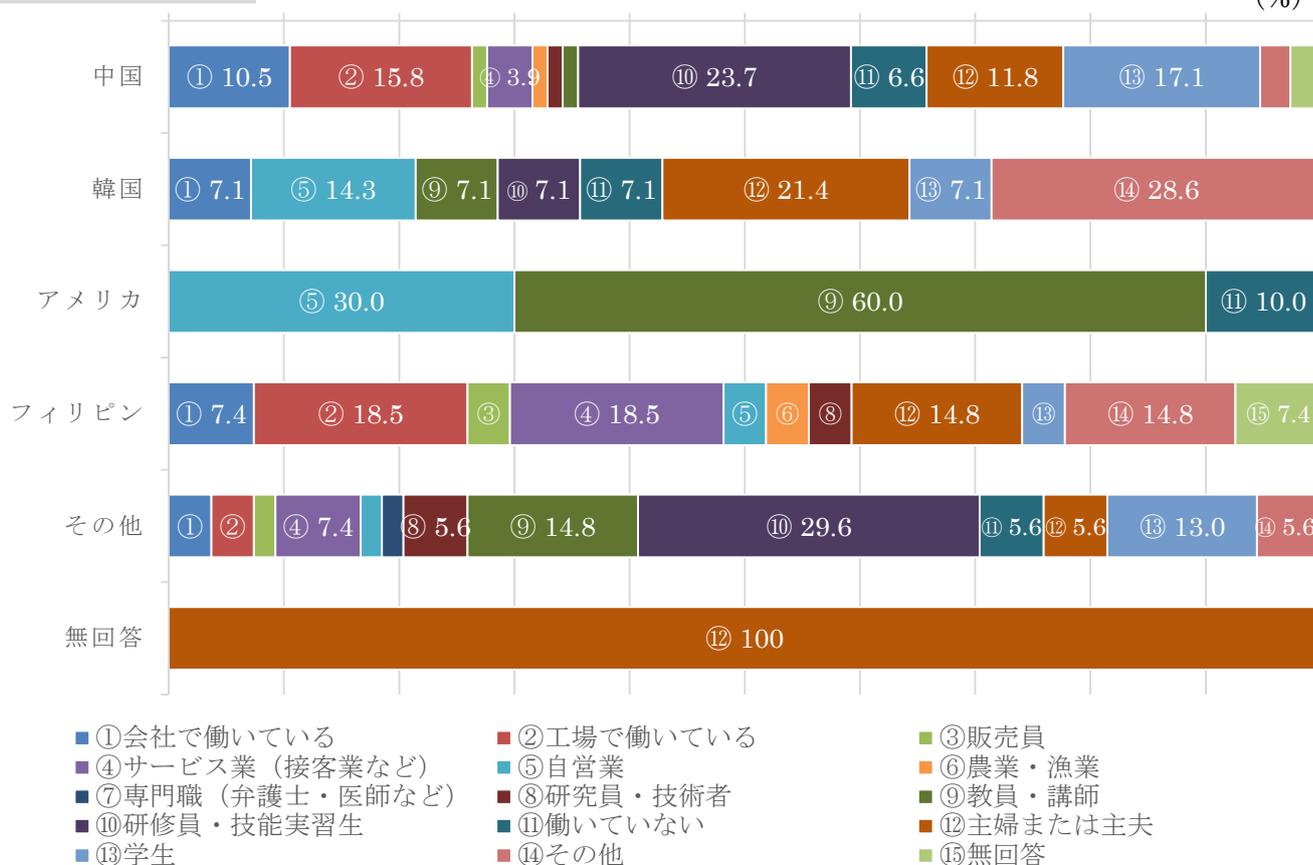
図表7-1：仕事



区分	件数	割合
①研修員・技能実習生	35	19.2%
②学生	22	12.1%
③主婦または主夫	20	11.0%
④工場で働いている	19	10.4%
⑤教員・講師	16	8.8%
⑥会社で働いている	13	7.1%
⑦サービス業（接客業など）	12	6.6%
⑧働いていない	10	5.5%
⑨自営業	7	3.8%
⑩研究員・技術者	5	2.7%
⑪無回答	4	2.2%
⑫販売員	3	1.6%
⑬農業・漁業	2	1.1%
⑭専門職（弁護士・医師など）	1	0.5%
⑮その他	13	7.1%
総計	182	100%

図表 7-2：国籍×仕事

(%)



国籍（計）	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
中国(76件)	8件	12件	1件	3件	0件	1件	0件	1件	1件	18件	5件	9件	13件	2件	2件
韓国(14件)	1件	0件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	1件	1件	1件	3件	1件	4件	0件
アメリカ(10件)	0件	0件	0件	0件	3件	0件	0件	0件	6件	0件	1件	0件	0件	0件	0件
フィリピン(27件)	2件	5件	1件	5件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	4件	1件	4件	2件
その他(54件)	2件	2件	1件	4件	1件	0件	1件	3件	8件	16件	3件	3件	7件	3件	0件
無回答(1件)	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件
計(182件)	13件	19件	3件	12件	7件	2件	2件	5件	16件	35件	10件	20件	22件	13件	3件

※件数が最も多い区分に色づけ。

(8) 世帯構成

問 8 : あなたといっしょに住んでいる人はいますか。(複数回答可)

子どもがいる人は人数と年齢を書いてください。

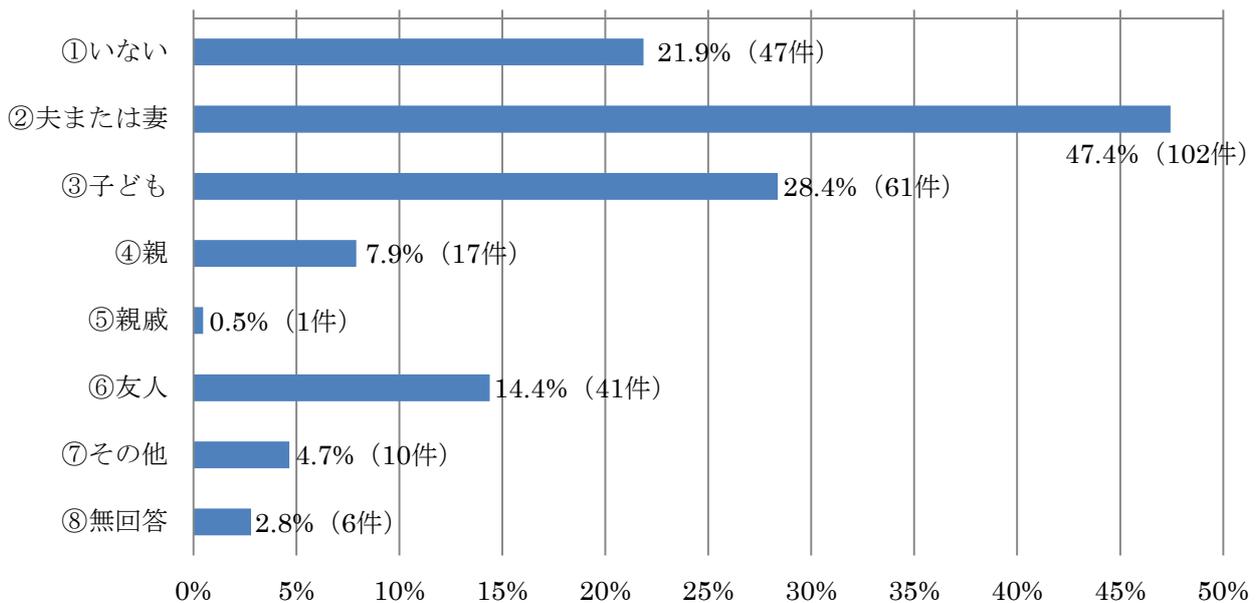
「夫または妻と同居している」が 102 件(47.4%)で最も多かった。以下、「子ども」が 61 件(28.4%)、「いない」が 47 件(21.9%)、「友人」が 41 件(14.4%)となっている。(図 8-1)

子どもの有無においては、「いない」が 136 件(63.3%)と最も多かった。(図 8-2)

親の国籍別と子どもの年齢においては、「中国」が 37 件で最も多く、その中でも「0 歳から 5 歳」が 12 件(32.4%)で最も多かった。以下、「フィリピン」が 26 件、その中でも「6 歳から 12 歳」が 12 件(46.2%)で最も多い。(図表 8-3)

図 8-1 : 同居

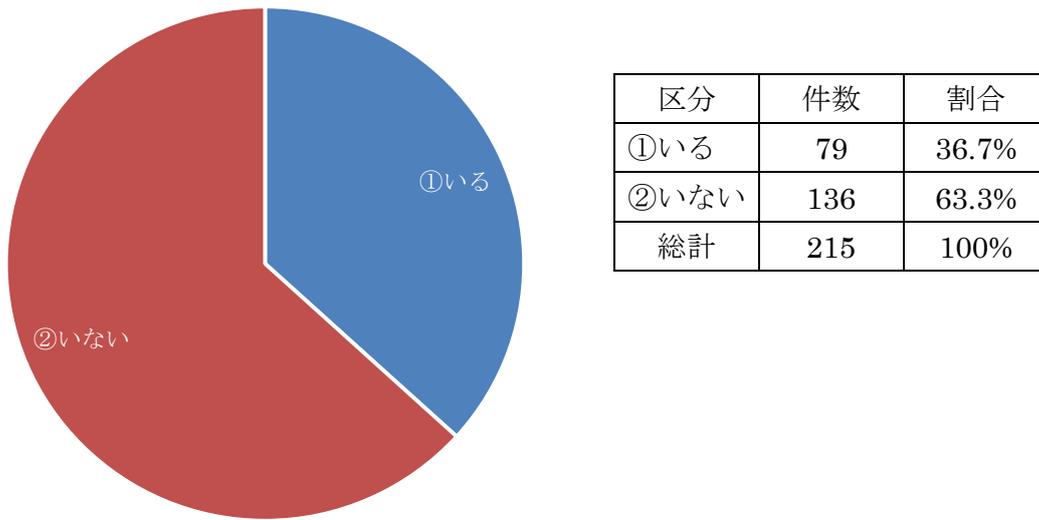
(総件数:285 件)



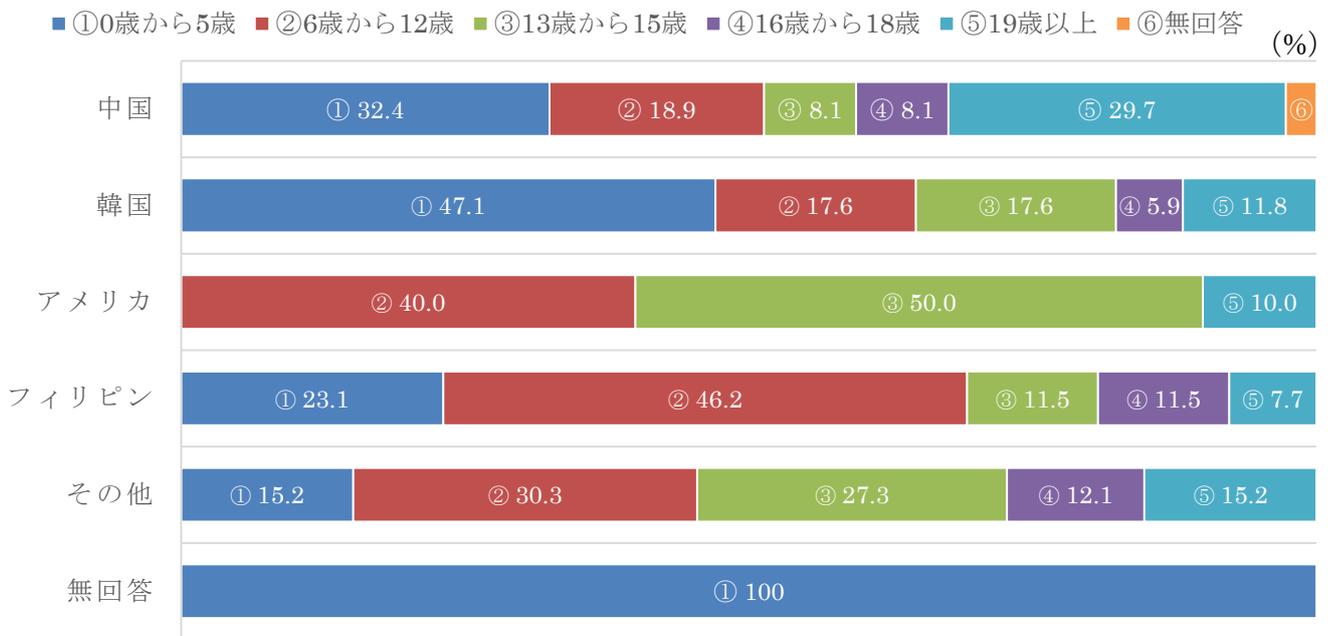
その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	中国	同僚
2	その他	彼女
3	その他	孫
4	その他	同僚

図 8-2 : 子どもの有無



図表 8-3 : 親の国籍×子どもの年齢



区分	①0歳から5歳	②6歳から12歳	③13歳から15歳	④16歳から18歳	⑤19歳以上	⑥無回答	計
中国	12件	7件	3件	3件	11件	1件	37件
韓国	8件	3件	3件	1件	2件	0件	17件
アメリカ	0件	4件	5件	0件	1件	0件	10件
フィリピン	6件	12件	3件	3件	2件	0件	26件
無回答	2件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
その他	5件	10件	9件	4件	5件	0件	33件
計	33件	36件	23件	11件	21件	1件	125件

※件数が最も多い区分に色づけ。

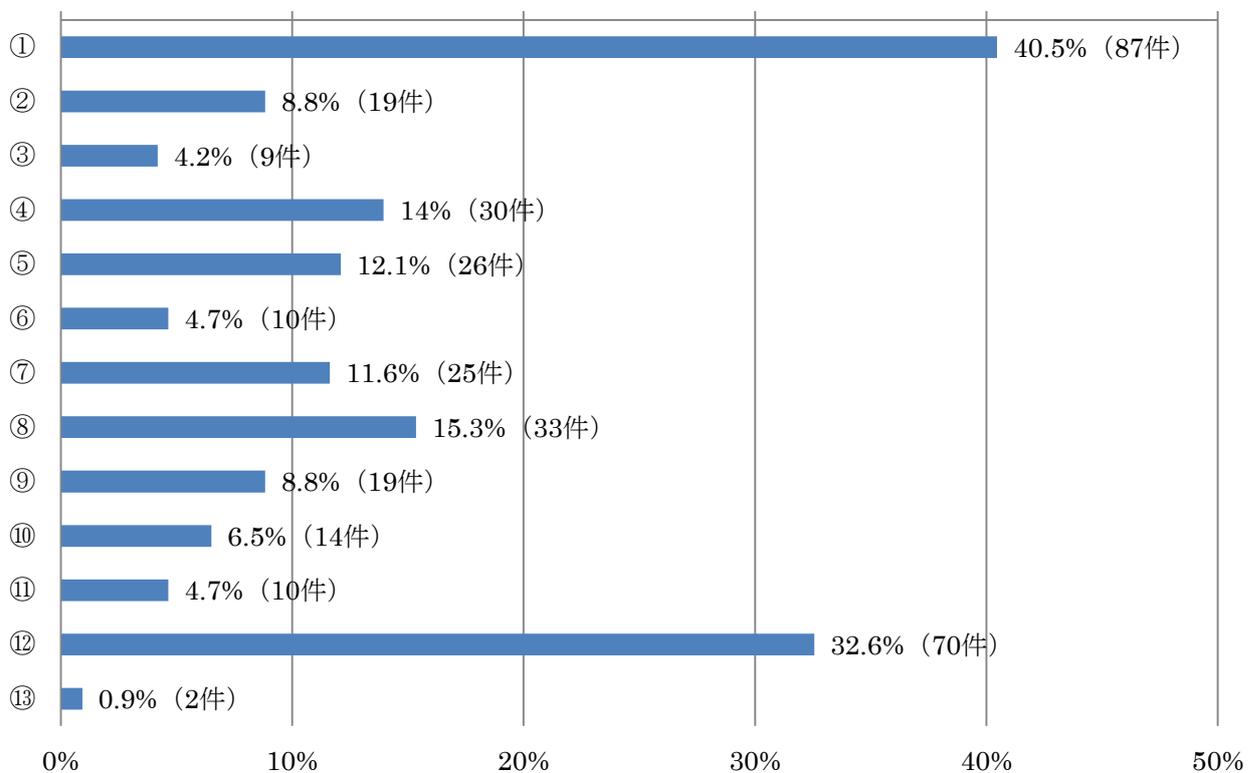
2. 日常生活に関すること
 (1) 日常生活で困ったこと

問9：日常生活で困っていること、困った経験があれば教えてください。（複数回答可）

日常生活で困っていることの中で「ことばが通じない」が87件（40.5%）と最も多かった。以下、「ホームシック」が33件（15.3%）、「生活習慣が違う」が30件（14%）と続く。「特に困っていない」は70件（32.6%）だった。（図9-1）

図9-1：日常生活で困ったこと

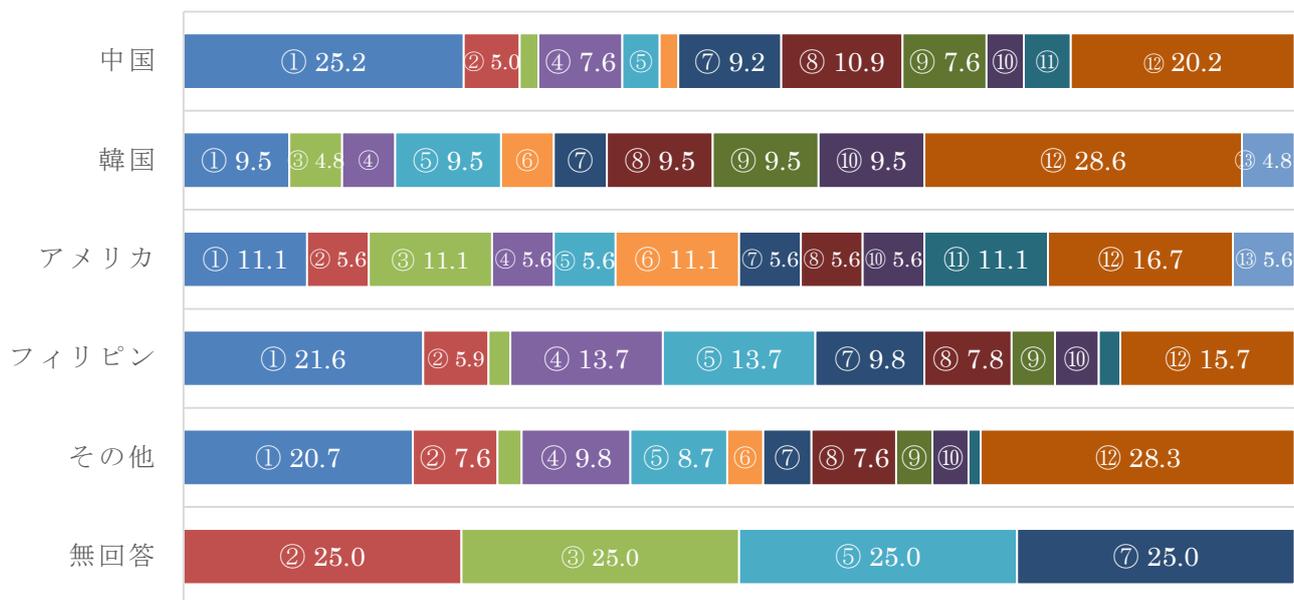
（総件数：354件）



①ことばが通じない	⑧ホームシック
②電車やバスの乗り方がわからない	⑨悩みを相談できる友人がいない
③ごみの出し方がわからない	⑩差別やいじめを受けている
④生活習慣が違う	⑪その他
⑤役場・市役所の窓口の手続きがわからない	⑫特に困ってない
⑥近所の人と仲良くできない	⑬無回答
⑦図書館など県や市町の施設の利用の仕方がわからない	

図表 9-2：国籍×日常生活で困ったこと

(%)



- ① ことばが通じない
- ② 電車やバスの乗り方がわからない
- ③ ごみの出し方がわからない
- ④ 生活習慣が違う
- ⑤ 役場・市役所の窓口の手続きがわからない
- ⑥ 近所の人と仲良くできない
- ⑦ 図書館など県や市町の施設の利用の仕方がわからない
- ⑧ ホームシック
- ⑨ 悩みを相談できる友人がいない
- ⑩ 差別やいじめを受けている
- ⑪ その他
- ⑫ 特に困ってない
- ⑬ 無回答

区分(計)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
中国(119件)	30件	6件	2件	9件	4件	2件	11件	13件	9件	4件	5件	24件	0件
韓国(21件)	2件	0件	1件	1件	2件	1件	1件	2件	2件	2件	0件	6件	1件
アメリカ(18件)	2件	1件	2件	1件	1件	2件	1件	1件	0件	1件	2件	3件	1件
フィリピン(51件)	11件	3件	1件	7件	7件	0件	5件	4件	2件	2件	1件	8件	0件
その他(92件)	19件	7件	2件	9件	8件	3件	4件	7件	3件	3件	1件	26件	0件
無回答(4件)	0件	1件	1件	0件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
計(305件)	64件	18件	9件	27件	23件	8件	23件	27件	16件	12件	9件	67件	2件

※件数が最も多い区分に色づけ。

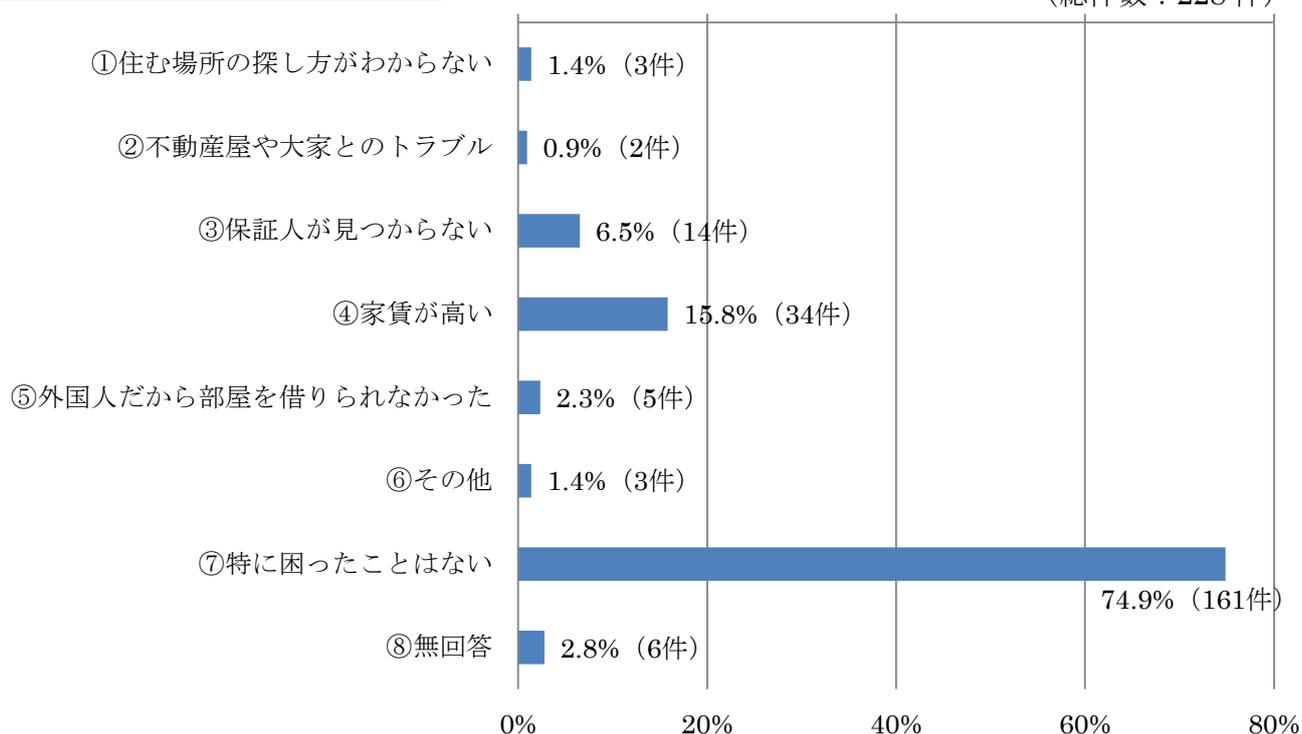
(2) 住宅について困ったこと

問 10：住宅について困っていること、困った経験があれば教えてください。（複数回答可）

住宅について困っていることの中で、「家賃が高い」が 34 件（15.8%）で最も多かった。以下、「保証人が見つからない」が 14 件（6.5%）、「外国人だから部屋を借りられなかった」が 5 件（2.3%）と続く。「特に困っていない」は、161 件（74.9%）だった。（図 10-1）

図 10-1：住宅について困ったこと

（総件数：228 件）



その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	中国	買いたいけどローンできない。

図表 10-2：国籍×住宅について困ったこと

- ①住む場所の探し方がわからない
- ②不動産屋や大家とのトラブル
- ③保証人が見つからない
- ④家賃が高い
- ⑤外国人だから部屋を借りられなかった
- ⑥その他
- ⑦特に困ったことはない
- ⑧無回答



区分	①住む場所の探し方がわからない	②不動産屋や大家とのトラブル	③保証人が見つからない	④家賃が高い	⑤外国人だから部屋を借りられなかった	⑥その他	⑦特に困ったことはない	⑧無回答	計
中国	1件	1件	7件	14件	3件	1件	54件	3件	84件
韓国	0件	0件	0件	0件	0件	0件	14件	0件	14件
アメリカ	0件	0件	1件	0件	1件	0件	9件	0件	11件
フィリピン	0件	0件	3件	5件	0件	0件	18件	1件	27件
その他	1件	1件	1件	6件	1件	0件	44件	1件	55件
無回答	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件
計	2件	2件	12件	25件	5件	1件	139件	6件	192件

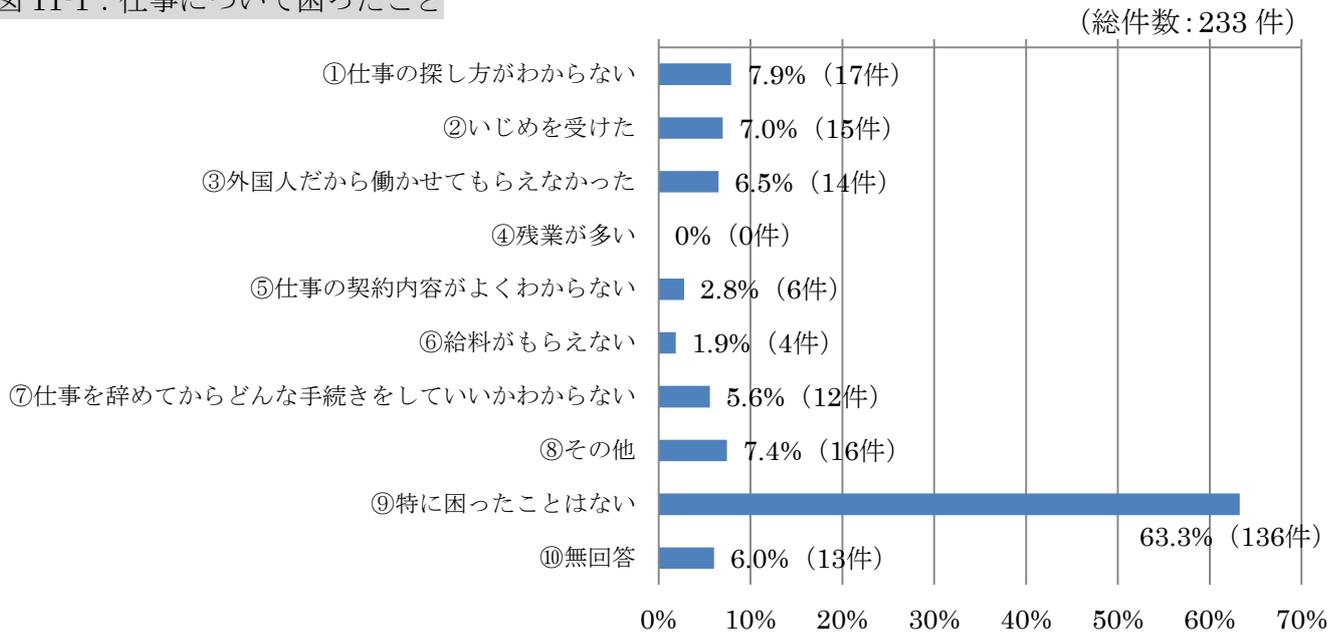
※件数が最も多い区分に色づけ。

(3) 仕事について困ったこと

問 11：仕事について困っていること、困った経験があれば教えてください。（複数回答可）

仕事について困っていることの中で、「仕事の探し方がわからない」が 17 件（7.9%）で最も多かった。以下、「いじめを受けた」が 15 件（7.0%）、「外国人だから働かせてもらえなかった」が 14 件（6.5%）と続く。「特に困ったことはない」は 136 件（63.3%）だった。（図 11-1）

図 11-1：仕事について困ったこと

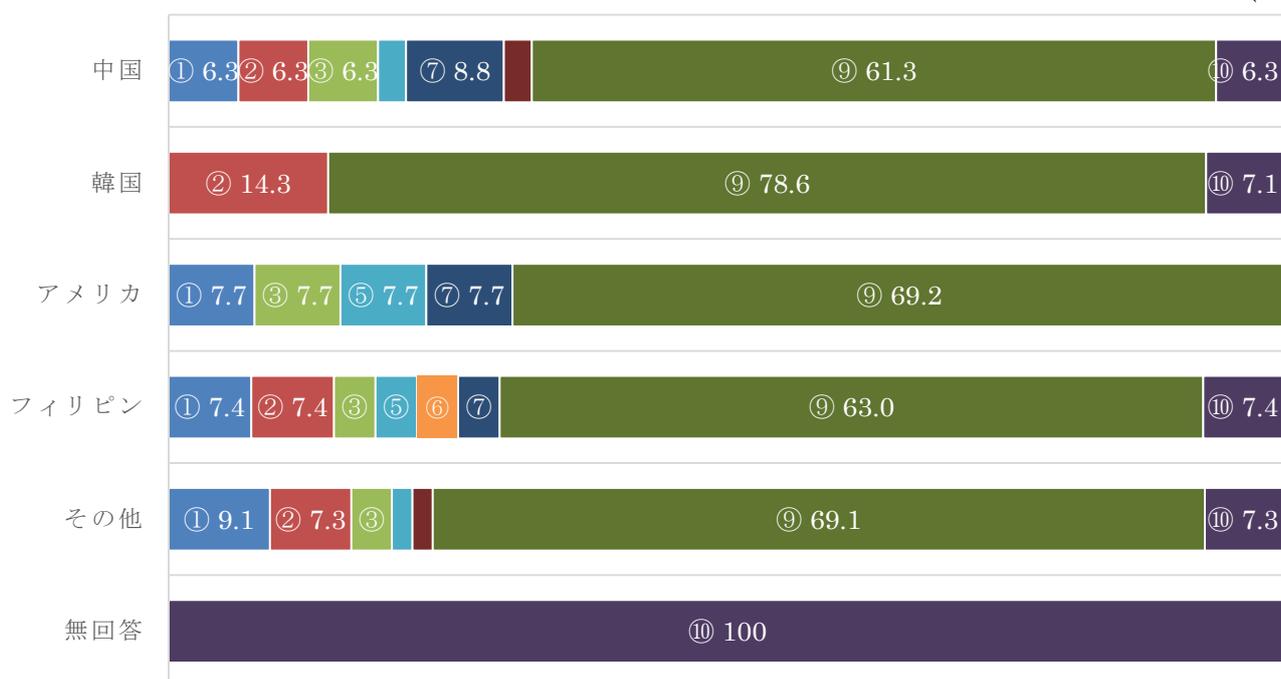


その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	中国	就職のチャンスが少ない。
2	中国	給料が安い。
3	その他	お金が安い。

図表 11-2：国籍×仕事について困ったこと

(%)



- ①仕事の探し方がわからない
- ②いじめを受けた
- ③外国人だから働かせてもらえなかった
- ④残業が多い
- ⑤仕事の契約内容がよくわからない
- ⑥給料がもらえない
- ⑦仕事を辞めてからどんな手続きをしていいかわからない
- ⑧その他
- ⑨特に困ったことはない
- ⑩無回答

区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	計
中国	5件	5件	5件	0件	2件	0件	7件	2件	49件	5件	80件
韓国	0件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	11件	1件	14件
アメリカ	1件	0件	1件	0件	1件	0件	1件	0件	9件	0件	13件
フィリピン	2件	2件	1件	0件	1件	1件	1件	0件	17件	2件	27件
その他	5件	4件	2件	0件	1件	0件	0件	1件	38件	4件	55件
無回答	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件
計	13件	13件	9件	0件	5件	1件	9件	3件	124件	13件	190件

※件数が最も多い区分に色づけ。

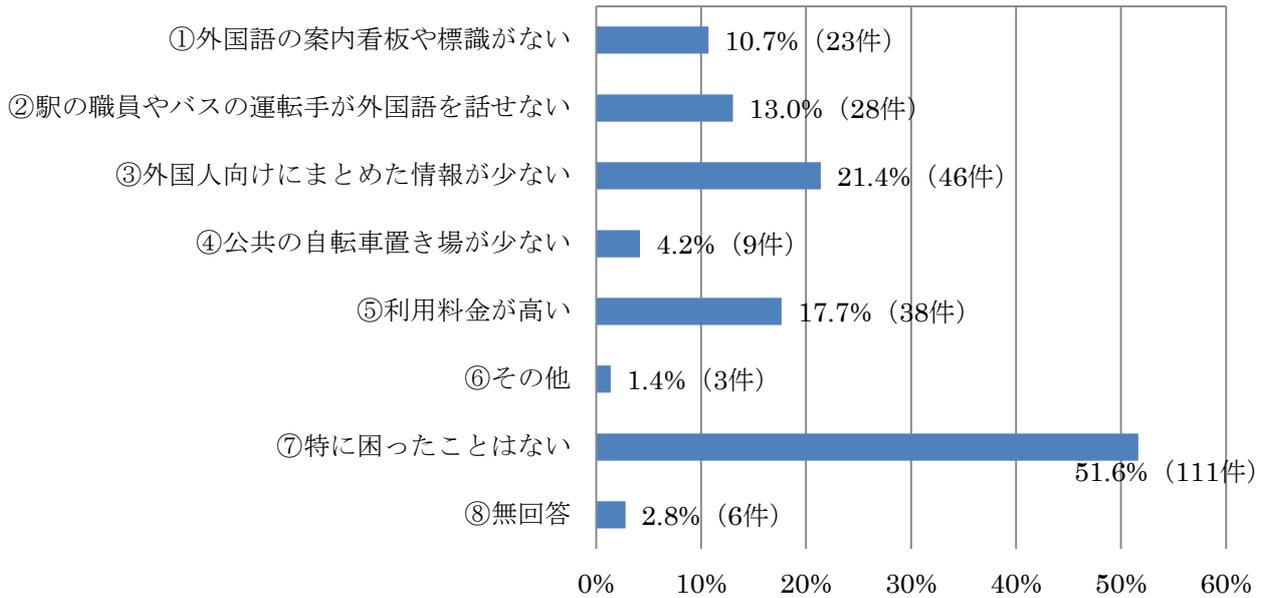
(4) 交通について困ったこと

問 12 : 交通について困っていること、困った経験があれば教えてください。(複数回答可)

交通では「外国人向けにまとめた情報が少ない」が 46 件 (21.4%) と最も多く、「利用料金が高い」が 38 件 (17.7%)、「駅の職員やバスの運転手が外国語を話せない」が 28 件 (13.0%) と続く。「特に困ったことはない」は 111 件 (51.6%) だった。(図 12-1)

図 12-1 : 交通について困ったこと

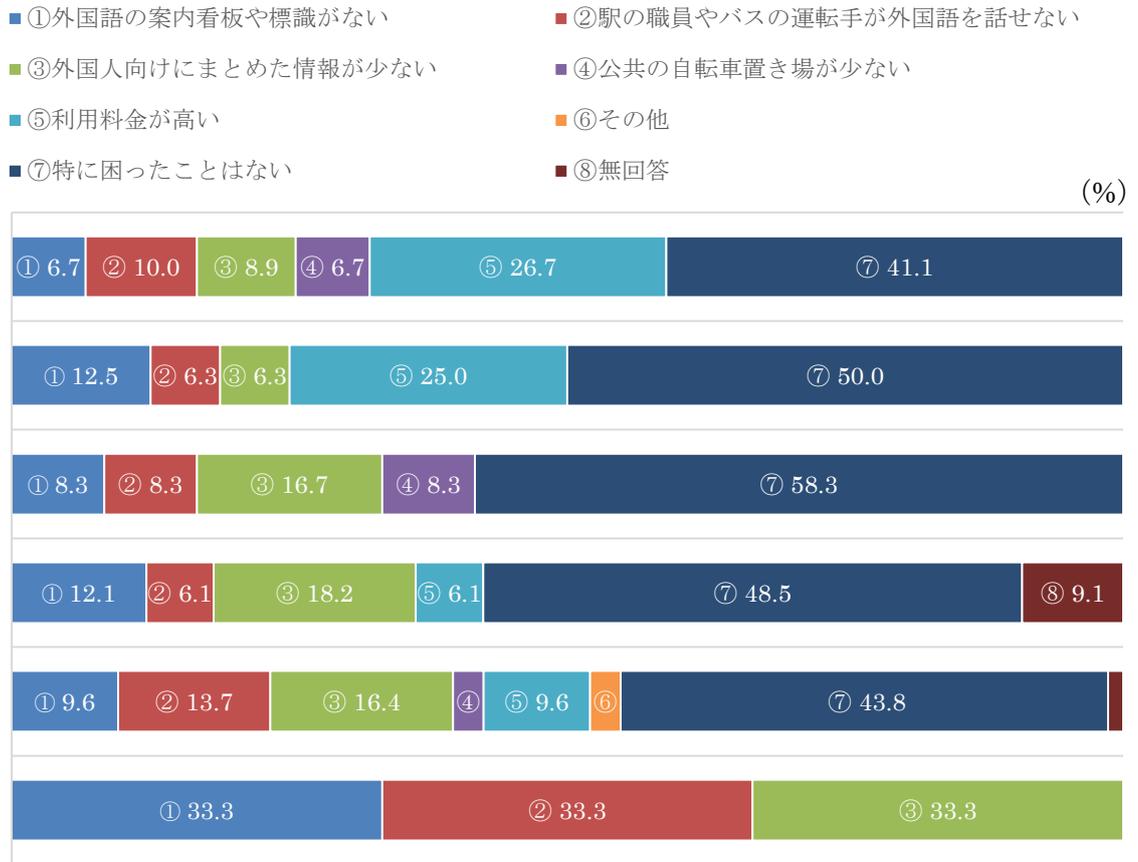
(総件数 : 264 件)



その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	韓国	外国人に関係なく、駅員の態度が悪い。
2	その他	道がとても混んでいる。
3	その他	バスが少ない。

図表 12-2：国籍×交通について困ったこと



区分	①外国語の案内看板や標識がない	②駅の職員やバスの運転手が外国語を話せない	③外国人向けにまとめた情報が少ない	④公共の自転車置き場が少ない	⑤利用料金が高い	⑥その他	⑦特に困ったことはない	⑧無回答	計
中国	6件	9件	8件	6件	24件	0件	37件	0件	90件
韓国	2件	1件	1件	0件	4件	0件	8件	0件	16件
アメリカ	1件	1件	2件	1件	0件	0件	7件	0件	12件
フィリピン	4件	2件	6件	0件	2件	0件	16件	3件	33件
その他	7件	10件	12件	2件	7件	2件	32件	1件	73件
無回答	1件	1件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	3件
計	21件	24件	30件	9件	37件	2件	100件	4件	227件

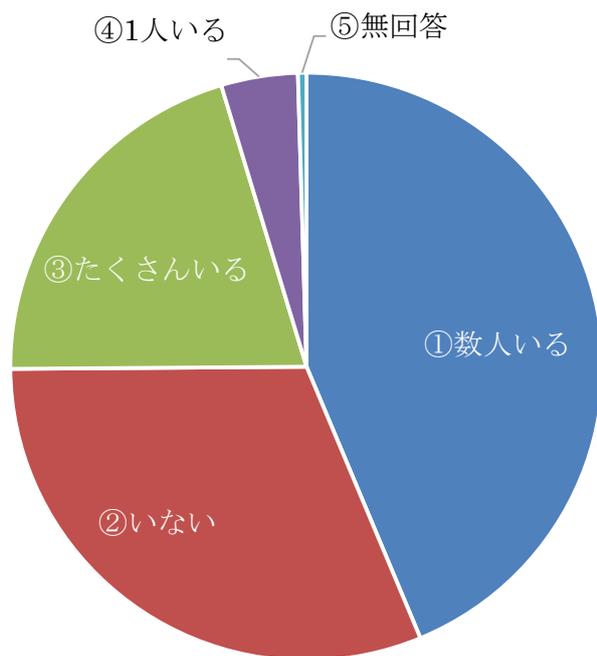
※件数が最も多い区分に色づけ。

(5) 日本人の友人

問 13：あなたは親しい日本人の友人がいますか。

親しい日本人の友人が「数人いる」と答えた人が 94 件 (43.7%) で最も多かった。以下、「いない」が 67 件 (31.2%)、「たくさんいる」が 44 件 (20.5%) と続く。(図表 13)

図表 13：日本人の友人



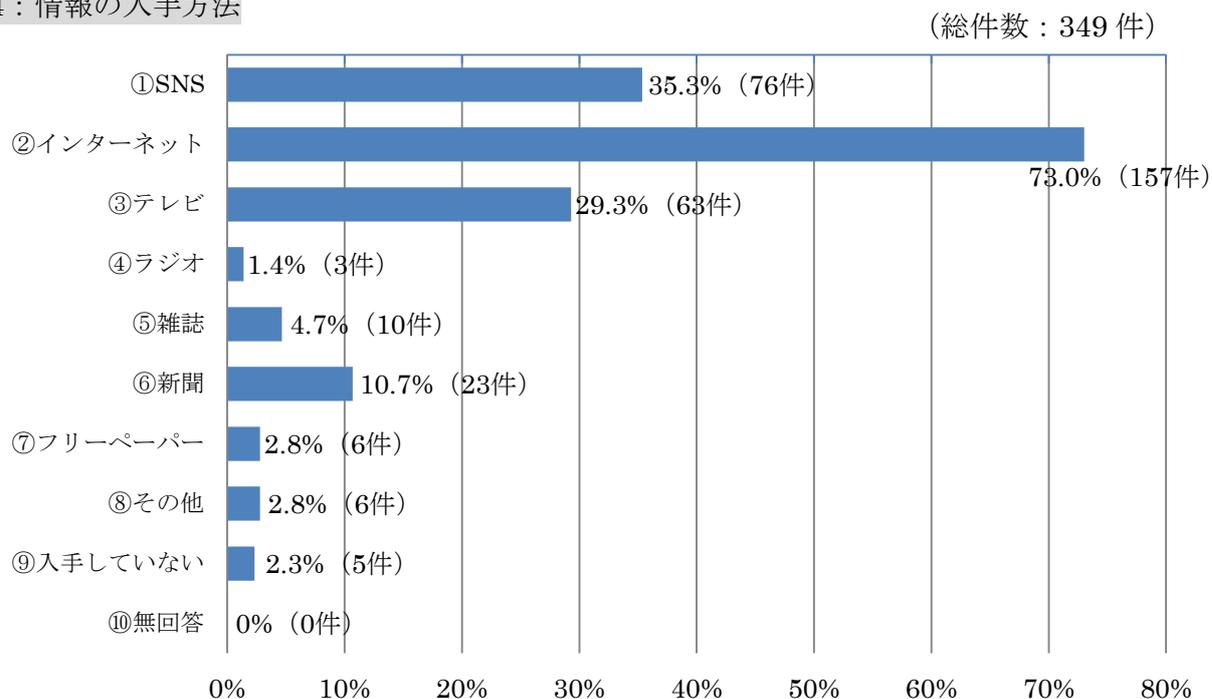
区分	件数	割合
①数人いる	94	43.7%
②いない	67	31.2%
③たくさんいる	44	20.5%
④1人いる	9	4.2%
⑤無回答	1	0.5%
総計	215	100%

(6) 情報の入手方法

問 14：あなたの母国の情報をどのような方法で入手していますか。（複数回答可）

母国の情報の入手方法では、「インターネット」が 157 件（73.0%）で最も多かった。以下、「SNS」が 76 件（35.3%）、「テレビ」が 63 件（29.3%）と続く。（図 14）

図 14：情報の入手方法



その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	アメリカ	友人
2	タイ	1か月に1回くらい電話する。
3	フィリピン	夫、義理の両親。

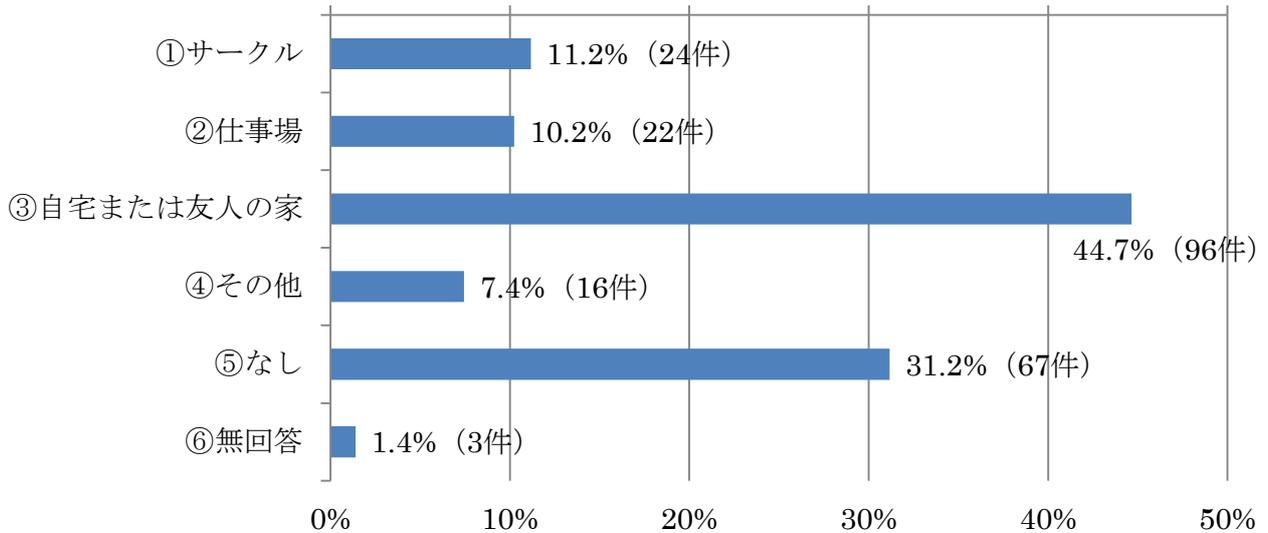
(7) 情報交換の場

問 15：同じ国の人同士の情報交換の場所がありますか。(複数回答可)

情報交換の場所では、「自宅または友人の家」が 96 件 (44.7%) で最も多かった。以下、「なし」が 67 件 (31.2%)、「サークル」が 24 件 (11.2%)、「仕事場」22 件 (10.2%) と続く。(図 15)

図 15：情報交換の場

(総件数：228 件)



その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	中国	学校
2	中国	学校
3	中国	親戚が近くに住んでいます。
4	中国	電話
5	韓国	民間団体
6	韓国	教会
7	フィリピン	電話
8	フィリピン	インターネット・フェイスブック
9	アメリカ	唐津のボランティアガイド
10	アメリカ	ALT の集まり
11	その他	教会
12	その他	住んでいる場所
13	その他	インドネシア人留学生会
14	その他	興味がない。

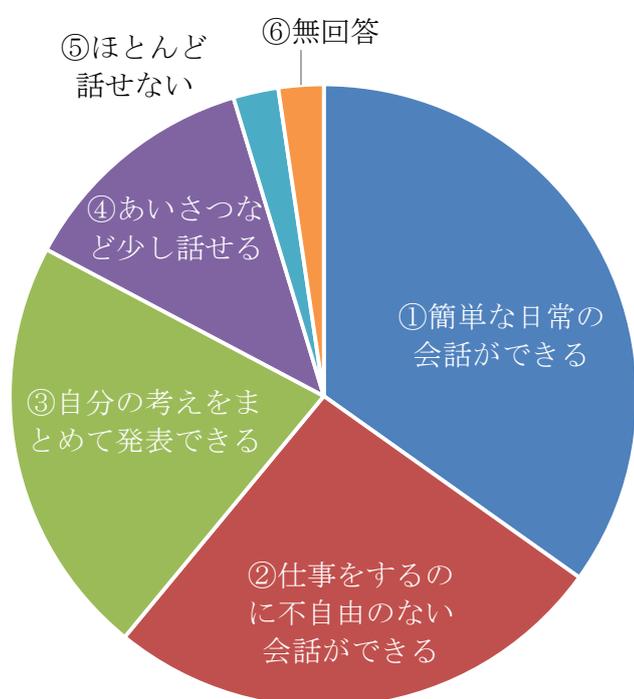
3. 日本語能力に関すること

(1) 日本語の素養<話す>

問 16 : あなたは日本語がどのくらいできますか。

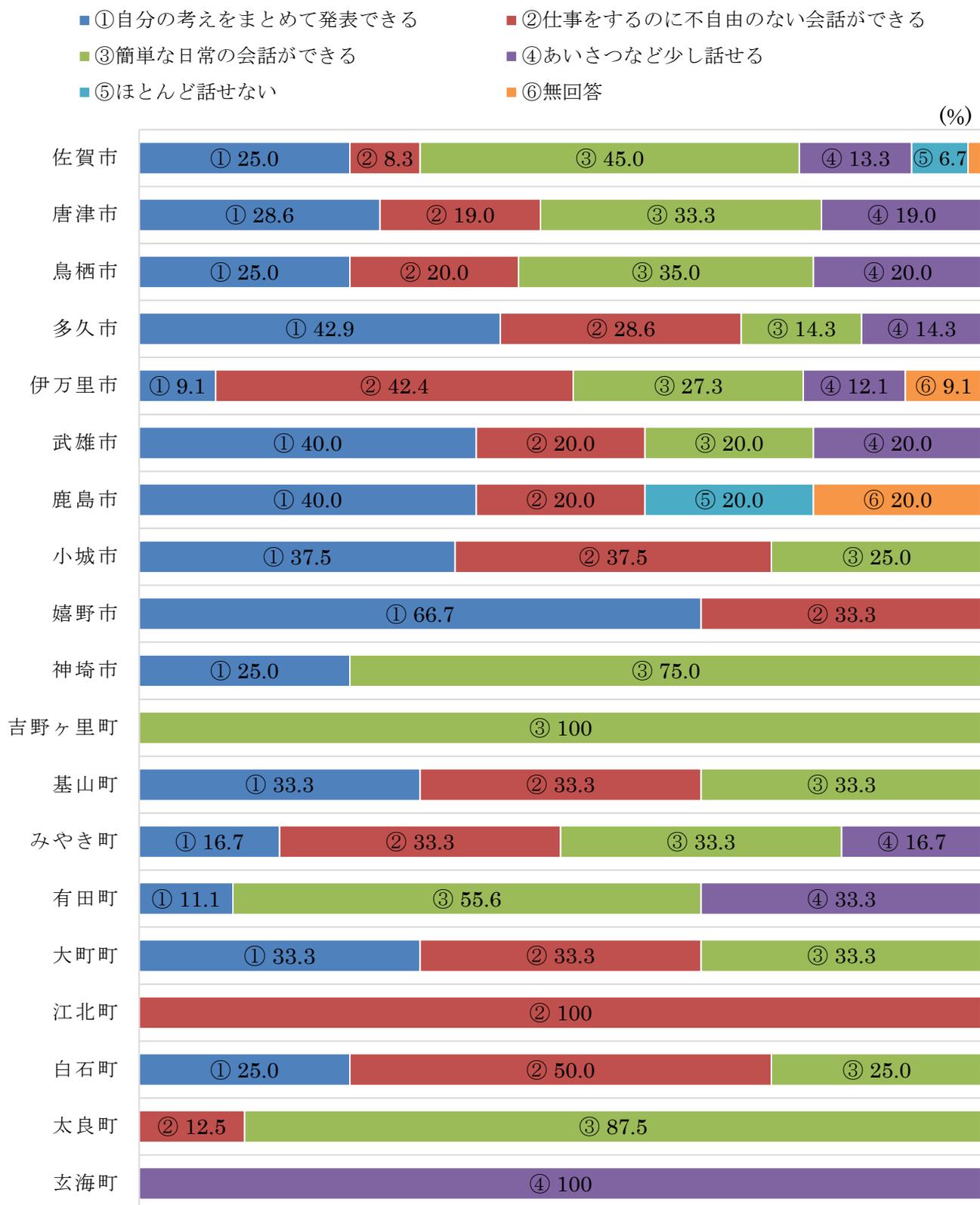
日本語の<話す>レベルにおいては、「簡単な日常会話ができる」が 75 件 (34.9%) と最も多かった。以下、「仕事をするのに不自由のない会話ができる」が 56 件 (26.0%)、「自分の考えをまとめて発表できる」が 47 件 (21.9%) と続く。(図表 16-1-1)

図表 16-1-1 : 日本語レベル<話す>



区分	件数	割合
①簡単な日常の会話ができる	75	34.9%
②仕事をするのに不自由のない会話ができる	56	26.0%
③自分の考えをまとめて発表できる	47	21.9%
④あいさつなど少し話せる	27	12.6%
⑤ほとんど話せない	5	2.3%
⑥無回答	5	2.3%
総計	215	100%

図表 16-1-2 : 居住市町×日本語レベル<話す>



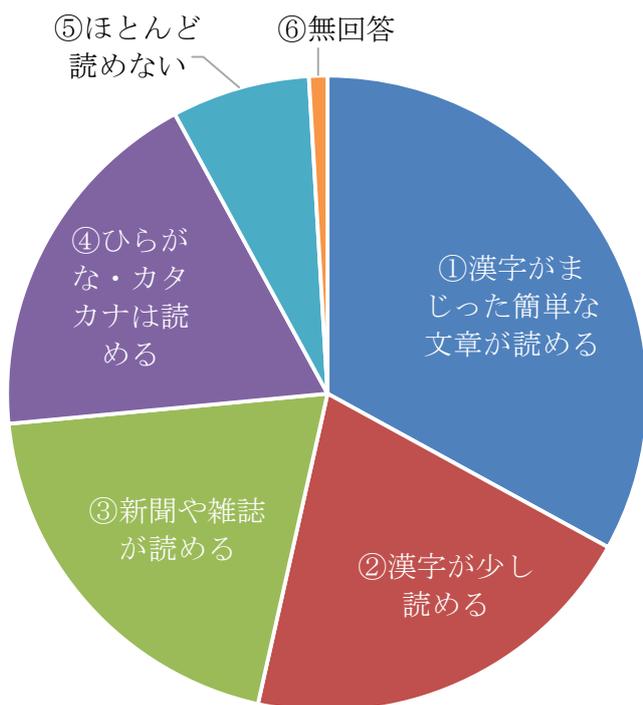
図表 16-1-3 : 居住市町×日本語レベル<話す>

	①自分の考えをまとめて発表できる		②仕事をするのに不自由のない会話ができる		③簡単な日常の会話ができる		④あいさつなど少し話せる		⑤ほとんど話せない		⑥無回答		合計	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%		
佐賀市	15	25	5	8.3	27	45	8	13.3	4	6.7	1	1.7	60	佐賀市
唐津市	6	28.6	4	19	7	33.3	4	19	0	0			21	唐津市
鳥栖市	5	25	4	20	7	35	4	20	0	0			20	鳥栖市
多久市	3	42.9	2	28.6	1	14.3	1	14.3	0	0			7	多久市
伊万里市	3	9.1	14	42.4	9	27.3	4	12.1	0	3	9.1		33	伊万里市
武雄市	2	40	1	20	1	20	1	20	0	0			5	武雄市
鹿島市	2	40	1	20	0	0	0	0	1	20	1	20	5	鹿島市
小城市	3	37.5	3	37.5	2	25	0	0	0	0			8	小城市
嬉野市	2	66.7	1	33.3	0	0	0	0	0	0			3	嬉野市
神埼市	1	25	0	0	3	75	0	0	0	0			4	神埼市
吉野ヶ里町	0	0	0	0	1	100	0	0	0	0			1	吉野ヶ里町
基山町	1	33.3	1	33.3	1	33.3	0	0	0	0			3	基山町
みやき町	1	16.7	2	33.3	2	33.3	1	16.7	0	0			6	みやき町
有田町	1	11.1	0	0	5	55.6	3	33.3	0	0			9	有田町
大町町	1	33.3	1	33.3	1	33.3	0	0	0	0			3	大町町
江北町	0	0	14	100	0	0	0	0	0	0			14	江北町
白石町	1	25	2	50	1	25	0	0	0	0			4	白石町
太良町	0	0	1	12.5	7	87.5	0	0	0	0			8	太良町
玄海町	0	0	0	0	0	0	1	100	0	0			1	玄海町
県全体	47	21.9	56	26	75	34.9	27	12.6	5	2.3	5	2.3	215	県全体

(2) 日本の素養<読む>

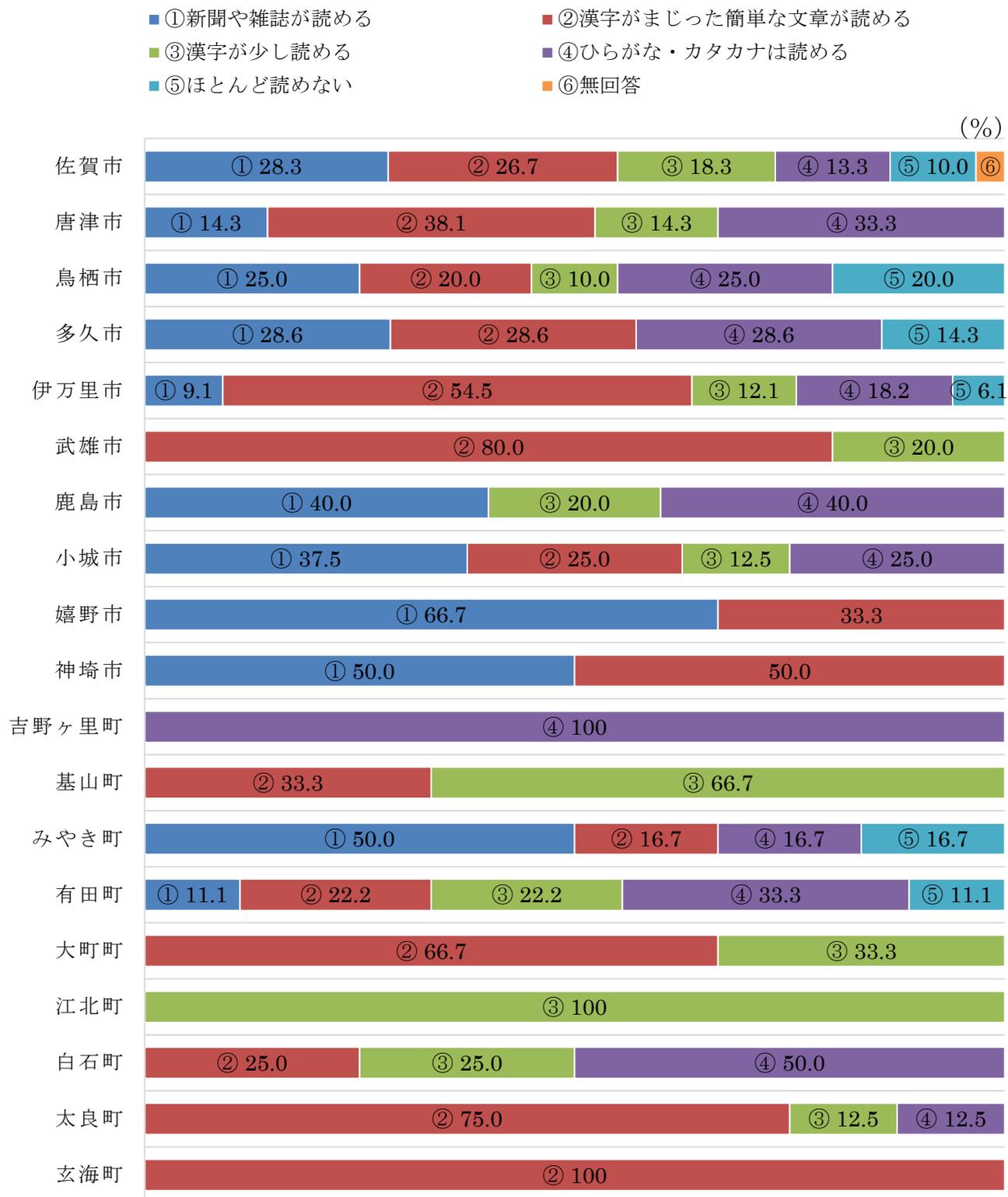
日本語の<読む>レベルにおいては、「漢字がまじった簡単な文章が読める」が71件(33.0%)で最も多かった。以下、「漢字が少し読める」が44件(20.5%)、「新聞や雑誌が読める」が43件(20.0%)、「ひらがな・カタカナは読める」が40件(18.6%)と続く。(図表16-2-1)

図表 16-2-1 : 日本語のレベル<読む>



区分	件数	割合
①漢字がまじった簡単な文章が読める	71	33.0%
②漢字が少し読める	44	20.5%
③新聞や雑誌が読める	43	20.0%
④ひらがな・カタカナは読める	40	18.6%
⑤ほとんど読めない	15	7.0%
⑥無回答	2	0.9%
総計	215	100%

表 16-2-2：居住市町×日本語のレベル<読む>



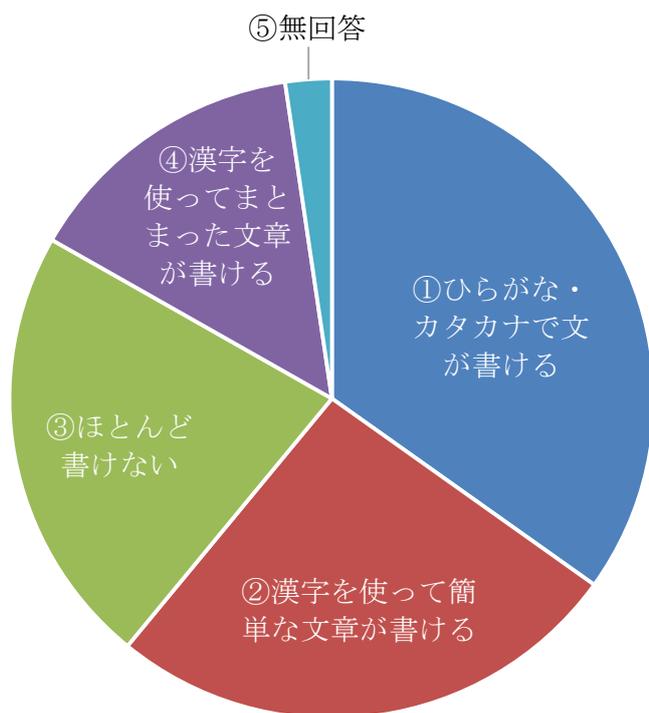
図表 16-2-3：居住市町×日本語のレベル<読む>

	①新聞や雑誌が読める		②漢字がまじった簡単な文章が読める		③漢字が少し読める		④ひらがな・カタカナは読める		⑤ほとんど読めない		⑥無回答		合計	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%		
佐賀市	17	28.3	16	26.7	11	18.3	8	13.3	6	10.0	2	3.3	60	佐賀市
唐津市	3	14.3	8	38.1	3	14.3	7	33.3	0		0		21	唐津市
鳥栖市	5	25.0	4	20.0	2	10.0	5	25.0	4	20.0	0		20	鳥栖市
多久市	2	28.6	2	28.6	0		2	28.6	1	14.3	0		7	多久市
伊万里市	3	9.1	18	54.5	4	12.1	6	18.2	2	6.1	0		33	伊万里市
武雄市	0		4	80.0	1	20.0	0		0		0		5	武雄市
鹿島市	2	40.0	0		1	20.0	2	40.0	0		0		5	鹿島市
小城市	3	37.5	2	25.0	1	12.5	2	25.0	0		0		8	小城市
嬉野市	2	66.7	1	33.3	0		0		0		0		3	嬉野市
神埼市	2	50.0	2	50.0	0		0		0		0		4	神埼市
吉野ヶ里町	0		0		0		1	100	0		0		1	吉野ヶ里町
基山町	0		1	33.3	2	66.7	0		0		0		3	基山町
みやき町	3	50.0	1	16.7	0		1	16.7	1	16.7	0		6	みやき町
有田町	1	11.1	2	22.2	2	22.2	3	33.3	1	11.1	0		9	有田町
大町町	0		2	66.7	1	33.3	0		0		0		3	大町町
江北町	0		0		14	100	0		0		0		14	江北町
白石町	0		1	25.0	1	25.0	2	50.0	0		0		4	白石町
太良町	0		6	75.0	1	12.5	1	12.5	0		0		8	太良町
玄海町	0		1	100	0		0		0		0		1	玄海町
県全体	43	20.0	71	33.0	44	20.5	40	18.6	15	7.0	2	0.9	215	県全体

(3) 日本語の素養<書く>

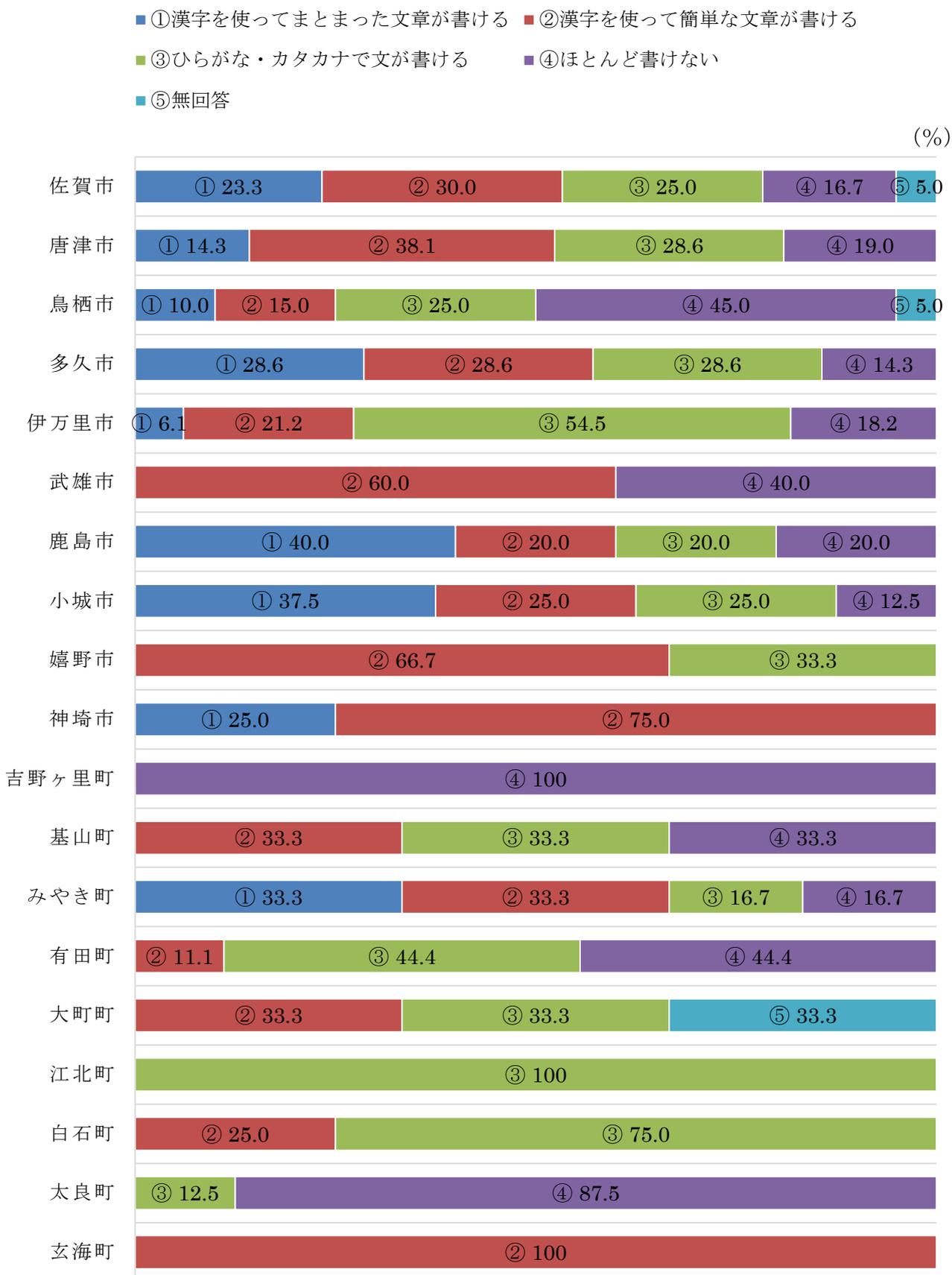
日本語の<書く>レベルにおいては、「ひらがな・カタカナで文が書ける」が75件(34.9%)で最も多かった。以下、「漢字を使って簡単な文章が書ける」が56件(26.0%)、「ほとんど書けない」が48件(22.3%)、「漢字を使ってまとまった文章が書ける」が31件(14.4%)と続く。(図表 16-3-1)

図表 16-3-1 : 日本語のレベル<書く>



区分	件数	割合
①ひらがな・カタカナで文が書ける	75	34.9%
②漢字を使って簡単な文章が書ける	56	26.0%
③ほとんど書けない	48	22.3%
④漢字を使ってまとまった文章が書ける	31	14.4%
⑤無回答	5	2.3%
総計	215	100%

図表 16-3-2 : 居住市町×日本語のレベル<書く>



図表 16-3-3 : 居住市町×日本語のレベル<書く>

	①漢字を使ってまとめた文章が書ける		②漢字を使って簡単な文章が書ける		③ひらがな・カタカナで文が書ける		④ほとんど書けない		⑤無回答		合計	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%		
佐賀市	14	23.3	18	30.0	15	25.0	10	16.7	3	5.0	60	佐賀市
唐津市	3	14.3	8	38.1	6	28.6	4	19.0	0		21	唐津市
鳥栖市	2	10.0	3	15.0	5	25.0	9	45.0	1	5.0	20	鳥栖市
多久市	2	28.6	2	28.6	2	28.6	1	14.3	0		7	多久市
伊万里市	2	6.1	7	21.2	18	54.5	6	18.2	0		33	伊万里市
武雄市	0		3	60.0	0		2	40.0	0		5	武雄市
鹿島市	2	40.0	1	20.0	1	20.0	1	20.0	0		5	鹿島市
小城市	3	37.5	2	25.0	2	25.0	1	12.5	0		8	小城市
嬉野市	0		2	66.7	1	33.3	0		0		3	嬉野市
神崎市	1	25.0	3	75.0	0		0		0		4	神崎市
吉野ヶ里町	0		0		0		1	100	0		1	吉野ヶ里町
基山町	0		1	33.3	1	33.3	1	33.3	0		3	基山町
みやき町	2	33.3	2	33.3	1	16.7	1	16.7	0		6	みやき町
有田町	0		1	11.1	4	44.4	4	44.4	0		9	有田町
大町町	0		1	33.3	1	33.3	0		1	33.3	3	大町町
江北町	0		0		14	100	0		0		14	江北町
白石町	0		1	25.0	3	75.0	0		0		4	白石町
太良町	0		0		1	12.5	7	87.5	0		8	太良町
玄海町	0		1	100	0		0		0		1	玄海町
県全体	47	21.9	56	26	75	34.9	27	12.6	5	2.3	215	県全体

4. 日本語教室に関すること

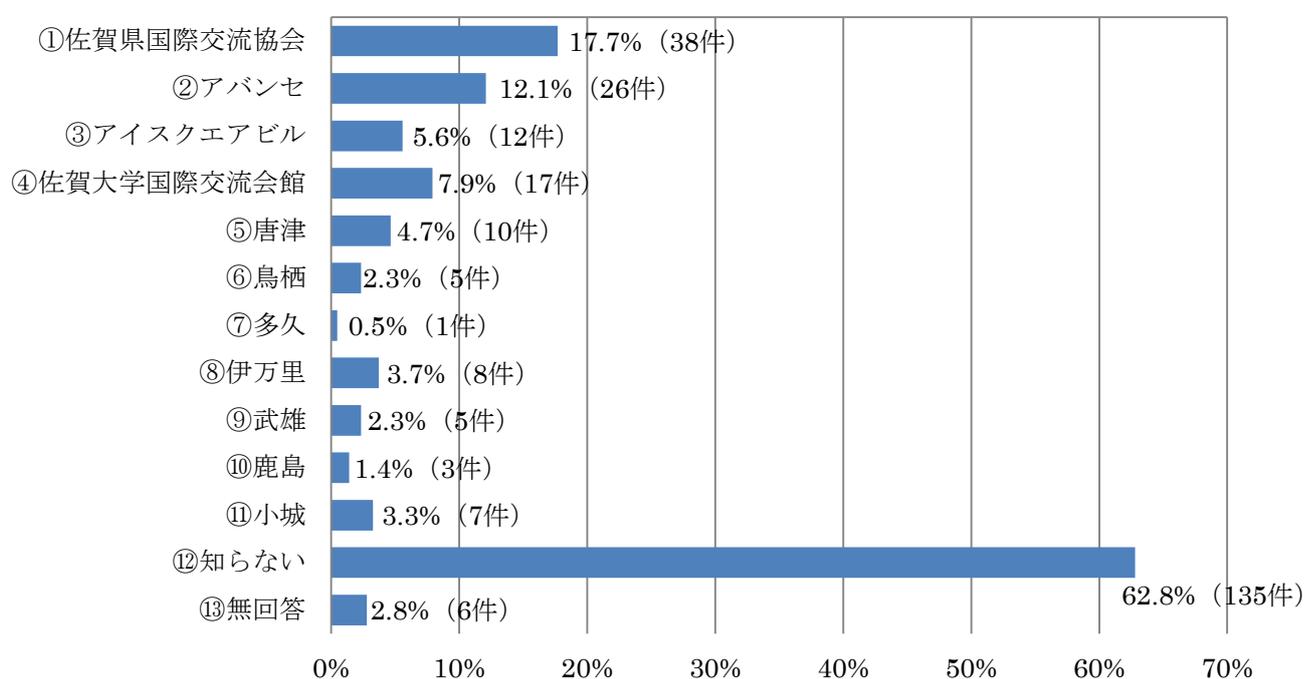
(1) 認知の有無

問 17：県内の日本語教室を知っていますか。(複数回答可)

県内の日本語教室については、「知らない」と答えた人が 135 件 (62.8%) で最も多かった。以下、「佐賀県国際交流協会」が 38 件 (17.7%)、「アバンセ」が 26 件 (12.1%)、「佐賀大学国際交流会館」が 17 件 (7.9%) と続く。(図 17)

図 17：県内の日本語教室

(総件数：273 件)

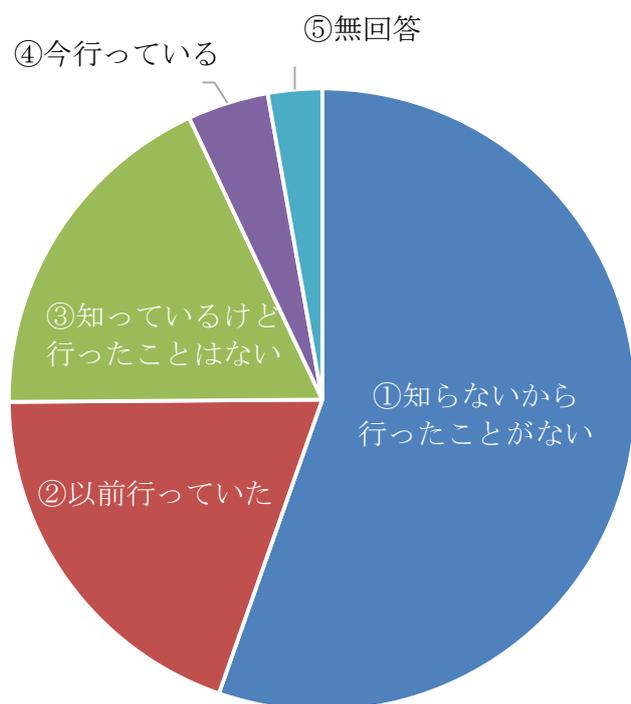


(2) 経験の有無

問 18：日本語教室に行っていますか。

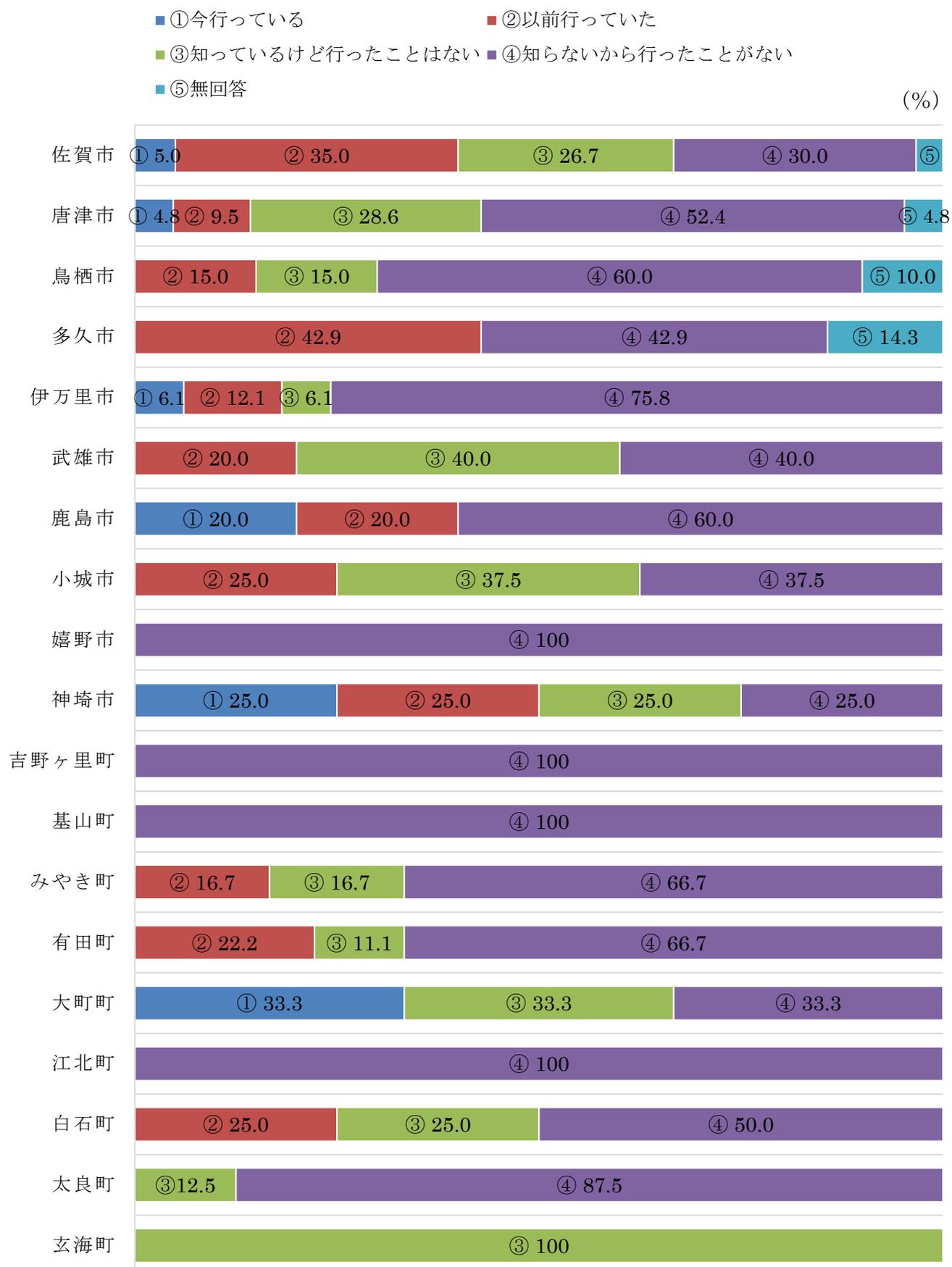
「知らないから行ったことがない」が 119 件（55.3%）と最も多かった。以下、「以前行っていた」が 42 件（19.5%）、「知っているけど行ったことはない」が 39 件（18.1%）と続く。（図表 18-1）

図表 18-1：日本語教室に行っている



区分	件数	割合
①知らないから行ったことがない	119	55.3%
②以前行っていた	42	19.5%
③知っているけど行ったことはない	39	18.1%
④今行っている	9	4.2%
⑤無回答	6	2.8%
総計	215	100%

図表 18-2：居住市町×日本語教室に行っている



図表 18-3：居住市町×日本語教室に行っている

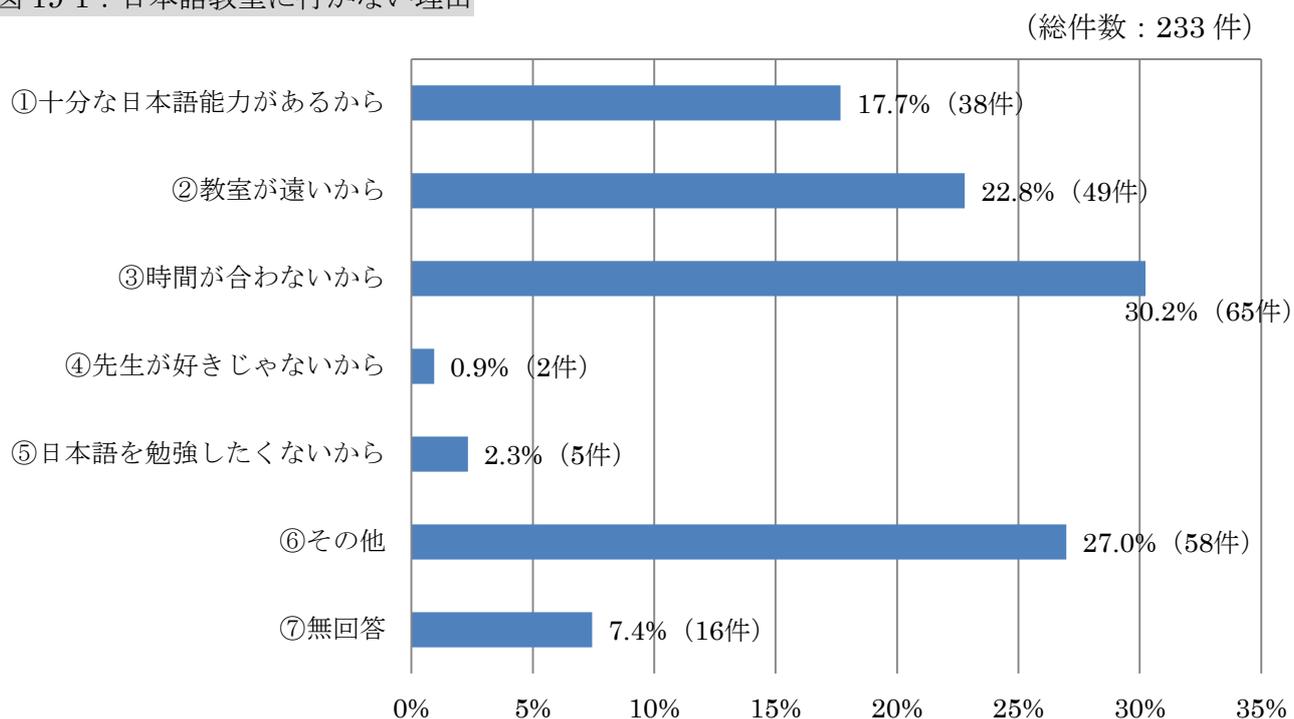
	①今行っている		②以前行っていた		③知っているけど行ったことはない		④知らないから行ったことがない		⑤無回答		合計	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%		
佐賀市	3	5.0	21	35.0	16	26.7	18	30.0	2	3.3	60	佐賀市
唐津市	1	4.8	2	9.5	6	28.6	11	52.4	1	4.8	21	唐津市
鳥栖市	0		3	15.0	3	15.0	12	60.0	2	10.0	20	鳥栖市
多久市	0		3	42.9	0		3	42.9	1	14.3	7	多久市
伊万里市	0		1	20.0	2	40.0	2	40.0	0		5	伊万里市
武雄市	0		1	20.0	2	40.0	2	40.0	0		5	武雄市
鹿島市	1	20.0	1	20.0	0		3	60.0	0		5	鹿島市
小城市	0		2	25.0	3	37.5	3	37.5	0		8	小城市
嬉野市	0		0		0		3	100	0		3	嬉野市
神埼市	1	25.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	0		4	神埼市
吉野ヶ里町	0		0		0		1	100	0		1	吉野ヶ里町
基山町	0		0		0		3	100	0		3	基山町
みやき町	0		1	16.7	1	16.7	4	66.7	0		6	みやき町
有田町	0		2	22.2	1	11.1	6	66.7	0		9	有田町
大町町	1	33.3	0		1	33.3	1	33.3	0		3	大町町
江北町	0		0		0		14	100	0		14	江北町
白石町	0		1	25.0	1	25.0	2	50.0	0		4	白石町
太良町	0		0		1	12.5	7	87.5	0		8	太良町
玄海町	0		0		1	100	0		0		1	玄海町
県全体	9	4.2	42	19.5	39	18.1	119	55.3	6	2.8	215	県全体

(3) 行かない理由

問 19：日本語教室に行かない理由は何ですか。(複数回答可)

日本語教室に行かない理由において、「時間が合わないから」が 65 件 (30.2%) で最も多かった。以下、「教室が遠いから」が 49 件 (22.8%)、「十分な日本語能力があるから」が 38 件 (17.7%) と続く。「その他」の中で、「知らない」「場所がわからない」という回答が多かった。(図 19-1)

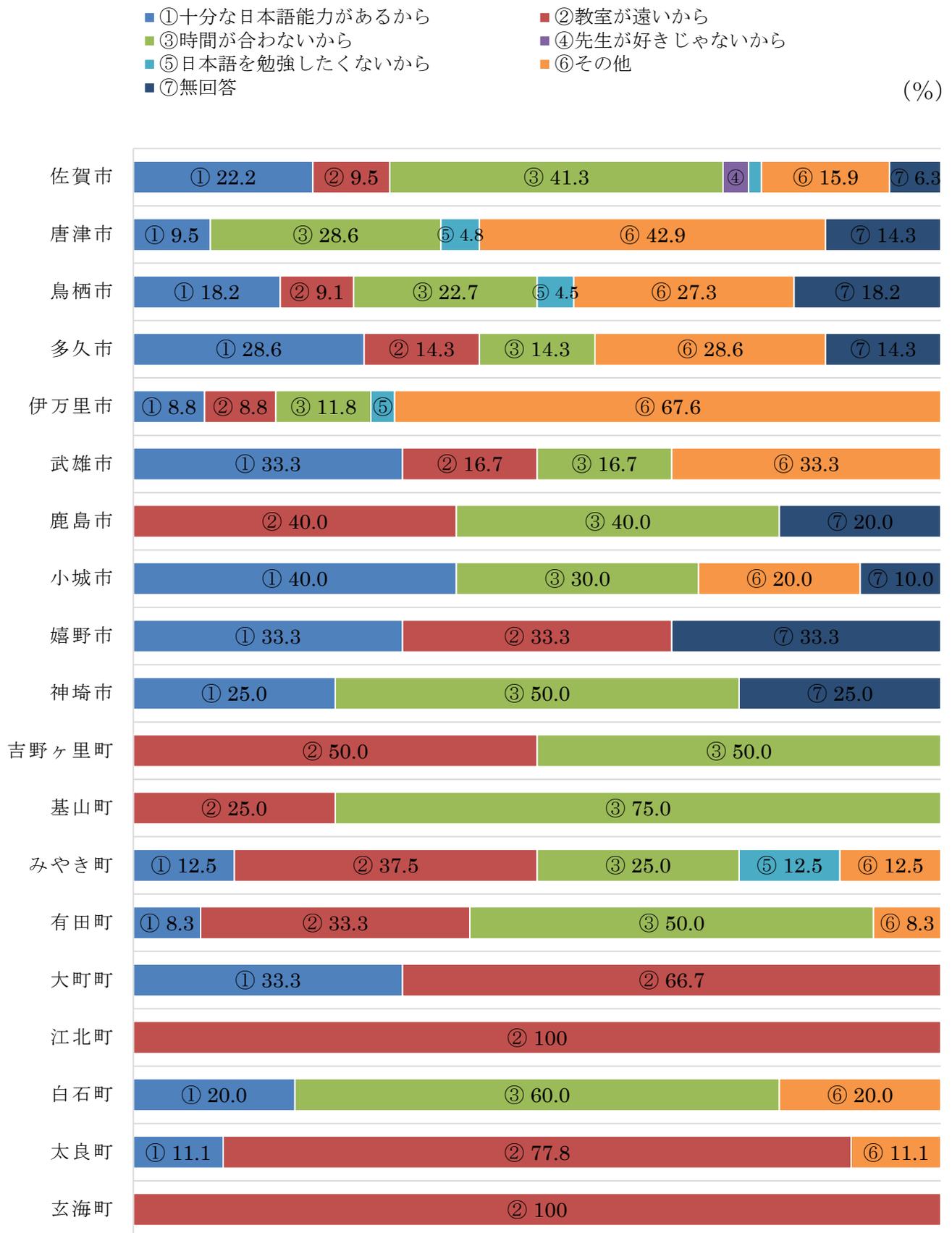
図 19-1：日本語教室に行かない理由



その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	中国	今学校で勉強しているから。
2	中国	知らなかったから。
3	中国	あまり必要ないから。
4	中国	2回教室に行って中国人と知り合えるかなと思いましたが、学生がいなかったなので、帰りました。
5	中国	にほんご教室がどこにあるかわからない。
6	中国	教室を知らないから。
7	中国	日本語教室があることがわからなかった。
8	中国	子どもがいるから。
9	中国	場所がわからない。
10	中国	生まれ育った国なので不自由しません。
11	フィリピン	お金がかかるから、教師が下手だから。
12	フィリピン	仕事が忙しい。
13	フィリピン	(日本語教室に行かないが) もっと日本語能力をあげたい。
14	フィリピン	どこにあるかわからない。
15	韓国	知らなかったから。
16	韓国	小さい子どもがいるから。
17	アメリカ	仕事が忙しい。
18	その他	場所がわからなかった。
19	その他	場所を知らない。
20	その他	クラスのレベルが簡単すぎる。
21	その他	1人で勉強するほうがいいです。
22	その他	必要がないから。
23	その他	知らないから。
24	その他	引っ越ししてきたばかりだから、まだよく分かりません。
25	その他	知らないから。
26	その他	日常の会話ができる。
27	その他	希望しない。
28	その他	妻が日本人だから、妻から学ぶ。仕事が忙しい。

図表 19-2：居住地域×日本語教室に行かない理由



図表 19-3：居住地域×日本語教室に行かない理由

	①十分な日本語能力があるから		②教室が遠いから		③時間が合わないから		④先生が好きじゃないから		⑤日本語を勉強したくないから		⑥その他		⑦無回答		合計 件	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%		
佐賀市	14	22.2	6	9.5	26	41.3	2	3.2	1	1.6	10	15.9	4	6.3	63	佐賀市
唐津市	2	9.5	0		6	28.6	0		1	4.8	9	42.9	3	14.3	21	唐津市
鳥栖市	4	18.2	2	9.1	5	22.7	0		1	4.5	6	27.3	4	18.2	22	鳥栖市
多久市	2	28.6	1	14.3	1	14.3	0		0		2	28.6	1	14.3	7	多久市
伊万里市	3	8.8	3	8.8	4	11.8	0		1	2.9	23	67.6	0		34	伊万里市
武雄市	2	33.3	1	16.7	1	16.7	0		0		2	33.3	0		6	武雄市
鹿島市	0		2	40.0	2	40.0	0		0		0		1	20.0	5	鹿島市
小城市	4	40.0	0		3	30.0	0		0		2	20.0	1	10.0	10	小城市
嬉野市	1	33.3	1	33.3	0		0		0		0		1	33.3	3	嬉野市
神埼市	1	25.0	0		2	50.0	0		0		0		1	25.0	4	神埼市
吉野ヶ里町	0		1	50.0	1	50.0	0		0		0		0		2	吉野ヶ里町
基山町	0		1	25.0	3	75.0	0		0		0		0		4	基山町
みやき町	1	12.5	3	37.5	2	25.0	0		1	12.5	1	12.5	0		8	みやき町
有田町	1	8.3	4	33.3	6	50.0	0		0		1	8.3	0		12	有田町
大町町	1	33.3	2	66.7	0		0		0		0		0		3	大町町
江北町	0		14	100	0		0		0		0		0		14	江北町
白石町	1	20.0	0		3	60.0	0		0		1	20.0	0		5	白石町
太良町	1	11.1	7	77.8	0		0		0		1	11.1	0		9	太良町
玄海町	0		1	100	0		0		0		0		0		1	玄海町
県全体	38	16.3	49	21.0	65	27.9	2	0.9	5	2.1	58	24.9	16	6.9	233	県全体

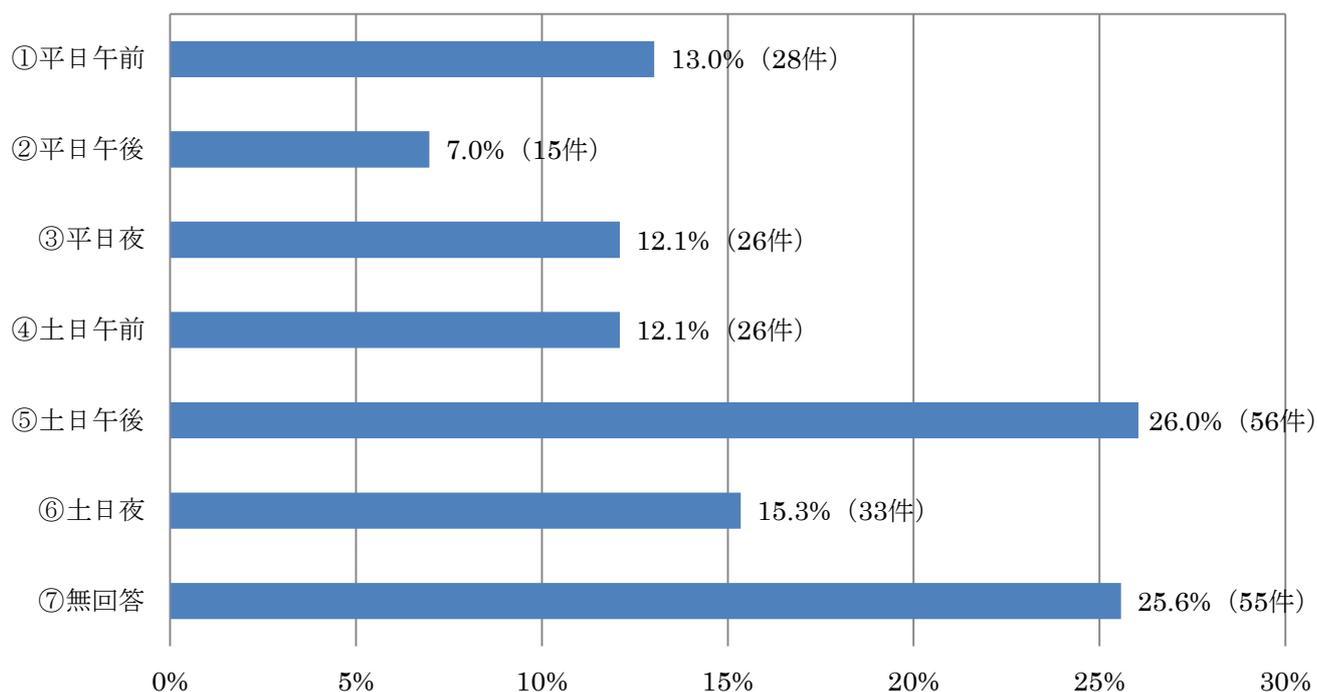
(4) 時間帯

問 20 : いつ日本語教室をしてほしいですか。(複数回答可)

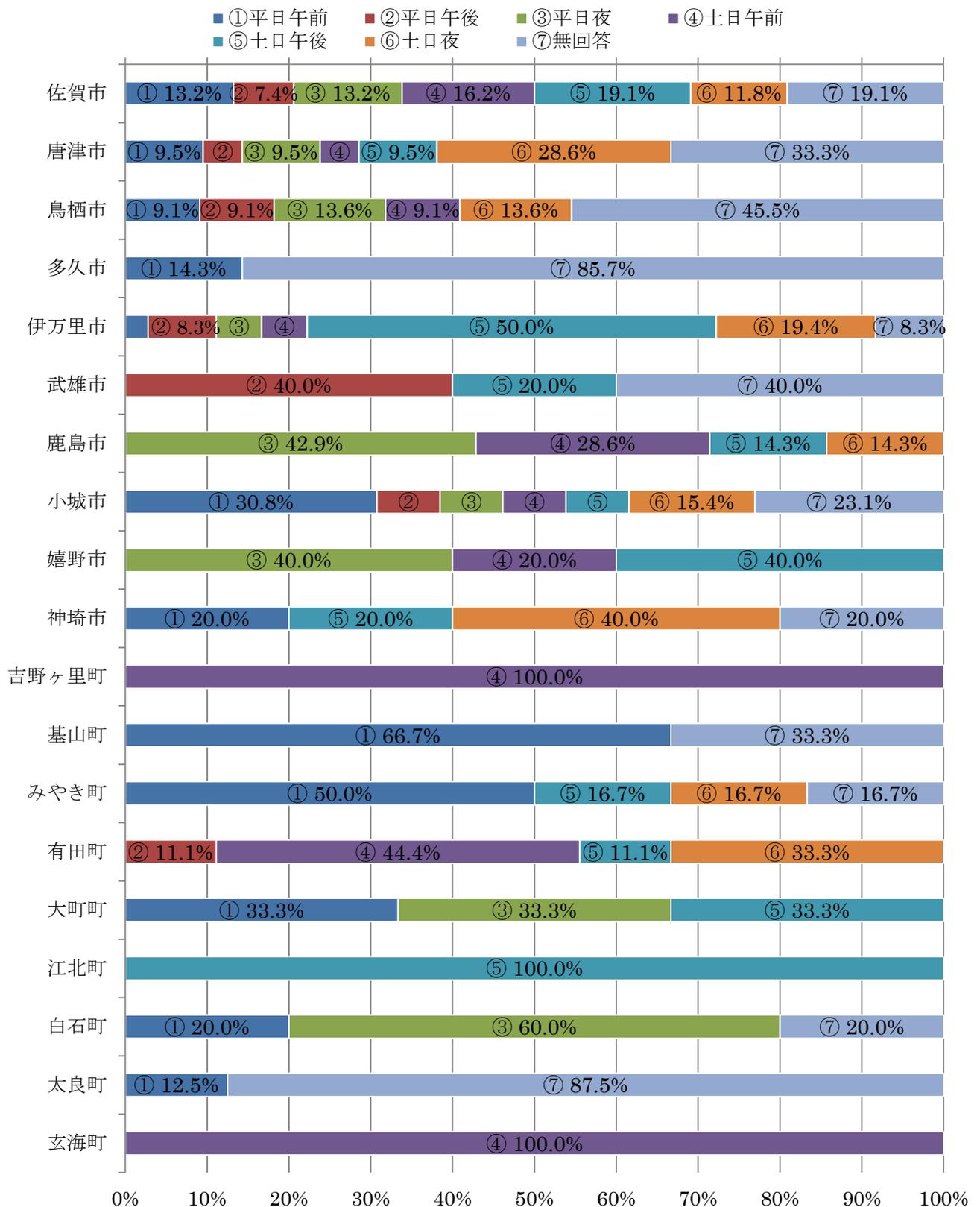
土日午後が 56 件 (26.0%) で最も多かった。以下、「無回答」が 55 件 (25.6%)、「土日夜」が 33 件 (15.3%)、「平日午前」が 28 件 (13.0%) と続く。(図 20-1)

図 20-1 : いつ日本語教室をしてほしいか

(総件数:239 件)



図表 20-2：居住市町×いつ日本語教室をしてほしいか



図表 20-3：居住市町×いつ日本語教室をしてほしいか

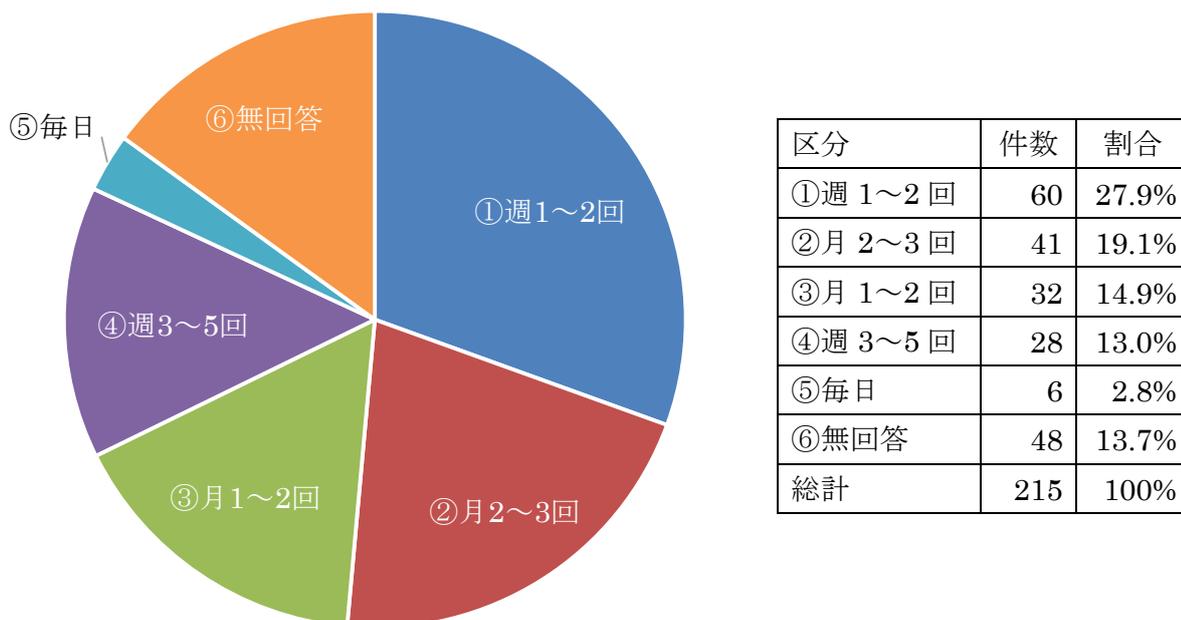
	①平日午前		②平日午後		③平日夜		④土日午前		⑤土日午後		⑥土日夜		⑦無回答		合計 件	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%		
佐賀市	9	13.2	5	7.4	9	13.2	11	16.2	13	19.1	8	11.8	13	19.1	68	佐賀市
唐津市	2	9.5	1	4.8	2	9.5	1	4.8	2	9.5	6	28.6	7	33.3	21	唐津市
鳥栖市	2	9.1	2	9.1	3	13.6	2	9.1	0		3	13.6	10	45.5	22	鳥栖市
多久市	1	14.3	0		0		0		0		0		6	85.7	7	多久市
伊万里市	1	2.8	3	8.3	2	5.6	2	5.6	18	50.0	7	19.4	3	8.3	36	伊万里市
武雄市	0		2	40.0	0		0		1	20.0	0		2	40.0	5	武雄市
鹿島市	0		0		3	42.9	2	28.6	1	14.3	1	14.3	0		7	鹿島市
小城市	4	30.8	1	7.7	1	7.7	1	7.7	1	7.7	2	15.4	3	23.1	13	小城市
嬉野市	0		0		2	40.0	1	20.0	2	40.0	0		0		5	嬉野市
神埼市	1	20.0	0		0		0		1	20.0	2	40.0	1	20.0	5	神埼市
吉野ヶ里町	0		0		0		1	100	0		0		0		1	吉野ヶ里町
基山町	2	66.7	0		0		0		0		0		1	33.3	3	基山町
みやき町	3	50.0	0		0		0		1	16.7	1	16.7	1	16.7	6	みやき町
有田町	0		1	11.1	0		4	44.4	1	11.1	3	33.3	0		9	有田町
大町町	1	33.3	0		1	33.3	0		1	33.3	0		0		3	大町町
江北町	0		0		0		0		14	100	0		0		14	江北町
白石町	1	20.0	0		3	60.0	0		0		0		1	20.0	5	白石町
太良町	1	12.5	0		0		0		0		0		7	87.5	8	太良町
玄海町	0		0		0		1	100	0		0		0		1	玄海町
県全体	28	11.7	15	6.3	26	10.9	26	10.9	56	23.4	33	13.8	55	23.0	239	県全体

(5) 回数

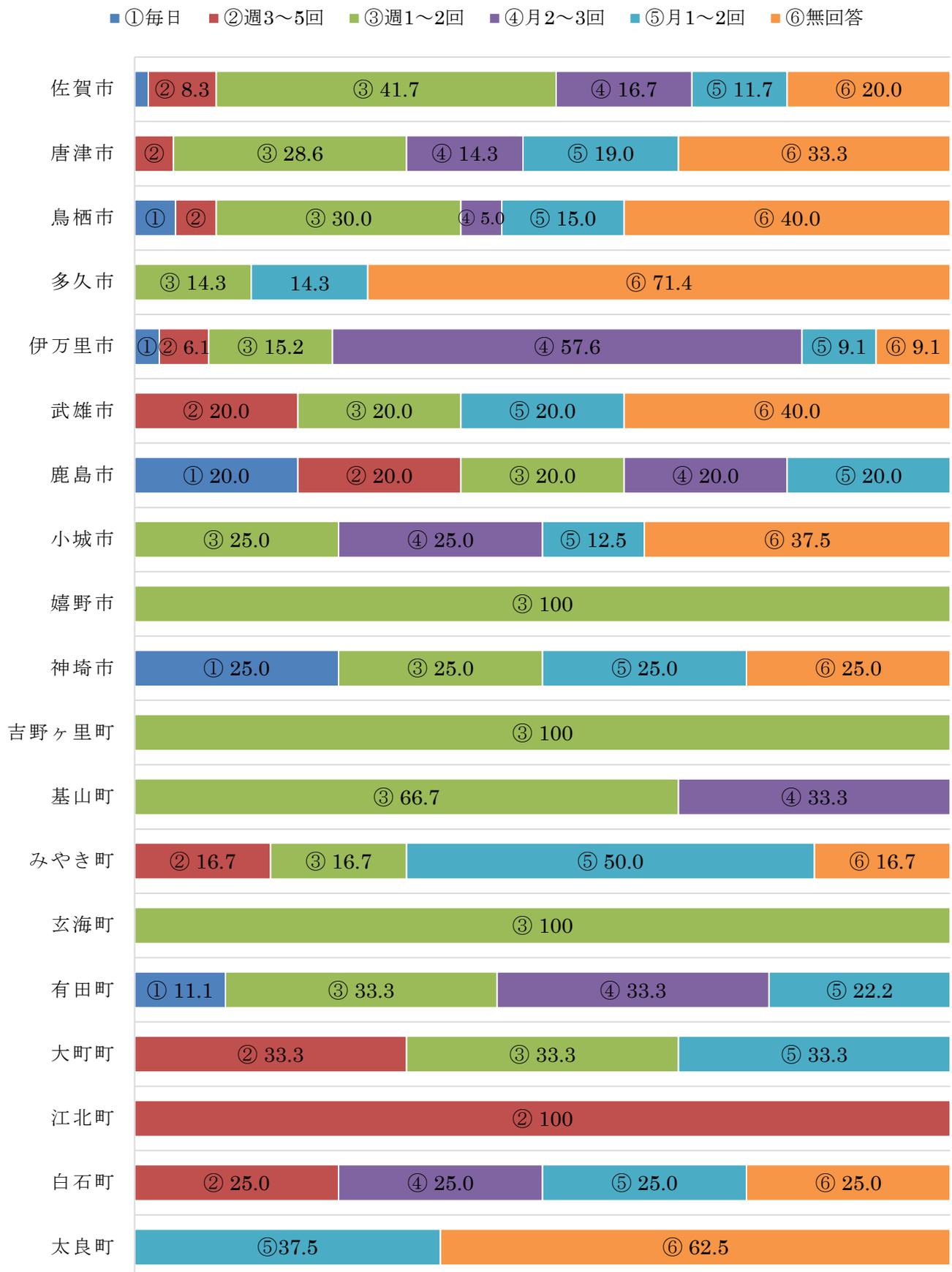
問 21：週に又は月に何回どのくらい教室に通いたいですか。

「週 1～2 回」が 60 件（27.9%）と最も多く、「月 2～3 回」41 件（19.1%）、
「月 1～2 回」32 件（14.9%）と続く。（図表 21-1）

図表 21-1：日本語教室（回数）



図表 21-2：居住市町×日本語教室（回数）



図表 21-3：居住市町×日本語教室（回数）

	①毎日		②週3～5回		③週1～2回		④月2～3回		⑤月1～2回		⑥無回答		合計	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%		
佐賀市	1	1.7	5	8.3	25	41.7	10	16.7	7	11.7	12	20.0	60	佐賀市
唐津市	0		1	4.8	6	28.6	3	14.3	4	19.0	7	33.3	21	唐津市
鳥栖市	1	5.0	1	5.0	6	30.0	1	5.0	3	15.0	8	40.0	20	鳥栖市
多久市	0		0		1	14.3	0		1	14.3	5	71.4	7	多久市
伊万里市	1	3.0	2	6.1	5	15.2	19	57.6	3	9.1	3	9.1	5	伊万里市
武雄市	0		1	20.0	1	20.0	0		1	20.0	2	40.0	5	武雄市
鹿島市	1	20.0	1	20.0	1	20.0	1	20.0	1	20.0	0		5	鹿島市
小城市	0		0		2	25.0	2	25.0	1	12.5	3	37.5	8	小城市
嬉野市	0		0		3	100	0		0		0		3	嬉野市
神埼市	1	25.0	0		1	25.0	0		1	25.0	1	25.0	4	神埼市
吉野ヶ里町	0		0		1	100	0		0		0		1	吉野ヶ里町
基山町	0		0		2	66.7	1	33.3	0		0		3	基山町
みやき町	0		1	16.7	1	16.7	0		3	50.0	1	16.7	6	みやき町
有田町	0		0		1	100	0		0		0		9	有田町
大町町	1	11.1	0		3	33.3	3	33.3	2	22.2	0		3	大町町
江北町	0		1	33.3	1	33.3	0		1	33.3	0		14	江北町
白石町	0		14	100	0		0		0		0		4	白石町
太良町	0		1	25.0	0		1	25.0	1	25.0	1	25.0	8	太良町
玄海町	0		0		0		0		3	37.5	5	62.5	1	玄海町
県全体	6	2.8	28	13.0	60	27.9	41	19.1	32	14.9	48	22.3	215	県全体

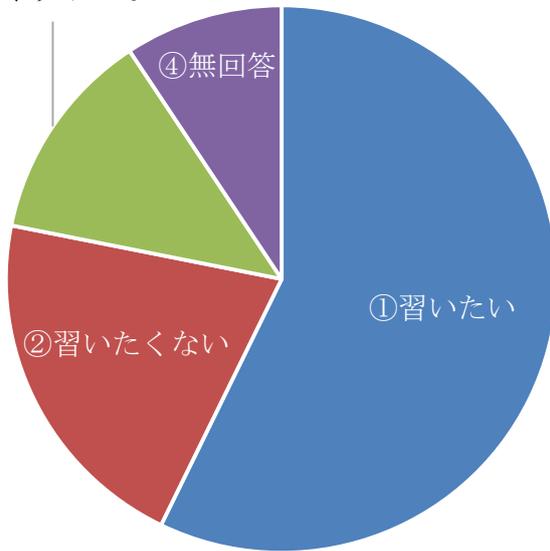
(6) パソコンでの学習

問 22 : パソコンでのビデオ通話 (Skype 等) で日本語を習いたいですか。

「習いたい」が 123 件 (57.2%)、「習いたくない」が 45 件 (20.9%)、「習いたいけどパソコンまたはインターネットがない」が 27 件 (12.6%) だった。(図表 22)

図表 22 : パソコンでの日本語学習

③習いたいけどパソコンまたはインターネットがない



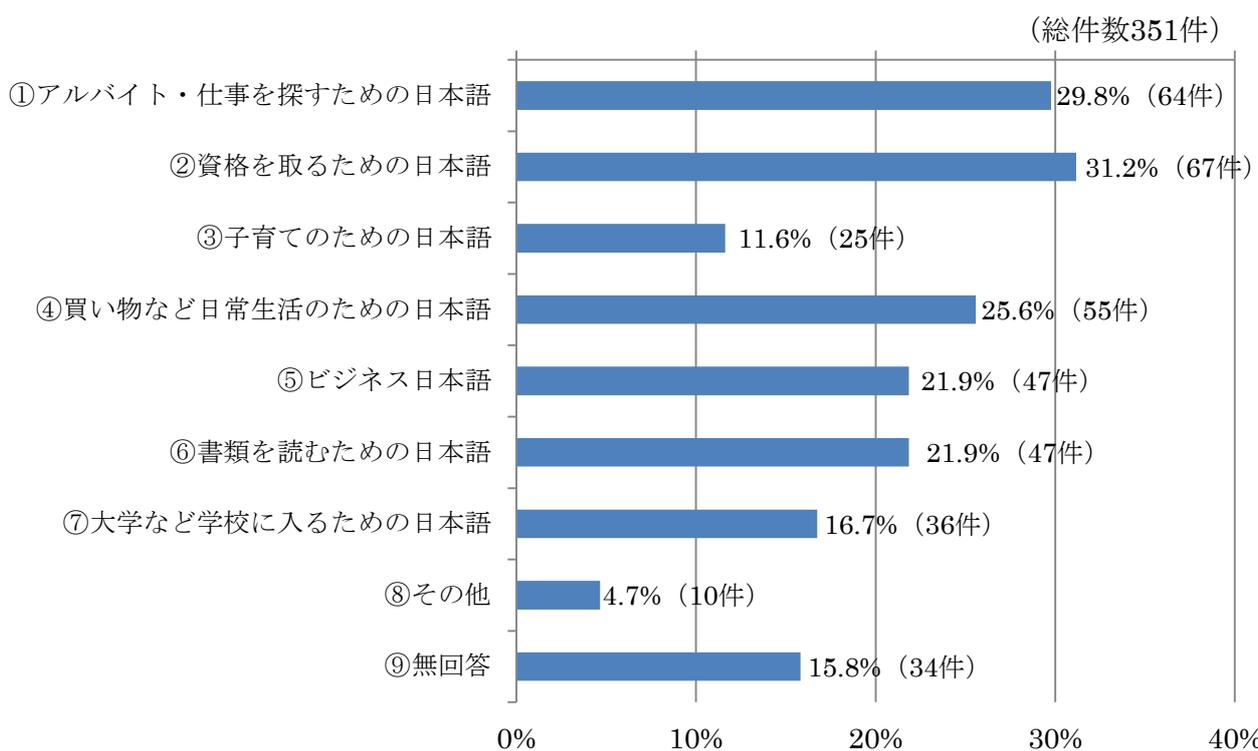
区分	件数	割合
①習いたい	123	57.2%
②習いたくない	45	20.9%
③習いたいけどパソコンまたはインターネットがない	27	12.6%
④無回答	20	9.3%
総計	215	100%

(7) 学習内容

問 23： どういう日本語を習いたいですか。(複数回答可)

「資格を取るための日本語」が 67 件 (31.2%) と最も多く、「アルバイト・仕事を探すための日本語」64 件 (29.8%)、「買い物など日常生活のための日本語」55 件 (25.6%) と続く。(図 23)

図 23：日本語学習内容



その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	アメリカ	敬語
2	中国	日本語教員になるための日本語。

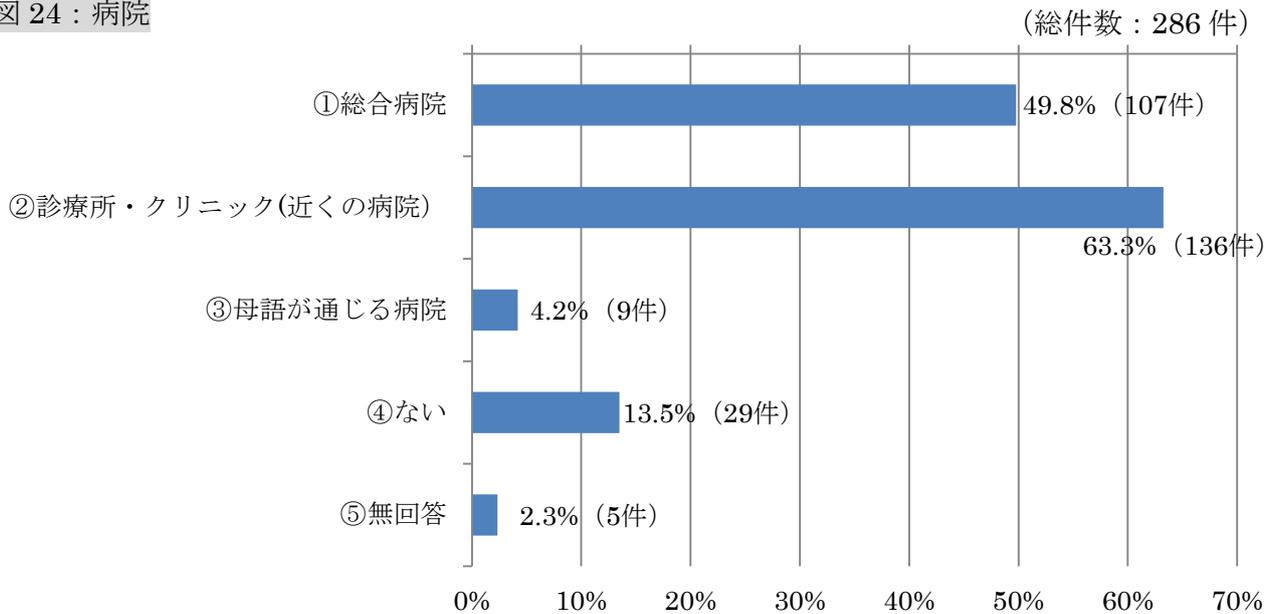
5. 医療に関すること

(1) 日本の病院

問 24：日本で病院に行ったことがありますか。(複数回答可)

「診療所・クリニック(近くの病院)」が 136 件(63.3%)と最も多く、「総合病院」107 件(49.8%)、「母語が通じる病院」9 件(4.2%)と続く。(図 24)

図 24：病院

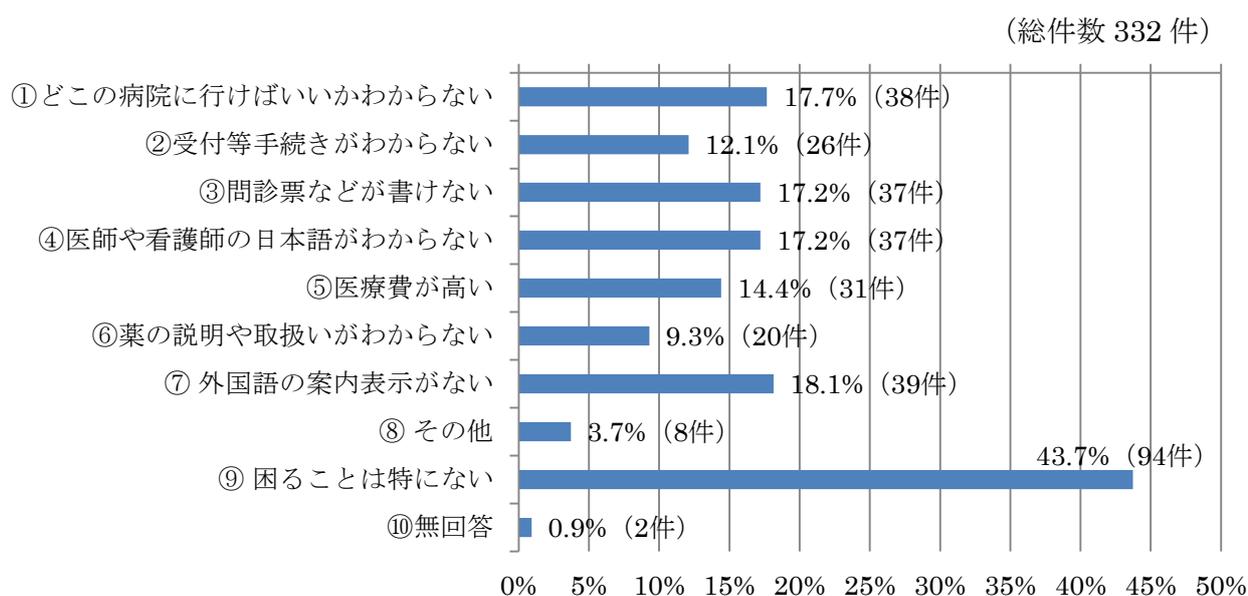


(2) 病院で困ったこと

問 25：病院で困ったことはありますか。(複数回答可)

「外国語の案内表示がない」39件(18.1%)、「どこの病院に行けばいいかわからない」38件(17.7%)、「問診票などが書けない」37件(17.2%)、「医師や看護師の日本語がわからない」37件(17.2%)となった。「困ることは特にない」94件(43.7%)だった。(図 25-1)

図 25-1：病院で困ったこと

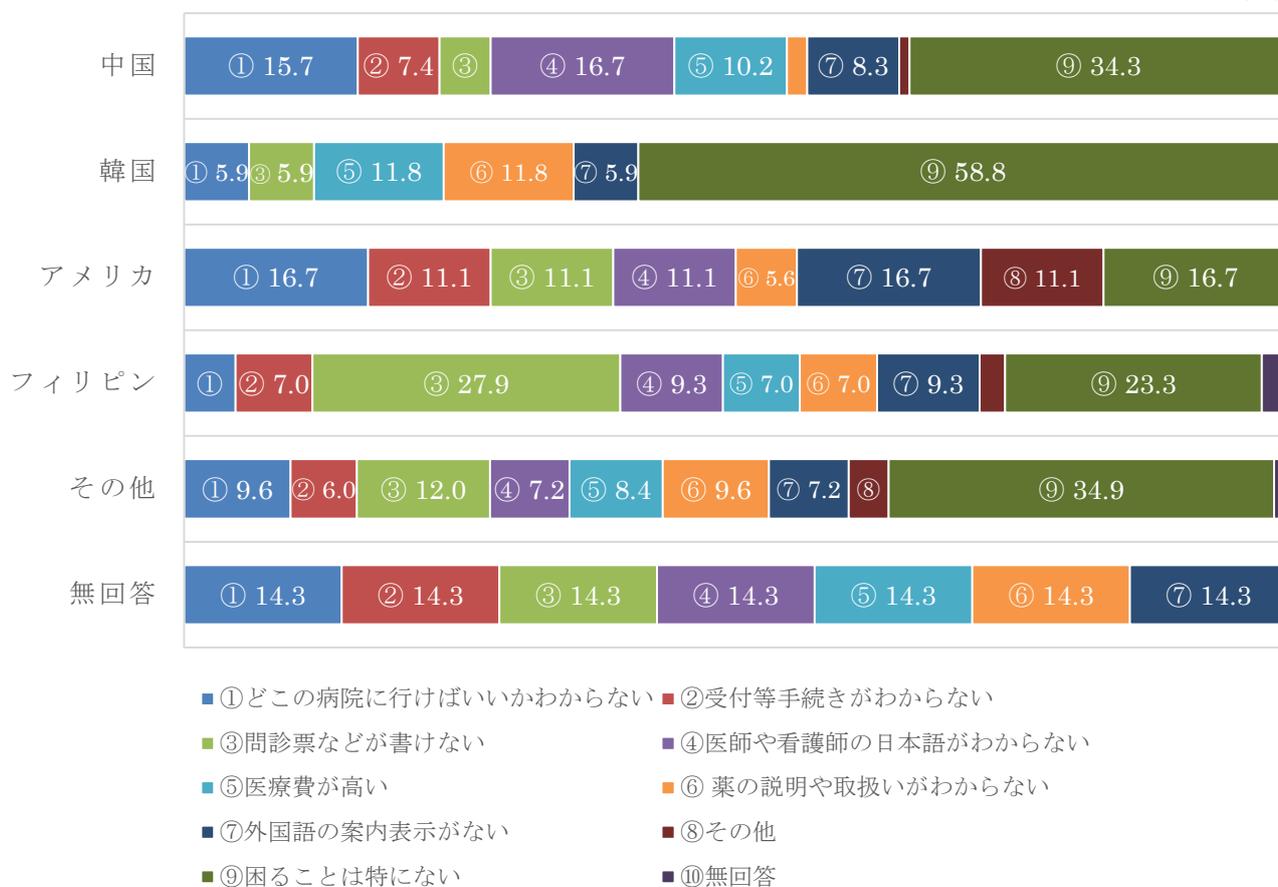


その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	アメリカ	土日救急に行ったとき、医師が処置できなかった。
2	アメリカ	自分が外国人なので医師や看護師が困っている様子でした。でも日本語でのコミュニケーションは問題なかったです。
3	フィリピン	難しい言葉の意味がわからない。
4	フィリピン	ひとりで病院に行ったことはありません。いつも夫か義理の両親と一緒にいきます。
5	その他	日本語ができなかったから病院に断られたことがある。
6	その他	外国人だからどうでもいい対応をされる。
7	その他	緊急時の連絡方法、支払についてもっと詳しく知りたい。

図表 25-2：国籍×病院で困ったこと

(%)



区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	計
中国	17件	8件	5件	18件	11件	2件	9件	1件	37件	0件	108件
韓国	1件	0件	1件	0件	2件	2件	1件	0件	10件	0件	17件
アメリカ	3件	2件	2件	2件	0件	1件	3件	2件	3件	0件	18件
フィリピン	2件	3件	12件	4件	3件	3件	4件	1件	10件	1件	43件
その他	8件	5件	10件	6件	7件	8件	6件	3件	29件	1件	83件
無回答	1件	0件	0件	0件	7件						
計	38件	26件	37件	37件	31件	20件	39件	8件	94件	2件	332件

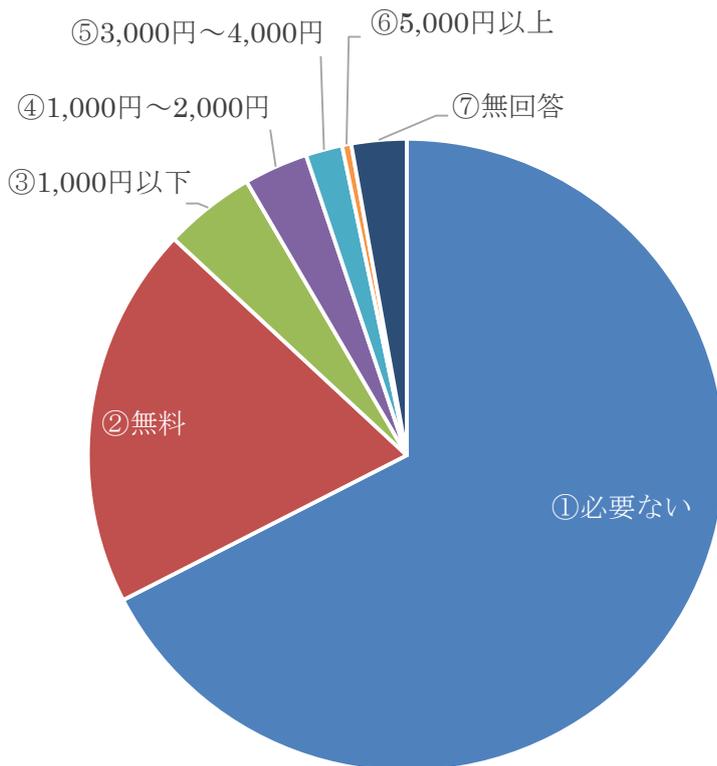
※件数が最も多い区分に色づけ。

(3) 医療通訳

問 26：医療通訳は必要ですか。 1回いくらまでなら通訳をお願いしたいですか。

「無料」が42件（19.5%）と最も多く、「1,000円以下」10件（4.7%）、「1,000円～2,000円」7件（3.3%）と続く。「必要ない」が145件（67.4%）だった。（図表 26-1）

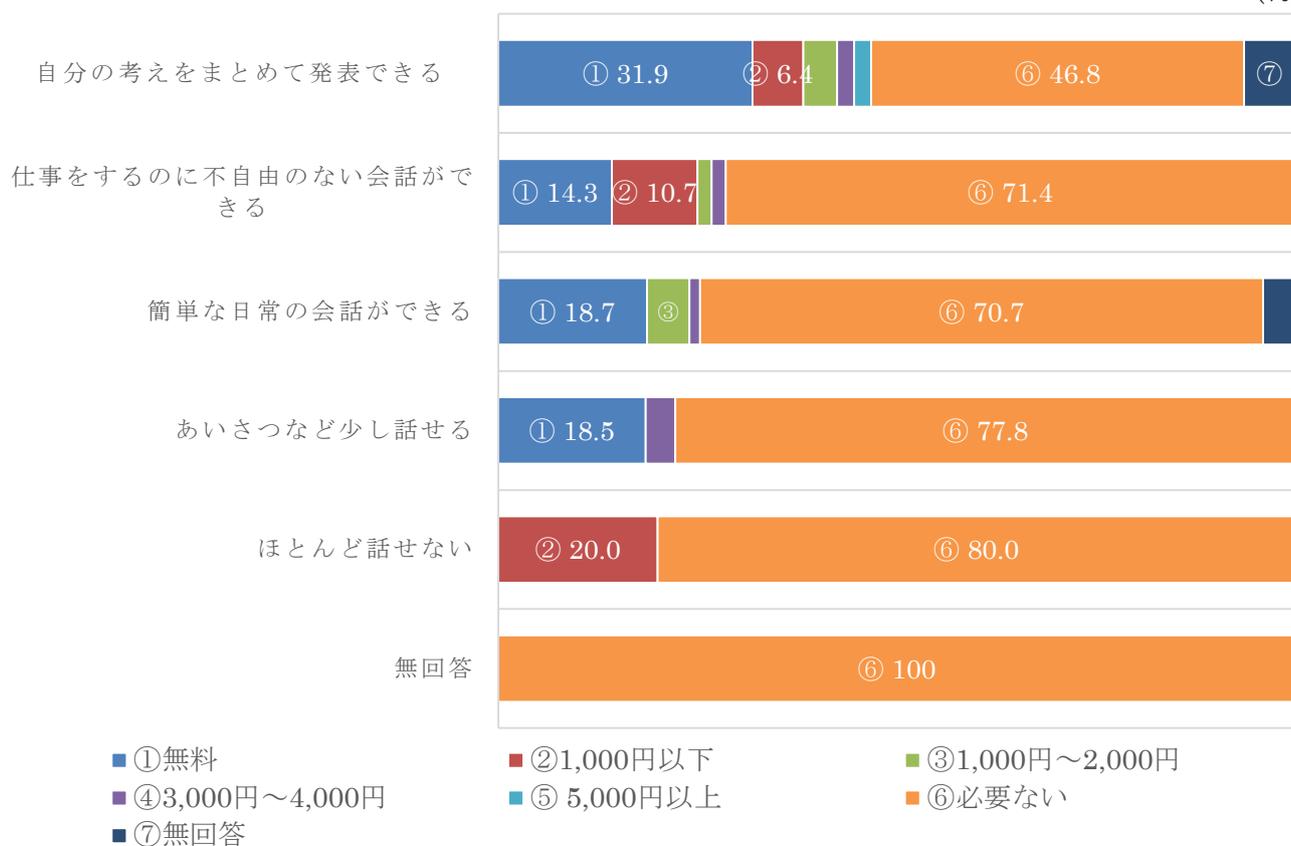
図表 26-1：医療通訳



区分	件数	割合
①必要ない	145	67.4%
②無料	42	19.5%
③1,000円以下	10	4.7%
④1,000円～2,000円	7	3.3%
⑤3,000円～4,000円	4	1.9%
⑥5,000円以上	1	0.5%
⑦無回答	6	2.8%
総計	215	100%

図表 26-2：日本語能力×医療通訳

(%)



区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計
自分の考えをまとめて発表できる	15件	3件	2件	1件	1件	22件	3件	47件
仕事をするのに不自由のない会話ができる	8件	6件	1件	1件	0件	40件	0件	56件
簡単な日常の会話ができる	14件	0件	4件	1件	0件	53件	3件	75件
あいさつなど少し話せる	5件	0件	0件	1件	0件	21件	0件	27件
ほとんど話せない	0件	1件	0件	0件	0件	4件	0件	5件
無回答	0件	0件	0件	0件	0件	5件	0件	5件
計	42件	10件	7件	4件	1件	145件	6件	215件

※件数が最も多い区分に色づけ。

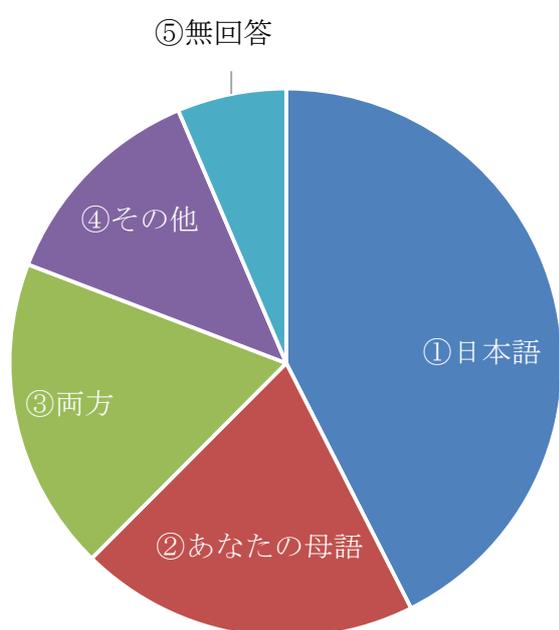
6. 子育て・教育に関すること

(1) 子どもの言語

問 27：子どもが主に話す言語は？（複数回答可）

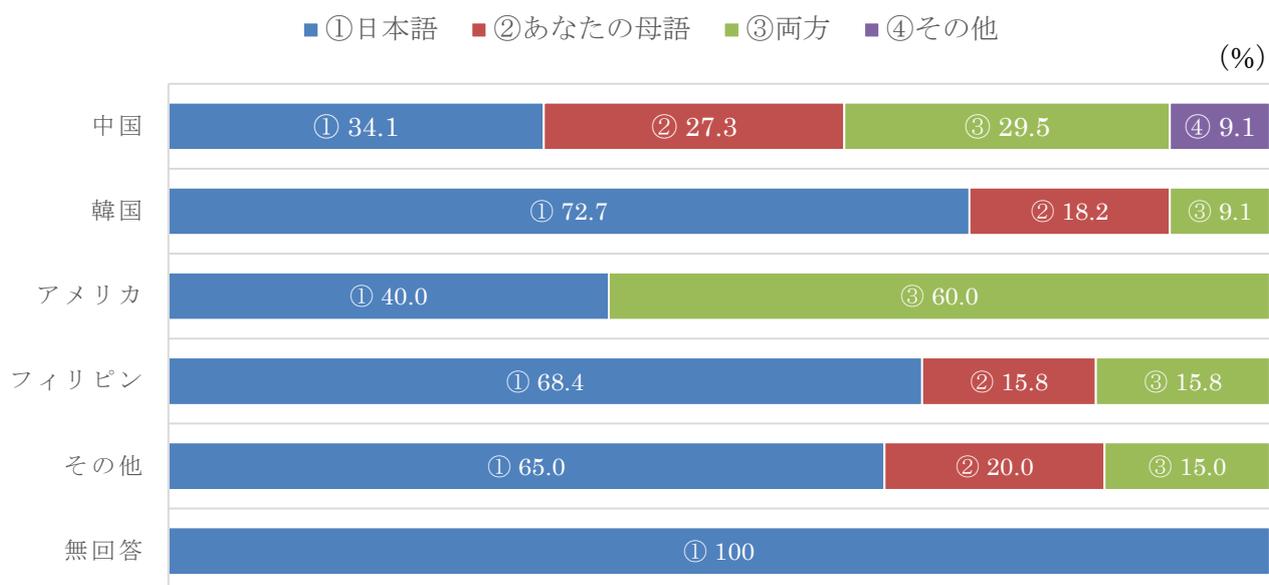
「日本語」が 60 件（42.6%）で最も多かった。以下、「母語」が 28 件（19.9%）、「両方（母語と日本語）」が 26 件（18.4%）、と続く。（図表 27-1）

図表 27-1：子どもの言語



言語	子供の人数	割合
①日本語	60	42.6%
②あなたの母語	28	19.9%
③両方	26	18.4%
④その他	18	12.8%
⑤無回答	9	6.4%
総計	141	100%

図表 27-2 : 親の国籍×子どもの言語



区分	①日本語	②あなたの母語	③両方	④その他	計
中国	15 件	12 件	13 件	4 件	44 件
韓国	8 件	2 件	1 件	0 件	11 件
アメリカ	2 件	0 件	3 件	0 件	5 件
フィリピン	13 件	3 件	3 件	0 件	19 件
その他	13 件	4 件	3 件	0 件	20 件
無回答	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件
総計	52 件	21 件	23 件	4 件	100 件

※件数が最も多い区分に色づけ。

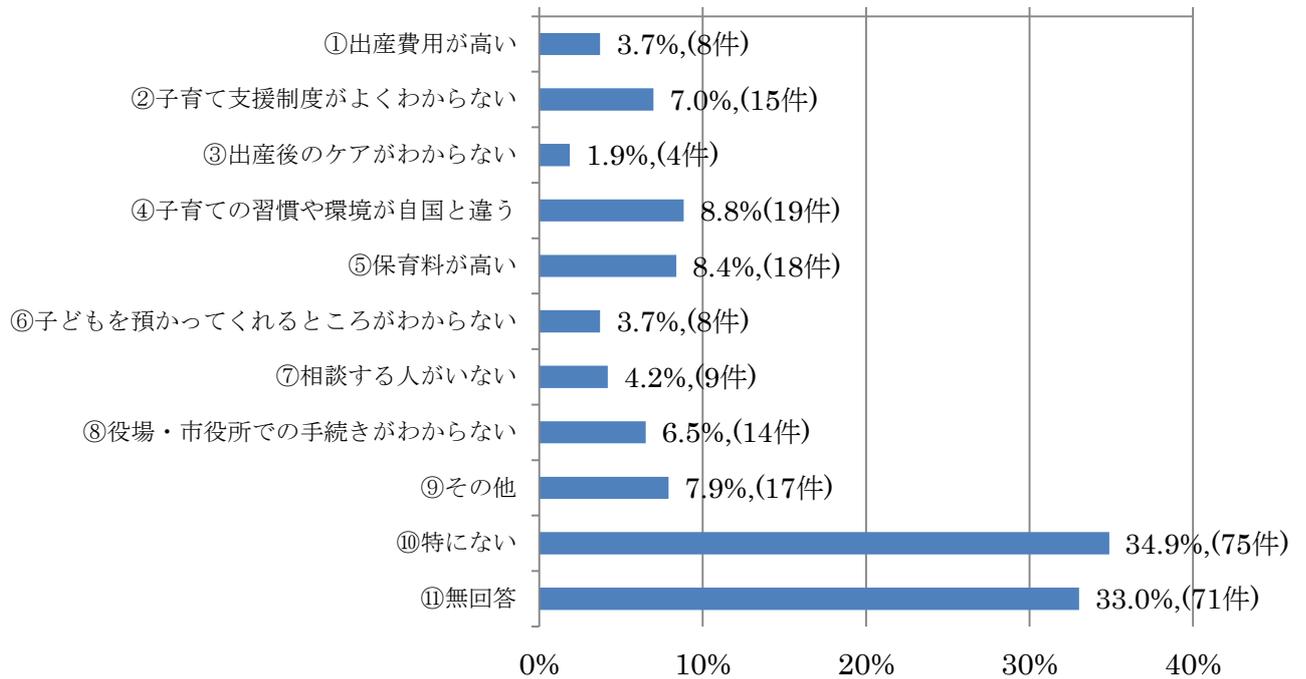
(2) 出産・子育てで困っていること

問 28：出産や子育てで困っていることや悩んでいることはありますか。(複数回答可)

「子育ての習慣や環境が自国と違う」が 19 件 (8.8%) と最も多く、「保育料が高い」18 件 (8.4%)、「子育て支援制度がよくわからない」15 件 (7.0%)、「役場・市役所での手続きがわからない」14 件 (6.5%) と続く。「特にない」は 75 件 (34.9%) だった。(図 28-1)

図 28-1：出産・子育てで困っていること

(総件数：258 件)

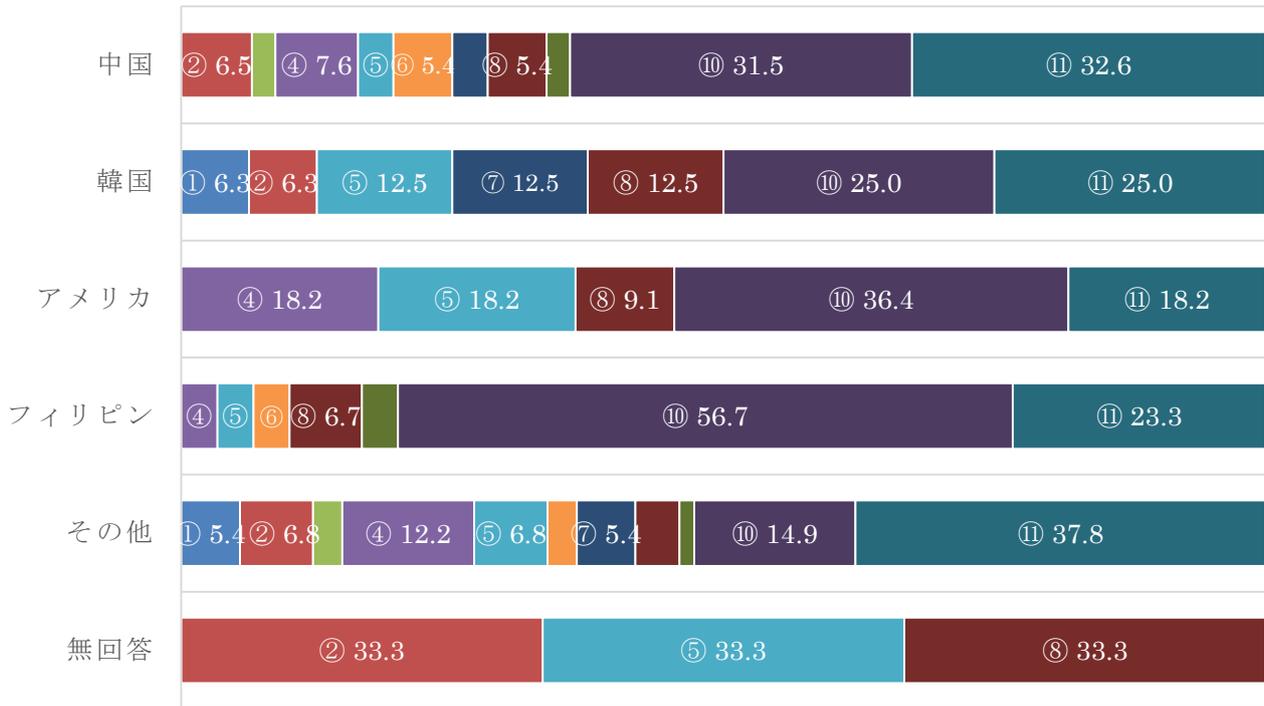


その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	中国	子どもがもう 1 人欲しいが、今の子どもが賛成してくれない。

図表 28-2：国籍×出産・子育てで困っていること

- ①出産費用が高い
 - ②子育て支援制度がよくわからない
 - ③出産後のケアがわからない
 - ④子育ての習慣や環境が自国と違う
 - ⑤保育料が高い
 - ⑥子供を預かってくれるところがわからない
 - ⑦相談する人がいない
 - ⑧役場・市役所での手続きがわからない
 - ⑨その他
 - ⑩特にな
 - ⑪無回答
- (%)



区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	計
中国	0件	6件	2件	7件	3件	5件	3件	5件	2件	29件	30件	92件
韓国	1件	1件	0件	0件	2件	0件	2件	2件	0件	4件	4件	16件
アメリカ	0件	0件	0件	2件	2件	0件	0件	1件	0件	4件	2件	11件
フィリピン	0件	0件	0件	1件	1件	1件	0件	2件	1件	17件	7件	30件
その他	4件	5件	2件	9件	5件	2件	4件	3件	1件	11件	28件	74件
無回答	0件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	3件
計	5件	13件	4件	19件	14件	8件	9件	14件	4件	65件	71件	226件

※件数が最も多い区分に色づけ。

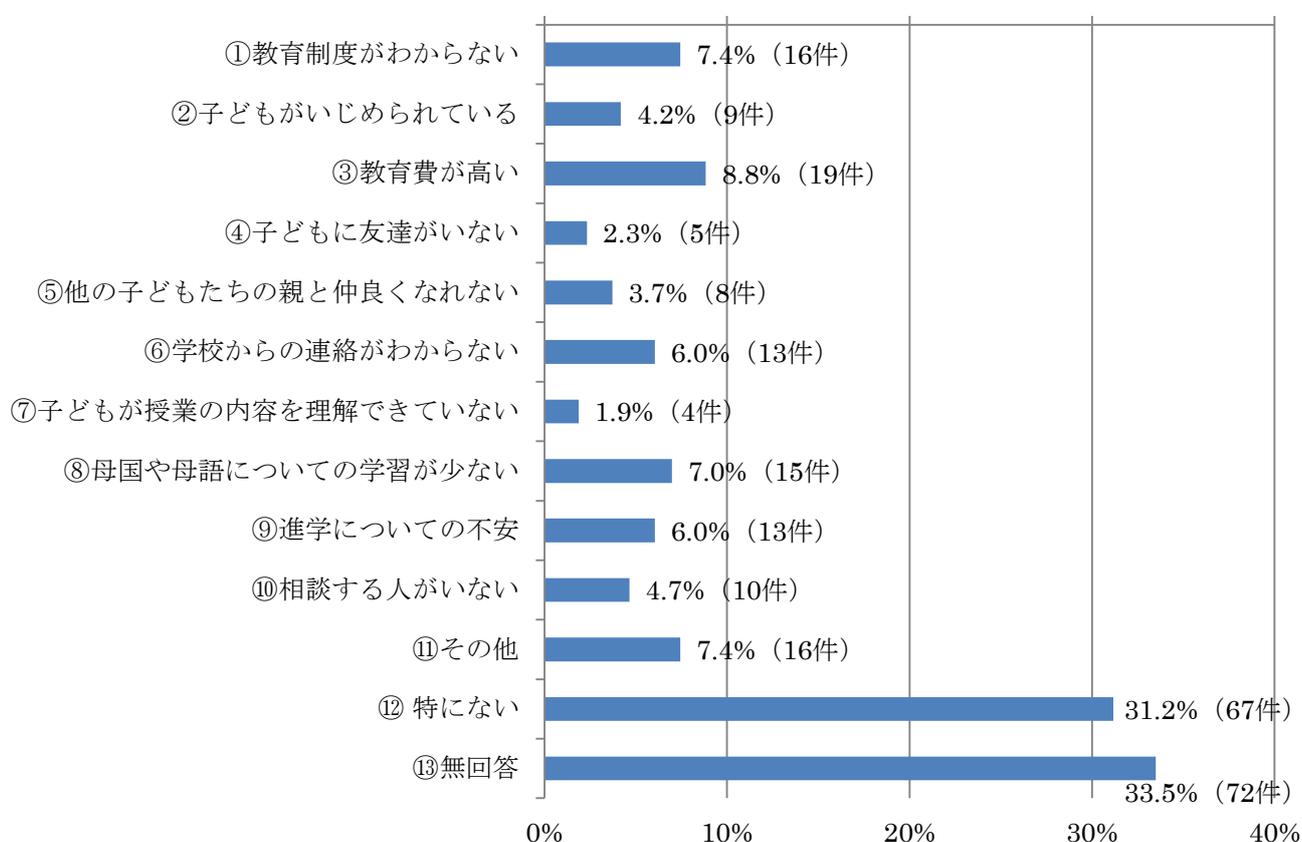
(3) 子どもの教育で困っていること

問 29：子どもの教育で困っていることや悩んでいることはありますか。(複数回答可)

「教育費が高い」が 19 件 (8.8%) と最も多く、「教育制度がわからない」16 件 (7.4%)、「母国や母語についての学習が少ない」15 件 (7.0%)、「学校からの連絡がわからない」13 件 (6.0%)、「進学についての不安」13 件 (6.0%) と続く。「特にない」が 67 件 (31.2%) だった。(図 29)

図 29：子どもの教育で困っていること

(総件数：267 件)



7. 災害・防災・救急に関すること

(1) 緊急時の電話番号<警察・消防・救急>

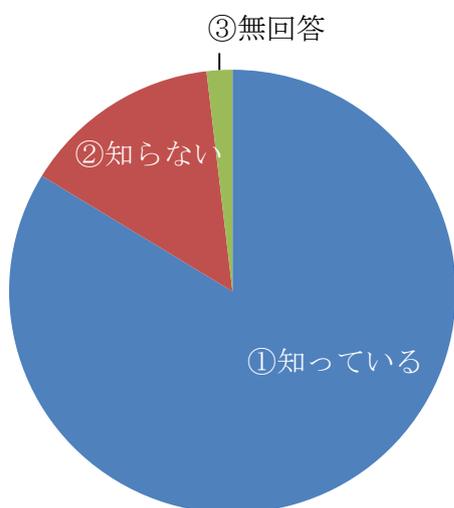
問 30：緊急時の電話番号を知っていますか。(警察・消防・救急)

警察では、「知っている」が 180 件（83.7%）で 8 割を超えていた。「知らない」が 31 件（14.4%）だった。（図表 30-1）

消防では、「知っている」が 156 件（72.6%）で 7 割を超えていた。「知らない」が 45 件（20.9%）だった。（図表 30-2）

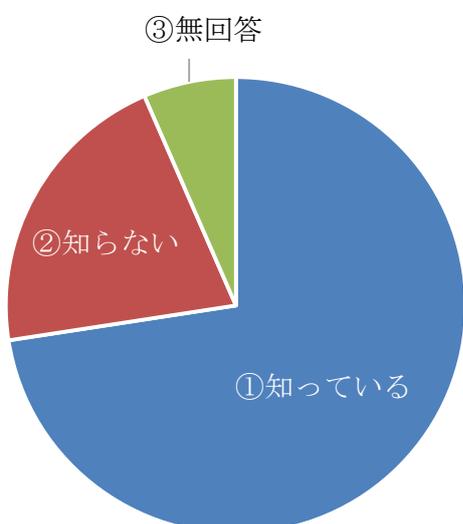
救急では、「知っている」が 160 件（74.4%）で 7 割を超えていた。「知らない」が 40 件（18.6%）だった。（図表 30-3）

図表 30-1：警察



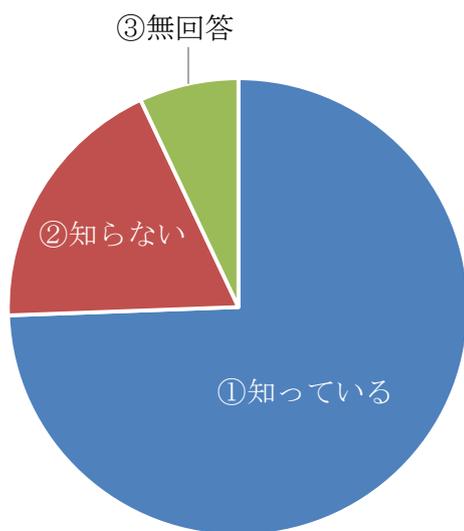
区分	件数	割合
①知っている	180	83.7%
②知らない	31	14.4%
③無回答	4	1.9%
総計	215	100%

図表 30-2：消防



区分	件数	割合
①知っている	156	72.6%
②知らない	45	20.9%
③無回答	14	6.5%
総計	215	100%

図表 30-3 : 救急



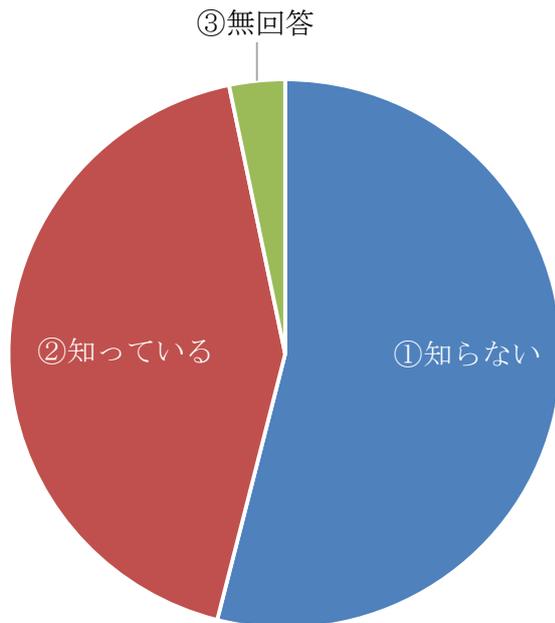
区分	件数	割合
①知っている	160	74.4%
②知らない	40	18.6%
③無回答	15	7.0%
総計	215	100%

(2) 災害時の避難場所

問 31：災害のときの避難場所がどこにあるか知っていますか。

「知らない」が 116 件（54.0%）で「知っている」が 92 件（42.8%）よりも多く、半数を超えている。（図表 31）

図表 31：災害



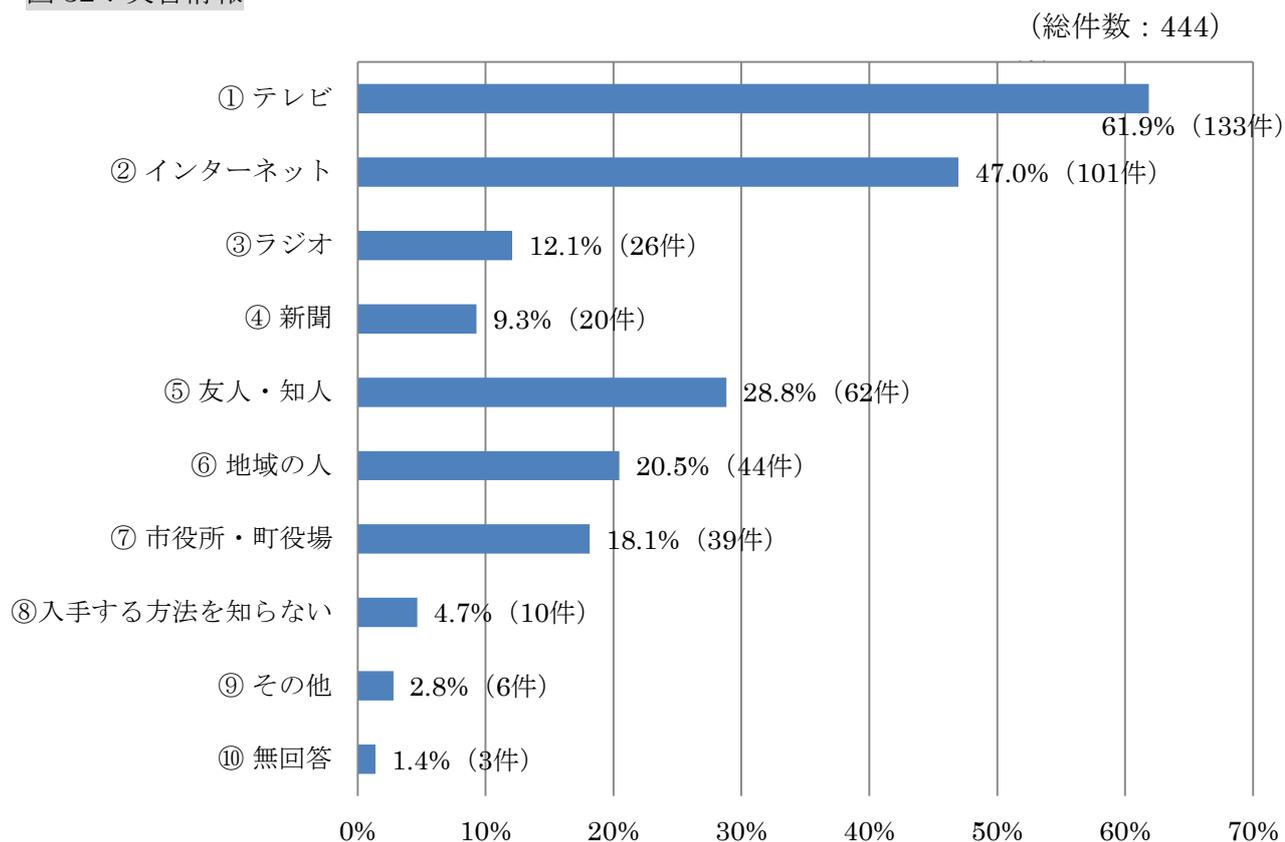
区分	件数	割合
①知らない	116	54.0%
②知っている	92	42.8%
③無回答	7	3.3%
総計	215	100%

(3) 災害情報の入手方法

問 32 : 災害情報をどのように入手していますか。(複数回答可)

「テレビ」が133件(61.9%)と最も多く、「インターネット」101件(47.0%)、「友人・知人」62件(28.8%)と続く。(図 32)

図 32 : 災害情報



8. 佐賀県国際交流協会に関すること

(1) 認知の有無

問 33：佐賀県国際交流協会を知っていますか。どうやって知りましたか。(複数回答可)

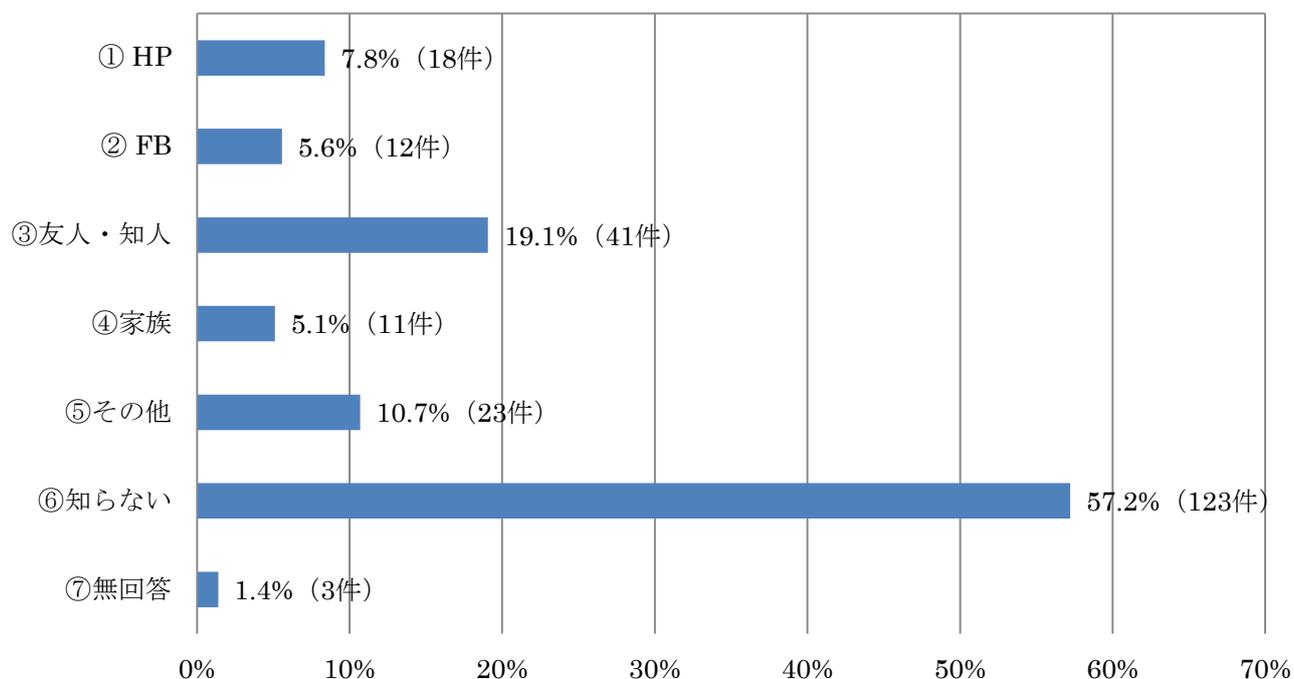
「友人・知人」が 41 件 (19.1%) と最も多く、「HP」18 件 (7.8%)、「FB」12 件 (5.6%) と続く。「知らない」が 123 件 (57.2%) だった。(図 33)

※HP：公益財団法人佐賀県国際交流協会ホームページ

FB：公益財団法人佐賀県国際交流協会 Facebook (フェイスブック)

図 33：佐賀県国際交流協会 1

(総件数：231 件)



その他の記述

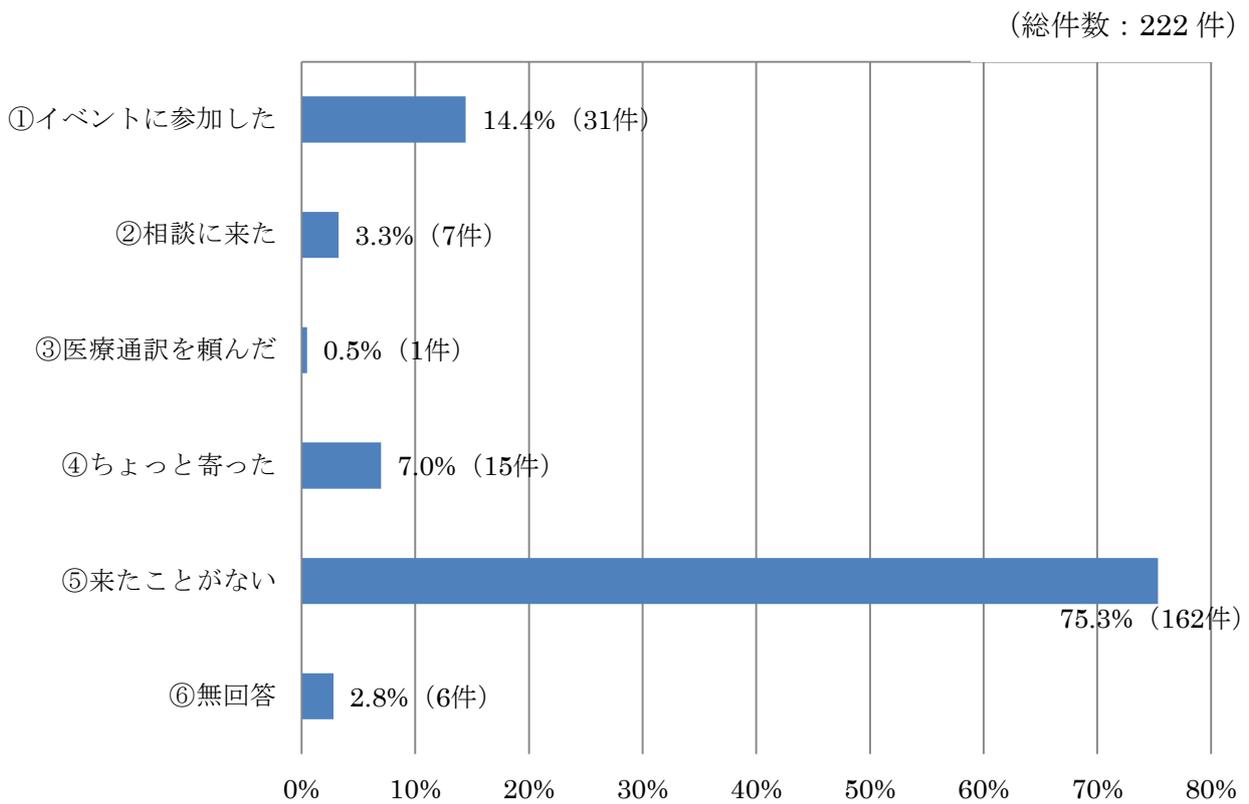
整理番号	国籍	回答
1	中国	学校の先生
2	中国	交流活動にて。
3	中国	学校
4	韓国	日本語教室に参加した。
5	韓国	仕事場で。
6	その他	県庁に行った。
7	その他	協会職員が大学に来た。

(2) 来訪の有無

問 34 : 佐賀県国際交流協会に来たことがありますか。(複数回答可)

「イベントに参加した」31件(14.4%)が最も多く、「ちょっと寄った」15件(7.0%)、相談に来た7件(3.3%)と続く。「来たことがない」が162件(75.3%) (図 34)

図 34 : 佐賀県国際交流協会 2



(3) 相談に来ない理由

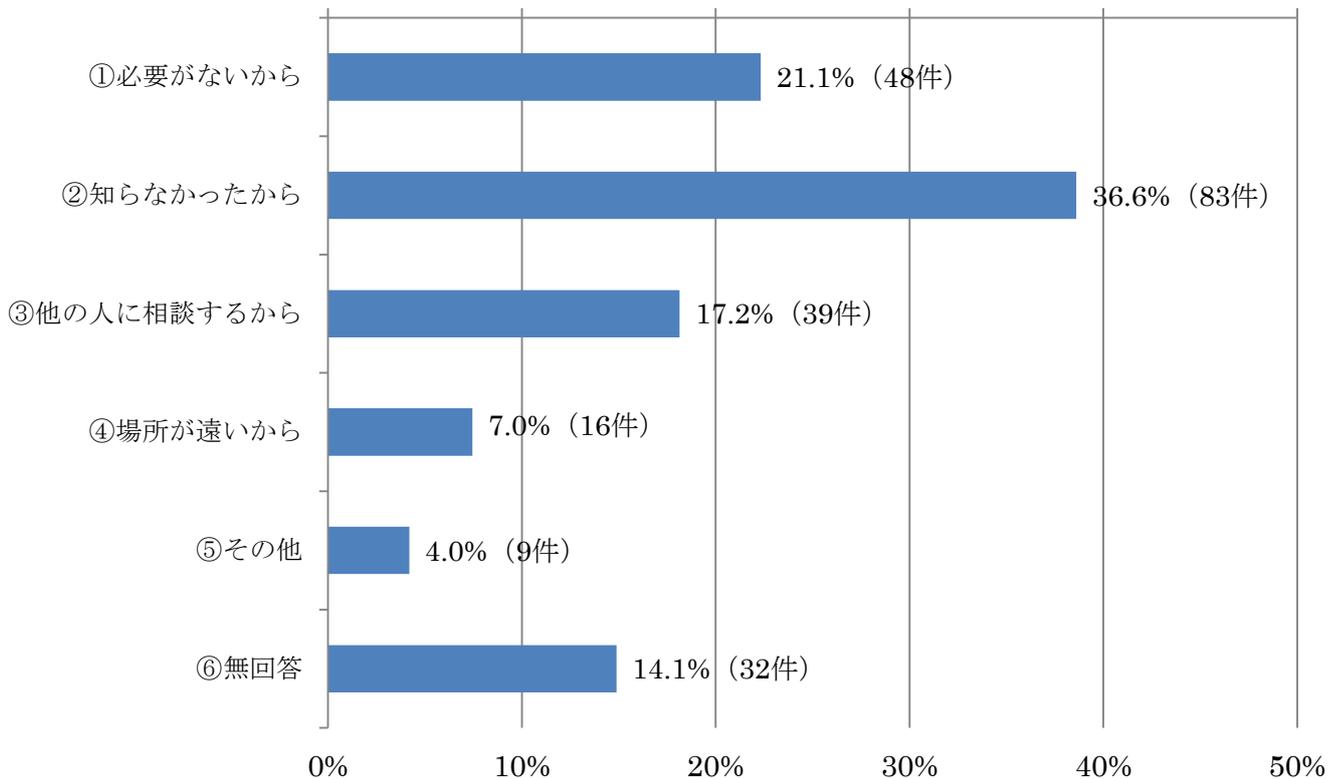
問 35：佐賀県国際交流協会に相談に来たことがない人に聞きます。

相談に来ない理由を教えてください。（複数回答可）

「必要がないから」48件（21.1%）が最も多く、「他の人に相談するから」39件（17.2%）「場所が遠いから」16件（7.0%）と続く。「知らなかったから」は83件（36.6%）だった。（図 35）

図 35：相談

（総件数：227件）



その他の記述

整理番号	国籍	回答
1	アメリカ	仕事が忙しい。
2	中国	解決していただくのに、時間と手間がかかりそう。

9. その他

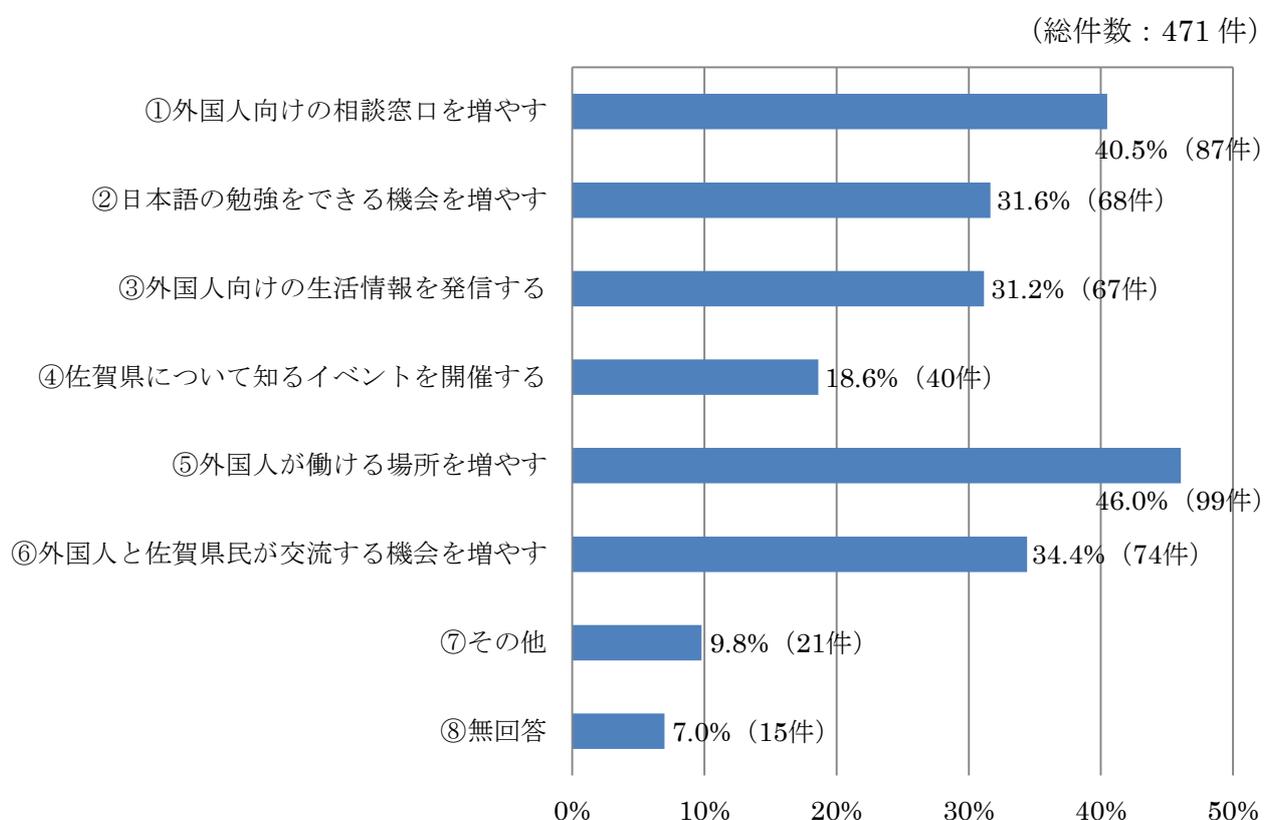
(1) 佐賀県への要望

問 36：外国人にとって住みやすい街にするため、佐賀県にどのようなことをしてほしいですか。
(複数回答可)

「外国人が働ける場所を増やす」が 99 件（46.0%）で最も多く、「外国人向けの相談窓口を増やす」87 件（40.5%）、「外国人と佐賀県民が交流する機会を増やす」74 件（34.4%）と続く。

(図 36)

図 36：佐賀県



その他の記述

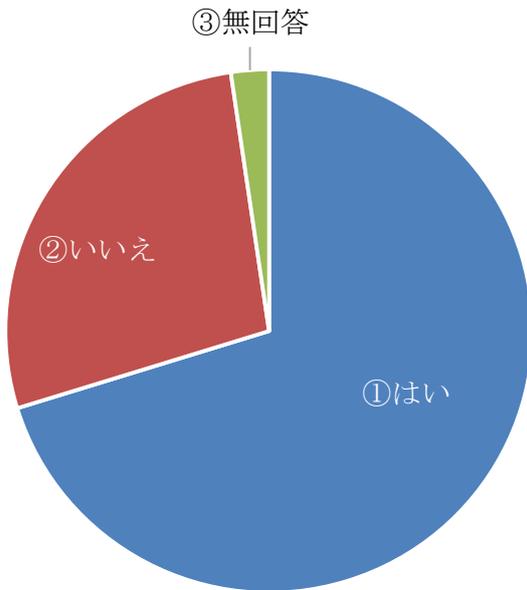
整理番号	国籍	回答
1	中国	図書館などの施設に説明用の外国語を追加してほしいです。
2	中国	市で1年に1回くらい国際交流会を開催してほしい。
3	中国	差別なし。草かり交流。
4	フィリピン	看護学校がもっと外国籍の生徒を受け入れて欲しい。
5	フィリピン	英語の自動車学校
6	アメリカ	仕事を休まなくていいように、週末や夜に相談を受け付けてほしい。

(2) 佐賀県に住み続ける意思と理由

問 37：これからも佐賀県に住み続けたいですか。

151 件、約 7 割が佐賀県に住み続けたいと回答した。(図表 37)

図表 37：佐賀県



区分	件数	割合
①はい	151	70.2%
②いいえ	59	27.4%
③無回答	5	2.3%
総計	215	100%

回答者が「はい」と回答した理由。

整理番号	国籍	性別	年齢	なぜですか。
1	中国	男	18歳から29歳	交通、自然環境、トイレ等満足。
2	中国	男	30代	佐賀の人は外国人に対して比較的良い。
3	中国	男	40代	知人友人が多い、住みやすい。
4	中国	男	40代	空気が良い。静か。みんな愛想が良い。
5	中国	男	40代	物価が割安、気候が暖かい。
6	中国	男	50代	住み慣れてから。
7	中国	女	18歳から29歳	夫の実家が佐賀にあるから。
8	中国	女	18歳から29歳	住みやすいです。
9	中国	女	18歳から29歳	会社の方が親切だから。
10	中国	女	18歳から29歳	住みやすいから。人が優しい。
11	中国	女	30代	環境、教育面が良い。病院診察が便利。
12	中国	女	30代	仕方がないから。
13	中国	女	30代	まだまだ都会と比べて遅れているところはあると思いますが、人々はやさしいし、すなおなせいかくの人が多いし、環境も住みやすい。

14	中国	女	30代	ここは私にとってとても気持ちがよくて、基山町は大都市のうるささはなく、自然がたくさんあるから。
15	中国	女	30代	家族がいます。家を建てました。
16	中国	女	40代	夫が佐賀の人だから。佐賀の環境が好き。
17	中国	女	40代	家を買ったから。
18	中国	女	40代	鳥栖は住みやすそうだから。
19	中国	女	40代	子どもと旦那がいるのと、家も佐賀県に建てたから。
20	中国	女	50代	母の生まれた場所だから。
21	中国	女	50代	両親の面倒を見るため。
22	中国	女	50代	自然環境がよい。住みやすいところだから。
23	中国	女	50代	母と子どものために。
24	中国	女	50代	都会から離れているここでの生活に慣れました。静かな環境で、空気汚染がひどくなく、自然災害も比較的少ない。玄海の原子力発電を除けば、比較的安全に住めるところ。
25	中国	女	60歳以上	住みなれています。
26	中国	女	60歳以上	住みやすい。
27	中国	女	60歳以上	家族もしんせきも佐賀県にいるから。
28	フィリピン	男	30代	ここが私たちの住むところですし、すべてのいいところがここにはあるので、息子が大きくなるまで住み続けたいです。ここが私の第2の故郷です。
29	フィリピン	男	30代	交通がとても便利だから。
30	フィリピン	女	18歳から29歳	騒がしくなく、佐賀の人はフレンドリーです。
31	フィリピン	女	18歳から29歳	家族と家族のように親しくしている友達がここにいるからです。
32	フィリピン	女	18歳から29歳	夫の仕事と家がここ佐賀県にあります。
33	フィリピン	女	30代	子どもが小学校であり、住みやすいから。
34	フィリピン	女	30代	静かであまり雪が降らないところ。
35	フィリピン	女	30代	住みやすい。
36	フィリピン	女	30代	家族がいるからがんばれます。
37	フィリピン	女	30代	佐賀に家族がいるから。
38	フィリピン	女	30代	夫が佐賀にいるのでここに住まないといけませんし、苦勞もありますが、佐賀に住み続けたいです。
39	フィリピン	女	40代	死ぬまでここにずっと住み続けます。 この土地が大好きです。
40	フィリピン	女	40代	鳥栖市は暮らしやすい。

41	フィリピン	女	40代	日本がとっても良いところだから。 特に佐賀は一番良いところだから。
42	フィリピン	女	40代	とても清潔な環境で、病院、診療所、市役所、学校等の設備が整っています。
43	フィリピン	女	40代	家族がここにいるから。
44	フィリピン	女	40代	人生の半分ほどをこちらで過ごしています。 平穏な場所が好きの人にとって佐賀県はぴったりです。 佐賀は素晴らしい景色に恵まれています。 四季、美しい！
45	韓国	男	30代	空気と水が良い。佐賀で暮らしたい
46	韓国	男	30代	妻の実家です。
47	韓国	男	50代	安全で空気が澄んでいる
48	韓国	女	18歳から29歳	良い町だから
49	韓国	女	40代	住みやすいです。
50	韓国	女	40代	ここで仕事をしているから。
51	韓国	女	40代	自然が豊かだから。
52	韓国	女	40代	家族がいるから。
53	韓国	女	50代	田舎で、交通は不便だが韓国と歴史的に長い間交流があるから。 また、空気が澄んで野菜が新鮮で、美味しいから。
54	アメリカ	男	18歳から29歳	静か、清潔、福岡に近い。
55	アメリカ	男	50代	子どもたちにとってそうであるように、 ここが自分の故郷だと思いたいです。
56	アメリカ	男	60歳以上	永住者だから。
57	アメリカ	女	40代	仕事と佐賀の雰囲気を楽しんでいます。
58	アメリカ	女	40代	家族と友達がここにいるから。故郷です。
59	その他	男	18歳から29歳	勉強の為には良いところ。
60	その他	男	18歳から29歳	夏を除いて、快適に住める場所です。
61	その他	男	30代	佐賀は気候がとってもいいです。 佐賀市は静かで落ち着いています。 佐賀の人はいい人です。
62	その他	男	30代	この街は平和で物価が安いです。
63	その他	男	30代	佐賀大好きだからです。
64	その他	男	30代	静かでいいところです。 交通渋滞がなく人口が多くない。 外国人がほとんどいない。いい文化と伝統がある。
65	その他	男	40代	仕事の為。

66	その他	男	40代	家族と家が佐賀にあるから。
67	その他	男	50代	年間、ここに住んでいます。 ここが私と家族の故郷です。
68	その他	男	50代	仕事の為。
69	その他	男	60歳以上	妻がいるから。
70	その他	女	18歳から29歳	住みやすいです。それに渋滞がなくて、あっちこっち交通するのは快適です。
71	その他	女	18歳から29歳	工場の人がとても親切だから。
72	その他	女	18歳から29歳	佐賀県で働くところだから。
73	その他	女	18歳から29歳	仕事の為。
74	その他	女	18歳から29歳	さがけんの人はいしんせつなひとですから。
75	その他	女	18歳から29歳	いいですから。
76	その他	女	18歳から29歳	さがけんのところでにぎやかです。 にんげんはねっしんでしんせつなひとです。 こうつうはつごうがいいです。
77	その他	女	18歳から29歳	すみやすいですから。
78	その他	女	18歳から29歳	すみやすいですから。
79	その他	女	18歳から29歳	さがけんの人はいしんせつなひとですから。 しんせつなひとですから。
80	その他	女	18歳から29歳	すみやすいですから。おもしろいです。
81	その他	女	18歳から29歳	たのしいですから。
82	その他	女	18歳から29歳	おもしろい。
83	その他	女	18歳から29歳	いいしごとですから。
84	その他	女	18歳から29歳	おもしろいですから。
85	その他	女	18歳から29歳	さがけんのひとしんせつなひとですから。
86	その他	女	18歳から29歳	おもしろいですから。
87	その他	女	18歳から29歳	あんしんですから。
88	その他	女	30代	安全で住みやすい佐賀がすきです。
89	その他	女	30代	勉強のため。
90	その他	女	30代	今のところ、すごく良いので住み続けたいです。
91	その他	女	30代	はい、住み続けたいです！ きれいでのんびり生活できます。
92	その他	女	30代	子どもを育てるのに良いところ。(安全だから)
93	その他	女	40代	結婚してるから。
94	その他	女	40代	住みやすいから。
95	その他	女	40代	子ども。パパ。仕事がここにあるから。
96	その他	女	40代	慣れたところがいいから。

97	その他	女	40代	佐賀に住んで年以上もなるから。周りの人が温かい心を持っているから。
98	その他	女	40代	住みやすいから。
99	その他	女	40代	好きです。
100	その他	女	40代	夫の仕事と子どもの学校のためです。お互いを尊重し合えば、日本のどこに住んでも大丈夫です。
101	その他	女	50代	佐賀が好きだから。

回答者が「いいえ」と回答した理由。

整理番号	国籍	性別	年齢	なぜですか。
1	中国	女	18歳から29歳	他の土地で学校に通うことになったから。
2	中国	女	18歳から29歳	外国人向けの仕事が少ないから。
3	中国	女	18歳から29歳	交通が不便。
4	中国	女	18歳から29歳	両親が年をとったら国に帰って世話をしたいから。
5	中国	女	18歳から29歳	帰国してから日本にまた来るかどうか決めていない。
6	中国	女	18歳から29歳	帰国するつもりです。
7	中国	女	30代	家が中国だから。
8	アメリカ	男	18歳から29歳	今はALTとして働いていますので、2014年の8月に帰国です。
9	アメリカ	女	18歳から29歳	都会の方が好きです。
10	韓国	女	18歳から29歳	いつか佐賀県を離れて誰かとお付き合いをして楽しい家族を作りたいと心から願っているからです。
11	その他	男	30代	いつか国に帰るから
12	その他	女	18歳から29歳	国に帰りたいから。
13	その他	女	18歳から29歳	交換留学だから。

(3) 佐賀県に思うこと

問 38 : 佐賀県に住んでみて、感じたことや思うことがあれば書いてください。

整理番号	国籍	性別	年齢	(38)
1	中国	男	18歳から29歳	住みやすいところ。静かで学習にとっても良い。
2	中国	男	18歳から29歳	町がきれい。ただ、物価がとても高い。
3	中国	男	18歳から29歳	鳥栖市の市民税など高いと思います。特に外国人の私たちに何のメリットもありません。外国人に向き特別な税金システムが欲しいです。少しでも外国にいる私たちに手伝ってほしいです。よろしくお願いします。
4	中国	男	18歳から29歳	美しい、優しいところです。
5	中国	男	30代	給料があまりにも低い。
6	中国	男	30代	良い県だと思う。佐賀は人、環境、サービスがとても良い。
7	中国	男	40代	佐賀は田舎だが色々な交流活動に参加させてもらって、親切に対応していただいて本当に感謝しています。
8	中国	男	40代	嬉野市に住んでみて感じたこと：交通がやや不便、観光ビジネスが遅れている。県外に向けてのアピール不足と、他県と比べて知名度が低い。
9	中国	男	50代	若い時日本に来て、一生懸命仕事をしました。佐賀県が第2の故郷になりましたが、ずっとここに住みたいです。
10	中国	女	18歳から29歳	とても良い。静かで、生活しやすい町。
11	中国	女	18歳から29歳	ショッピングセンターが遠くて、少ない。 交通の不便が一番困ることです。
12	中国	女	18歳から29歳	佐賀市民はやさしい。佐賀県国際交流協会の日本語教室で勉強し、先生たちのおかげで今年日本語能力試験 N2に合格した。本当にありがとうございます。
13	中国	女	18歳から29歳	車を持っていない外国人にとって、公共施設などに行くのはすごく不便なので、そこを何とかしてほしい。 (特に佐賀市以外に住む人)
14	中国	女	30代	もっと国際化が進めば、もっと良いのに。
15	中国	女	30代	市や県全体の活性化に力を注いでください。 佐賀県の将来が心配です。
16	中国	女	30代	生活をするには住みやすいが、出かける場所が少ない。

17	中国	女	30代	私の住んでいるところは図書館、公共施設等も近くであり、環境も自国と差がないので、住みやすいです。
18	中国	女	30代	子どもたちを育てやすい。安全・安心と思います。
19	中国	女	30代	福祉づくりを努力されていると思いますが、外国人にはまだまだ福祉の環境には遅れている。 私たち外国人一人一人も努力すべきだと思います。
20	中国	女	30代	佐賀県は私の第2の故郷。子どもたちと私はとてもここが好きです。この美しさややさしい日本の友達たちにとっても感謝しています。ここで中国人や外国人の友達と知り合いになりたいと思っています。佐賀県国際交流協会のおかげでここでとても幸せに生活できています。
21	中国	女	40代	佐賀は環境がとても良い。佐賀弁が面白い。
22	中国	女	40代	この環境が好きです。人が素朴、空気が新鮮、うるさ過ぎず静か過ぎず、ちょうど良い。 今回アンケートの機会を頂きありがとうございます。 ここはすべてがとても良いのですが、中国人の友達がいません。家の近くで自分と同年代の中国の女性の友達と知り合いたいと強く思っています。
23	中国	女	40代	こんにちは。佐賀に住んで20年。佐賀はとてもいいです。佐賀の人との生活が合います。ここが好きです。 これから何も変わらなければ、ここに住み続けたいです。 ありがとうございます。
24	中国	女	40代	自然災害が少ない。交通も車が少ないので、走りやすい。 地区の行事が多すぎて、役員になった時、働いていて子育てが忙しい外国人の私にはちょっとつらい。
25	中国	女	50代	農産物がたくさんあり、空気がきれいです。
26	中国	女	50代	佐賀に在住して20年が過ぎ、第2の故郷といえます。 地元の皆様に大変お世話になっており、感謝の気持ちがいっぱいです。ありがとうございます。
27	中国	女	50代	佐賀は静かで住みよい環境だと思います。まわりの皆様は新設、丁寧で、礼儀も正しく、外人としての私は色々勉強になりました。佐賀で暮らしやすいです。
28	中国	女	50代	交通が便利。福岡や佐賀空港に行くのに電車やバスが利用でき、とても便利。治安が良く、不安な気持ちはない。 安心して住んでいられる。
29	中国	女	60歳以上	住みなれています。

30	中国	女	60歳以上	主人の生まれたみやき町で私も52年生活しています。外国人としていやな思いをしたことはありません。
31	フィリピン	男	30代	佐賀は住むのにとっても良い。
32	フィリピン	男	30代	外国人が働ける場所と良い労働条件の仕事が増えれば良いと思います。
33	フィリピン	男	50代	とても良いところ。ここが好きです。
34	フィリピン	女	18歳から29歳	今のところ、ここ佐賀で問題もなく楽しく過ごしています。今まで訪れた都市と比べると、英語を話す人が少ないですが、大丈夫です。 私の懸念は英語で通える自動車学校がないことです。
35	フィリピン	女	18歳から29歳	今のところ、職場で母に意地悪をする人達にがっかりしています。意地悪なフィリピン人多すぎます。
36	フィリピン	女	18歳から29歳	フィリピンの看護資格を持って、4年間、総合病院で働いていました。今は福岡の日本語学校で勉強しています。日本語学校を終了した後、できれば佐賀県の看護学校に入学しようと思っています。私のような外国人学生を快く受け入れてくれる学校があればいいなと心から思います。日本で看護師国家試験を受けて、看護師になりたいです。
37	フィリピン	女	30代	佐賀は素朴な場所です。文化や習慣に慣れようと努力しています。地区の会合が慣れないので大変です。
38	フィリピン	女	30代	友人も何人かいるし、日本での家族もいる。住みやすい。
39	フィリピン	女	30代	佐賀はきれいなところです。みんなやさしい。教えてくれます。
40	フィリピン	女	30代	あまりないです。
41	フィリピン	女	30代	佐賀が大好きです。
42	フィリピン	女	40代	佐賀県は美しく素晴らしいところです。平和で住みやすいです。
43	フィリピン	女	40代	自然豊か。とても安全な場所。
44	フィリピン	女	40代	台風が来なくて安全なところで良い。
45	フィリピン	女	40代	時々、差別があるのが悲しいです。
46	フィリピン	女	40代	佐賀が好きです。
47	韓国	男	50代	交通費が高い(旅行するのが怖い。) Wi-Fi 無線 LAN インターネットがあまり足りない。 日本語教室の運営を地域に拡大して遠くに行かなくてもいい位置で運営することを望む。

48	韓国	女	18歳から29歳	佐賀県の人というよりは、エホバの証人さんはみんな愛あふれていて優しくてあたたかくなって思います。私もそんな人になります。そんな人といつか結婚したいなって思います。もちろん相手がいればですけどね。
49	韓国	女	18歳から29歳	佐賀県の地図をもらいたい。
50	韓国	女	40代	公共交通が足りません。
51	韓国	女	40代	勉強の為に外に出ている若者達が戻ってこられる仕事場がないのが残念。
52	韓国	女	40代	子どもがいるので近いところに二世を教育するところがあればいいなと思います。
53	韓国	女	50代	交通が本当に不便だ。外国人に対する認識が不足している。韓国との古い歴史的交流があるのも良く分かってないらしい。
54	アメリカ	男	18歳から29歳	2年間お世話になった佐賀県にありがとうございました。
55	アメリカ	男	18歳から29歳	電車が小さい。佐賀ー唐津間の電車をもっと増やしてほしい。給食で魚と魚の卵が一緒に出てくるのは、どうなのかなと思います。惨いように思います。
56	アメリカ	男	50代	英語、中国語、韓国語などの外国語が通じるインフォメーションセンターが駅やバスセンターがあればいいと思います。そこで、お茶やお菓子が食べながらおしゃべりができればなおいいです。
57	アメリカ	男	60歳以上	日本は同じ輸入商品でもほかの国と比べるとずっと高い。
58	アメリカ	女	18歳から29歳	佐賀県は田舎での生活が好きな人にとっては住みやすい場所だと思いますが、私は京都のような便利な都会がいいです。
59	その他	男	18歳から29歳	佐賀県では外国人に接する機会、特にアジア人を除く外国人に接する機会が非常に少ないため、県民は生活圏に外国人がいると居心地が悪そうに思います。これは日本の入国管理に関する政策上、変化がみられるとは思えません。県民はもっと外国人を受け入れたいと思っているとは感じません。
60	その他	男	18歳から29歳	いい人がたくさんいます。生活しやすい。
61	その他	男	30代	大きな遊び場がない（熊本のグリーンランドのような）
62	その他	男	30代	佐賀がとても好きです。 もし機会があれば将来もここに住みたいです。

63	その他	男	30代	良い街です。ただ、交通の便が問題です。
64	その他	男	30代	ありません。すみません・・・
65	その他	男	30代	シゴトがすくない。
66	その他	男	30代	サガン鳥栖はいいサッカーチームです。 鳥栖の人はみんなサガン鳥栖が好きでリスペクトしています。市民が鳥栖市のことを大好きなのはいいことだと思います。
67	その他	男	40代	場所によって交通の便がない。
68	その他	男	40代	佐賀が大好きです。
69	その他	男	50代	東京と比べると、佐賀はとても住みやすいです。 23年間、特に問題はないです。
70	その他	女	18歳から29歳	治安が良い。みんな親切で、公共の協会のような団体の活動にとっても感謝しています。ありがとうございます。
71	その他	女	18歳から29歳	佐賀は良いところ。住みやすい。でも一年後には帰国しないといけない。
72	その他	女	18歳から29歳	人の優しさにも平安にも感動します。将来、できればここに戻ってきます。
73	その他	女	18歳から29歳	遊ぶところとか、買い物するところがあまりない。 佐賀県は住みやすいです。
74	その他	女	30代	講師の仕事以外にはあまり就職の機会がないように思います。
75	その他	女	30代	日本が大好きです。
76	その他	女	30代	国際交流協会や国際交流団体による外国人向けの楽しいイベントがたくさんあるのが、意外ですが嬉しいです。
77	その他	女	40代	私が住んでいるところは空気も良く、問題（自然）もないので安心できます。ありがとうございました。
78	その他	女	40代	小城市が大好きです。
79	その他	女	40代	毎日、基山で楽しく過ごしています。安全で自然がきれいです。